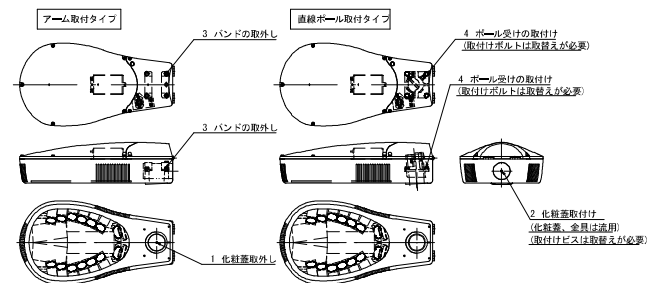
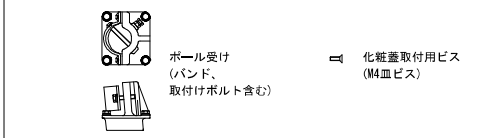


照明柱参考姿図 S=1/80

アーム→直線 金具詳細図

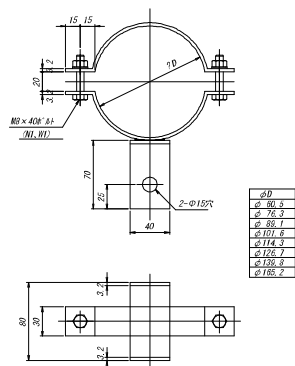


アームタイプから直線ポールタイプへの変更に必要な部品

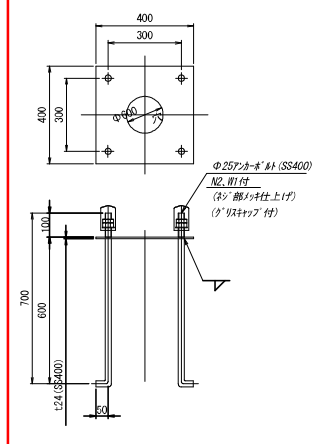


アンカーボルト

コ型バンド詳細図
S=1/5



アンカーボルト詳細図
S=1/20



※仕上：溶融亜鉛メッキ (HDZ55)


※ベースピッチ・開口部の向き、高さ・ニップル・カップリングは、参考とする

作成年月 1975年12月 改訂 1984年 3月 1995年 5月 2000年 3月

コンクリート製品一覧表

図面番号 0-0-1

区分	区分	型式	摘要
歩車道境界	150/190x200x600 180/230x250x600 180/240x300x600	0-1型 0-2型 0-3型	一般部(セミフラット形式 ・フラット形式) 歩道すりつけ部
	150/190x200x600 180/230x250x600 180/240x300x600	0-4型 0-5型 0-6型	〃 (端部)
	150/170x200x600 180/205x250x600	0-7型 0-8型	一般部(マウンドアップ形式)
	150/190x200x600 180/230x250x600	0-9型 0-10型	一般部の集水側部
	150/(190-170) x(200-100)x600 180/(230-200) x(250-100)x600	0-11型 0-12型	歩道切下げすりつけ部 車両出入口すりつけ部(端部)
	150/(170-168) x(200-180)x600	0-13型 (1)	歩道すりつけ部
	150/(168-166) x(180-160)x600	0-13型 (2)	〃
	150/(166-164) x(160-140)x600	0-13型 (3)	〃
	150/(164-162) x(140-120)x600	0-13型 (4)	〃
	150/(162-160) x(120-100)x600	0-13型 (5)	〃
	180/(205-202) x(250-225)x600	0-14型 (1)	歩道すりつけ部
	180/(202-200) x(225-200)x600	0-14型 (2)	〃
	180/(200-197) x(200-175)x600	0-14型 (3)	〃

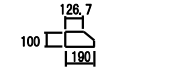
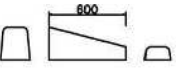
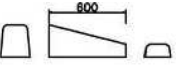
区分	区分	型式	摘要
歩車道境界	180/(197-195) x(175-150)x600	0-14型 (4)	歩道すりつけ部
	180/(195-192) x(150-125)x600	0-14型 (5)	〃
	180/(192-190) x(125-100)x600	0-14型 (6)	〃
	180/190x100x600	0-15型	歩道切下げ部
	40/180x100x600	0-16型	車両出入口部
	境界	180/180x100x600	0-17型
150/150x150x600		0-18型	官民境界JISA5307
150/150x150x600		0-19型	植樹帯根固め
管渠	φ200~φ2000 φ1000~φ3000		ソケット管 (第1種管) JISA5303 ソケット管 (第2種管) JISA5303
	側溝		PU型側溝JISA5305
視覚障害者誘導用ブロック	点状 300x300x66		点状ブロック
	線状 300x300x66		線状ブロック

工種	
種別	
図面名	コンクリート製品一覧表

作成年月 | 1975年12月 | 改訂 | 1984年 3月 1995年 5月 2000年 3月 2004年 5月 2017年 10月

図面番号 | 0-0-2

コンクリート製品一覧表

区分	区分	形式	摘要
歩車道境界	126.7/190×100×600 	O-20型	車両出入口部
	(126.7~150)/190 ×(100~200)×600 	O-21型	車両出入口すり付け部(端部)
	(126.7~180) /(190~230) ×(100~250)×600 	O-22型	〃

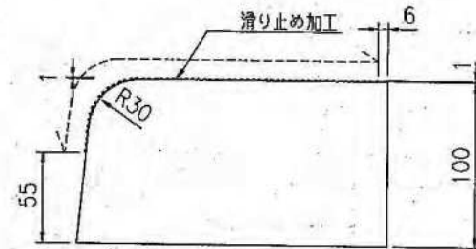
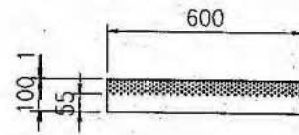
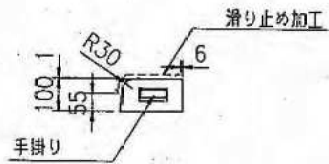
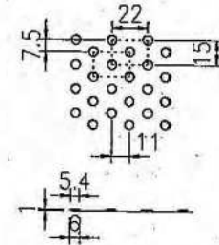
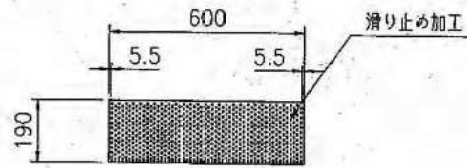
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
------	-----------

片面歩車道境界ブロックB(切下げ)

S=1/20

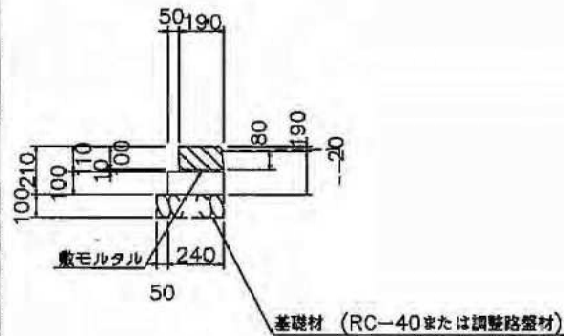
滑り止め加工 詳細図
S=1/5



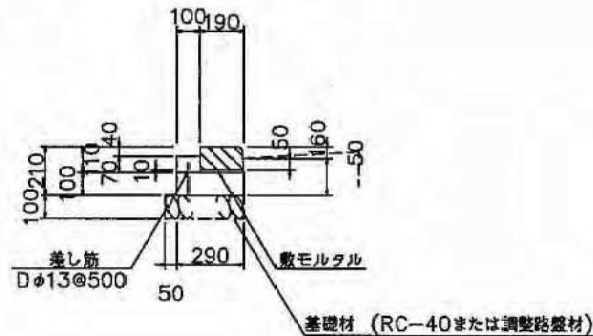
製品立積	0.011	(m ³)
------	-------	-------------------

歩道切下げ部、車両出入口部

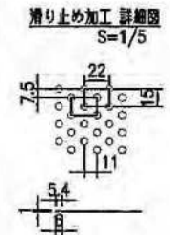
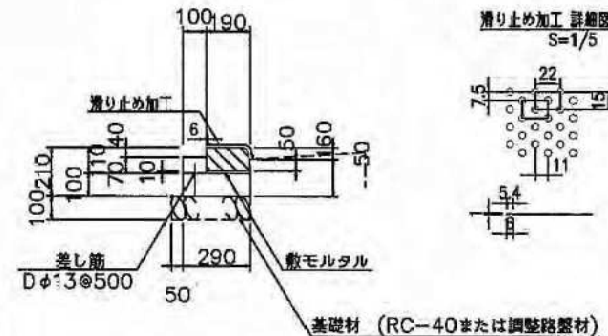
E型 (歩道切下げ部)



F型 (車両出入口部)



H型 (車両出入口部)



材 料 表

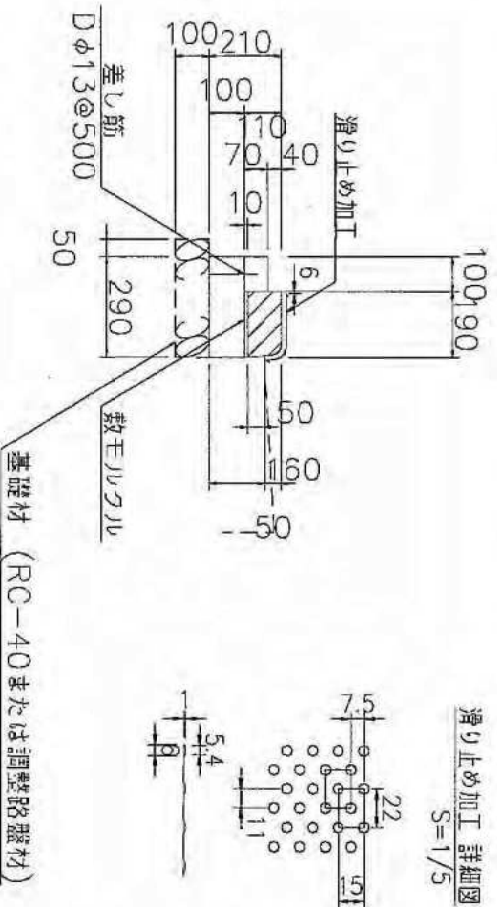
(10m当り)

名称	規格	単位	数 量			摘 要
			E 型	F 型	H 型	
基礎材		m ²	2.90	3.40	3.40	
型 枠		m ²	2.00	2.70	2.70	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.24	0.36	0.36	
敷モルタル	1:3	m ²	1.90	1.90	1.90	据付
コンクリートブロック	180/190×100×600	個	16.5	16.5	16.5	O-15型
差し筋	Dφ13 L=150	kg	—	3.0	3.0	20本/10m
伸縮目地	目地板 t=10	m ²	0.02	0.03	0.03	

- 注) 1. E型は歩道切下げ部、F型、H型は車両出入口部にそれぞれ使用。
 2. 基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
 数量はRC-40の場合で表示する。
 3. 伸縮目地は瀝青繊維質目地を使用するものとする。

工 種	歩車道境界工
種 別	縁石
図面名	E型 F型 H型
大阪府都市整備部	

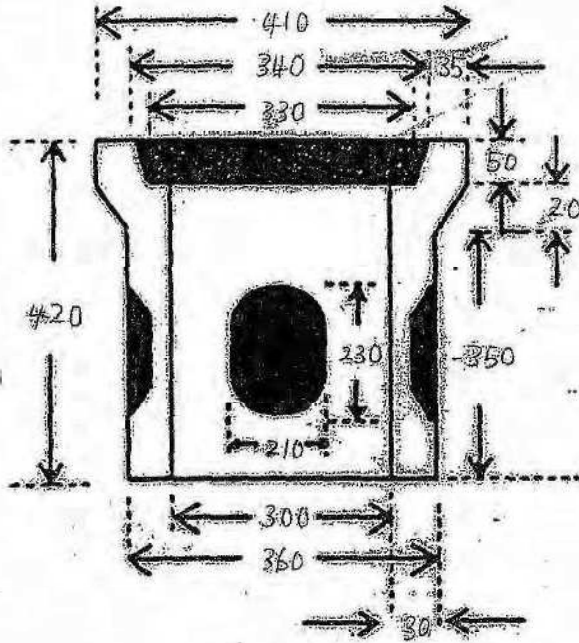
算式根拠となる構造図
種別及び細別： 基車道境界工 縁石 H型 (車両出入口部)



図面番号1-2-1
(10m当たり)

名称	規格・形状	算式	単位	数量
基礎材	RC-40又は調整路盤材	0.34×10.0	m ²	3.400
型枠		(0.17+0.10)×10.0	m ²	2.700
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	(0.10×0.29+0.07×0.10)×10.0	m ³	0.360
数モルタル	1:3	0.19×10.0	m ²	1.900
コンクリートブロック	180/190×100×600	10.0/0.605	個	16.529
差し筋	Dφ13 L=150	0.15×0.995×20	kg	2.985
伸縮目地	目地板 t=10	0.10×0.29	m ²	0.029

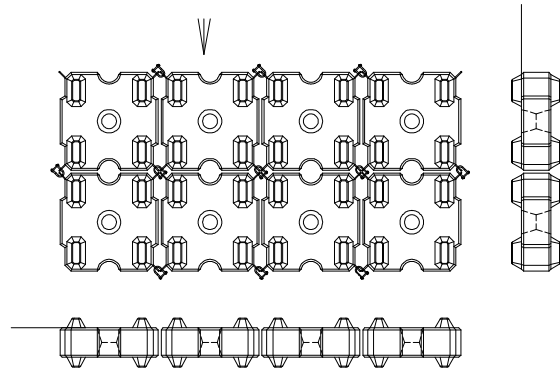
集水桝 300×300



※ 同等品以上のものとする。

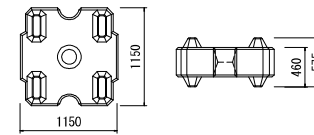
リーフロック I 型 1.0 t 標準図

標準配列図 S=1:30

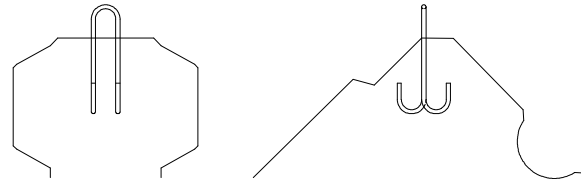


注：必要に応じて吸出防止材を投置する。

規格寸法図 S=1:30



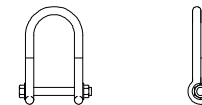
連結鉄筋（フック）詳細図 S=1:10



(1個当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
連結鉄筋	鉄筋φ16	kg	1.91	全長121cm

連結金具（シャックル）詳細図 S=1:5

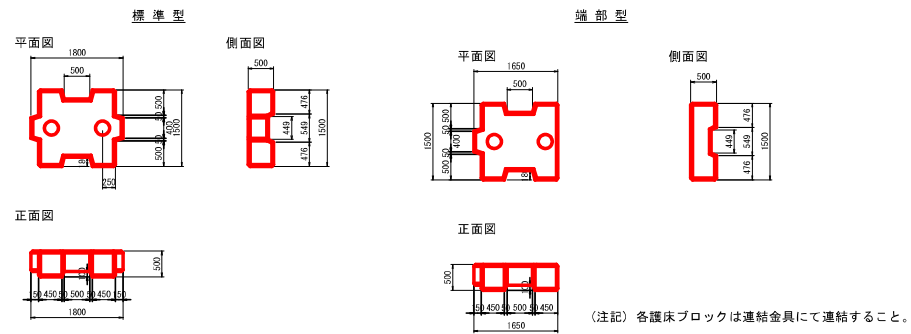


(1個当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
連結金具（シャックル）	鉄筋φ16	kg	1.18	全長60cm

根固めブロック構造図 S=1:50

護床ブロック 2t型



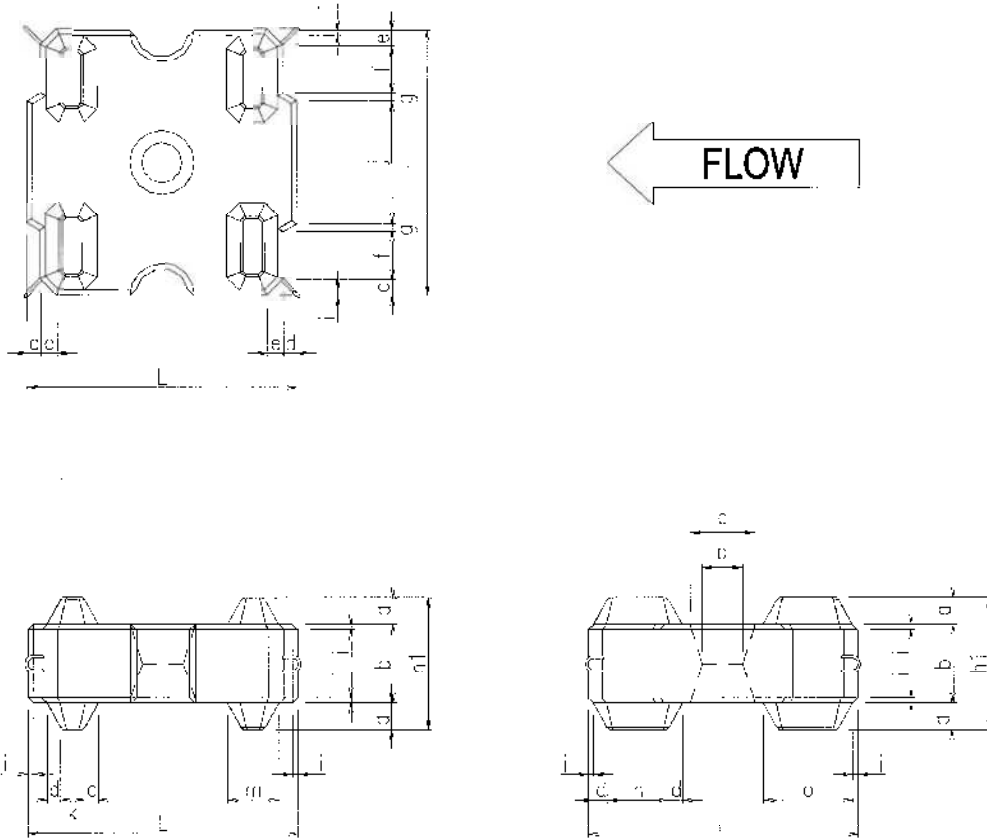
参考図 3

令和3-4年度	図面番号	3 / 13
河川名	二級河川 石津川	
工事名	護岸補強工事R3-1工区 (津久野大橋上下流)	
施工地名	堺市西区鶴田町地内	
図面名	根固めブロック構造図(縮尺)	1:50
大阪府鳳土木事務所		

リーフロックの安定検討 (I型 2.0t型)

【群体モデル】

1. 形状寸法図



○寸法表

単位:mm

呼び名	a	b	d	e	f	g	h	i	l	j	k	l	m	n	o	p	q
2.0t型	145	435	73	87	261	44	725	29	666	130	1450	276	333	479	218	348	

7.2 護床工の安定計算

護床工の安定検討として、流体力に掃流されないための護床工の必用重量を算定する。

根固工の必要質量の算定は、【建設省河川砂防技術基準(案)同解説 設計編 [I]】p. 43「滑動・転倒-層積み」モデルに基づき行なう。

滑動および転倒に対する安定条件より、根固工の必要質量は次式により与えられる。

$$\begin{aligned}
 W &> \alpha \cdot \left(\frac{\rho_w}{\rho_b - \rho_w} \right)^3 \cdot \frac{\rho_b}{g^2} \cdot \left(\frac{V_d}{\beta} \right)^6 \\
 &= 0.54 \times 10^{-3} \times \left(\frac{1000}{2300 - 1000} \right)^3 \times \frac{2300}{9.8^2} \times \left(\frac{4.800}{2.0} \right)^6 \\
 &= 1.125 \text{ (kN)} = 0.115 \text{ (t)}
 \end{aligned}$$

ここに W : ブロックの必要質量(空中) (t)
 V_d : 設計流速 (4.800 m/s) ※
 ρ_w : 水の密度 (1000 kg/m³)
 ρ_b : コンクリートの密度 (2300 kg/m³)

表 1-9 異型コンクリートブロックの係数 a の参考値⁴⁾

ブロック種別	模型ブロックの比重	a	β
対称突起型	$\rho_b/\rho_w = 2.22$	1.2	1.5
平面型	$\rho_b/\rho_w = 2.03$	0.54	2.0
三角錐型	$\rho_b/\rho_w = 2.35$	0.83	1.4
三点支持型	$\rho_b/\rho_w = 2.25$	0.45	2.3
長方形	$\rho_b/\rho_w = 2.09$	0.79	2.8

出典：建設省河川砂防技術基準(案)同解説 設計編 [I] P44

※：護床工設置箇所における最大流速を示す。

以上の計算結果では、流速に対して安定するための必用重量は**0.115t**となる。

しかし、護床コンクリートブロック重量については、一般的には周辺で使用されている護床工の重量を考慮して設定している。

本設計区間下流部の多段式落差工で使用されている護床コンクリートブロック重量は、現地調査より**2ton**と想定できる。

したがって、本設計における護床コンクリートブロック重量は**2ton**とする。

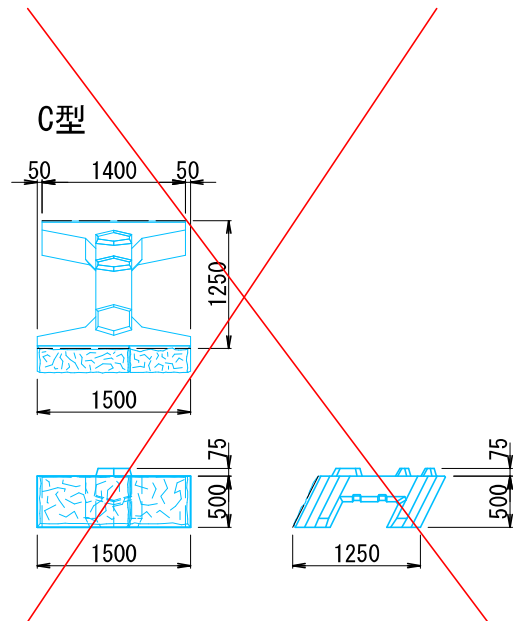
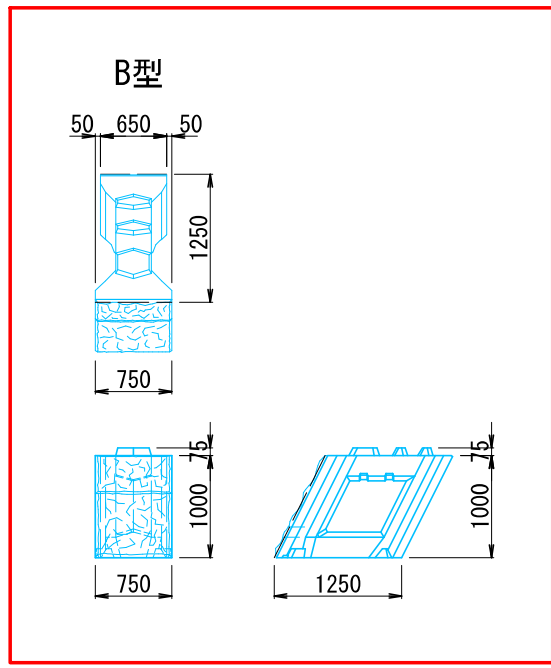
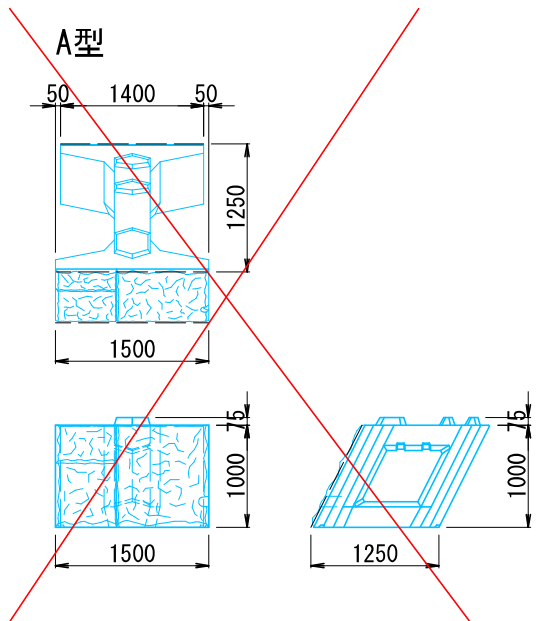
参考として、流速と護床ブロック重量との一般的な目安を下表に示す。

	高水時断面平均流速		
	2 m/s 未満	2~4 m/s 未満	4 m/s 以上
ブロック重量	0.5~2 t	1~4 t	2 t 以上
根固工の天端幅	2~10 m	4~12 m	6 m 以上

(注) 1. ブロックの重量は、河幅の小さい場合は小さい値を採用する。
2. 乱積の場合の法勾配は標準的に1:1.5である。

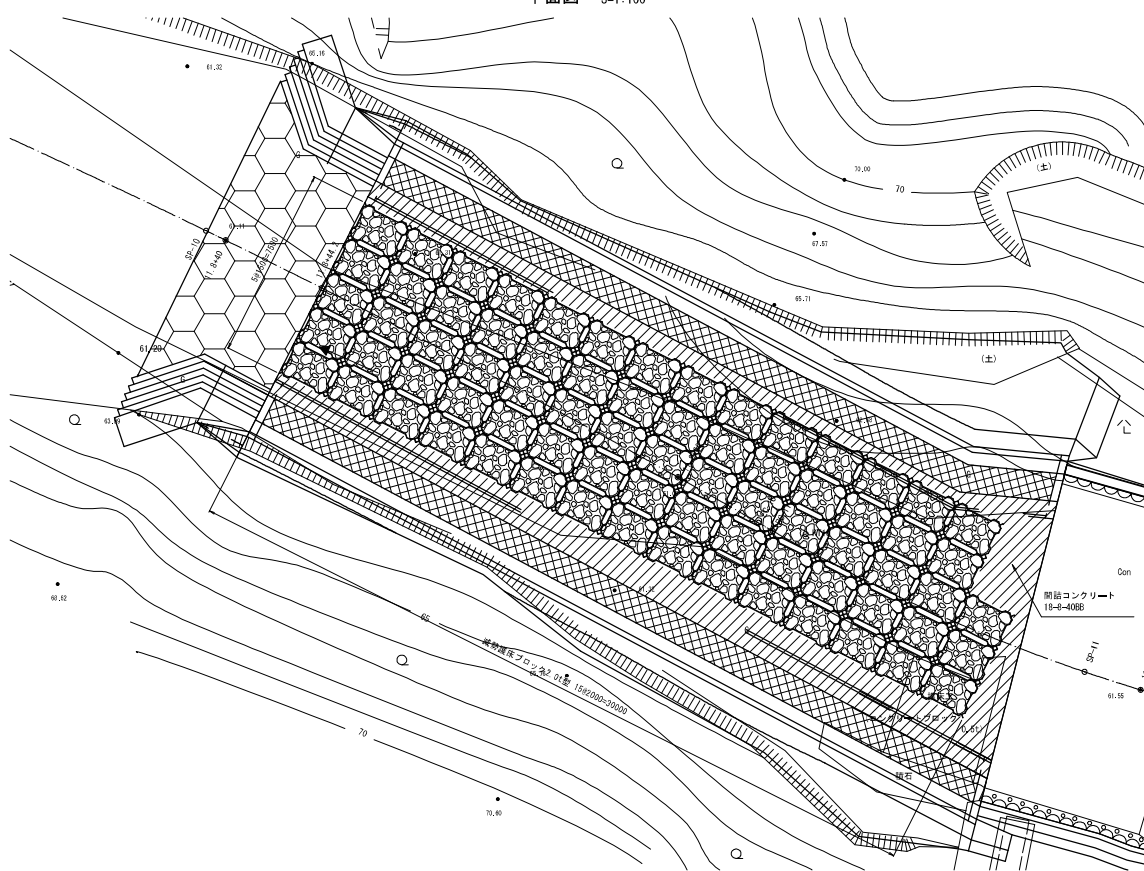
出典：災害手帳(平成 17 年度版)

ポーラスホライズンⅡ 125型

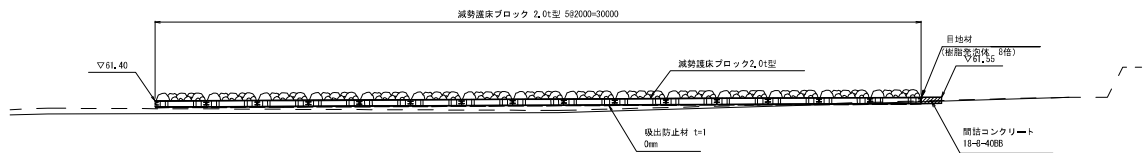


下段部護床工構造図

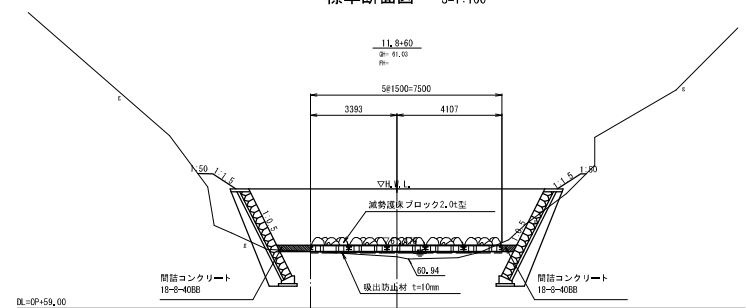
平面図 S=1:100



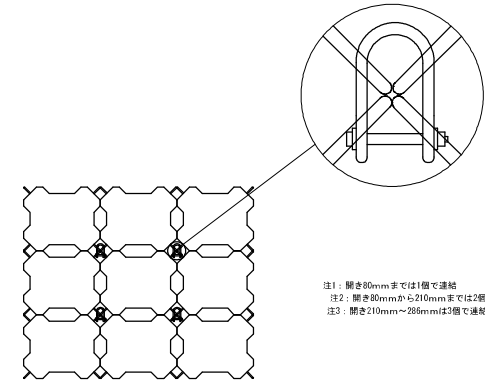
縦断面図 S=1:100



標準断面図 S=1:100



連結部詳細図

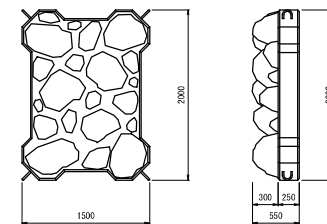


注1: 間き80mmまでは1個で連結
 注2: 間き80mmから210mmまでは2個で連結
 注3: 間き210mm~288mmは3個で連結

数量表

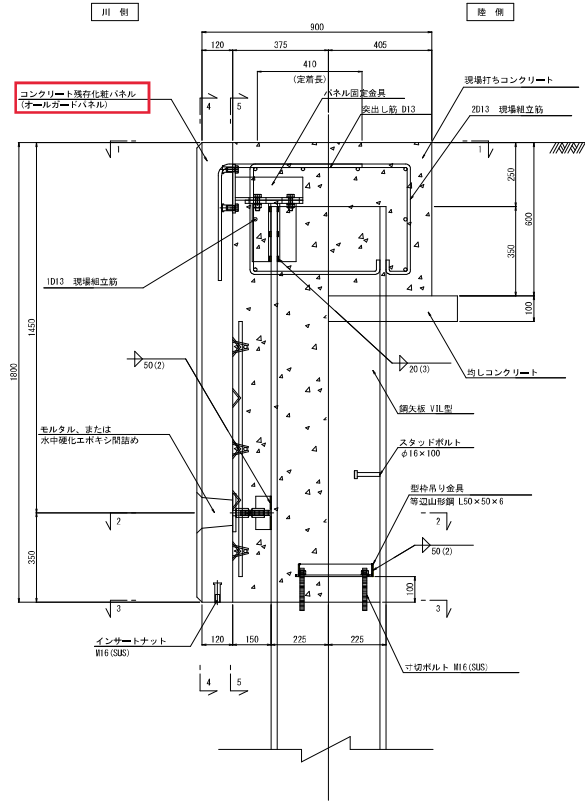
名称	種別	規格・算式	単位	数量	備考
減勢ブロック	2.0t用	2000×1500×550	個	73	W-2100kg
連結金具	φ16mm		組	89	

減勢護床ブロック2.0t型詳細図 S=1:30

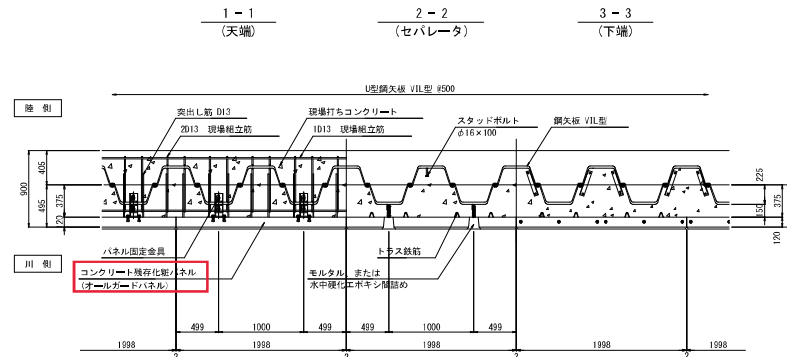


プレキャスト笠コンクリート構造図

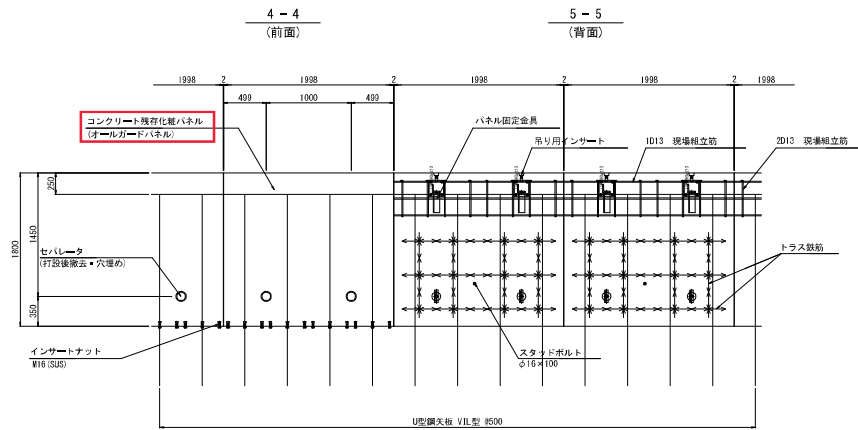
断面図 S=1:10



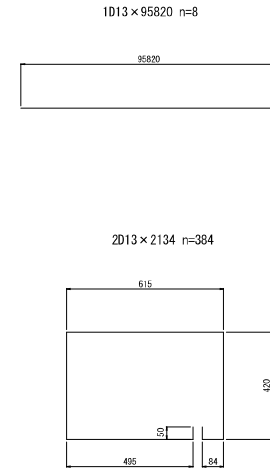
平面図 S=1:30



正面図 S=1:30



配筋加工図 (現場組立筋)



鉄筋表 (SD345)

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	概要
	[mm]	[mm]	[本]	[kg/m]	[kg/本]	[kg]	
1	D13	95820	8	0.995	96.34	762.72	
2	D13	2134	384	0.995	2.12	814.08	□
合計						1576.80	

96.0n当り

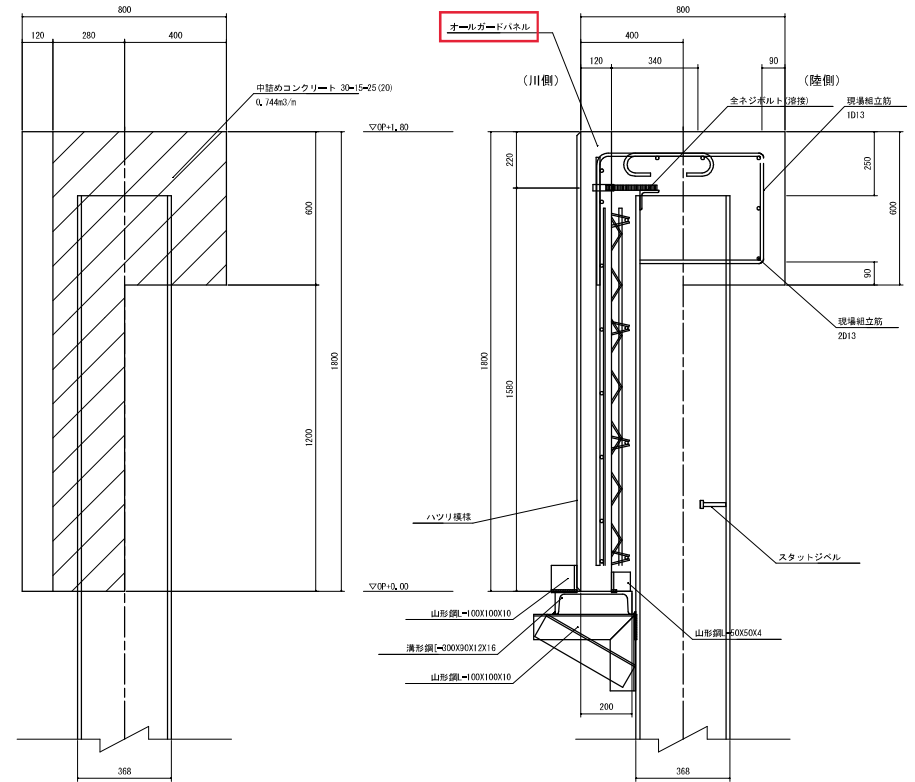
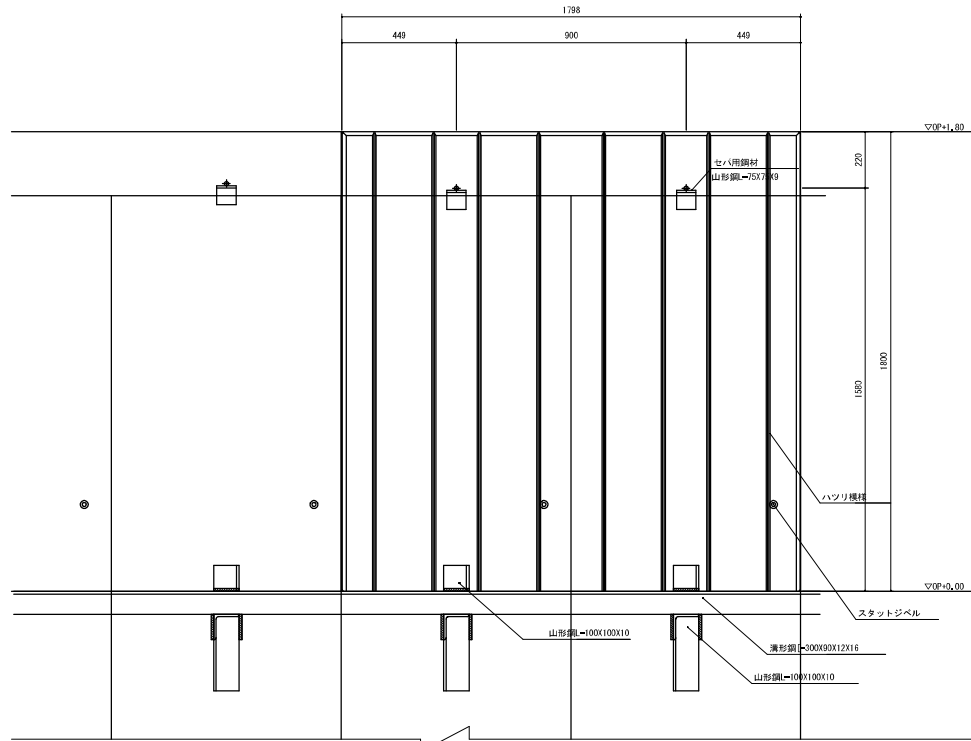
プレキャスト笠コンクリート構造図(2/2)

S=1:10

【F区間】

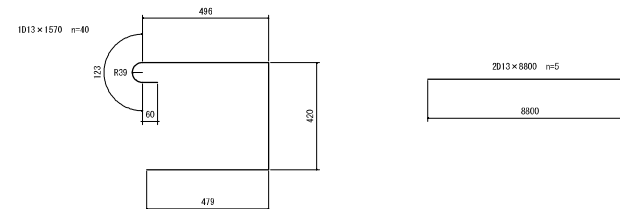
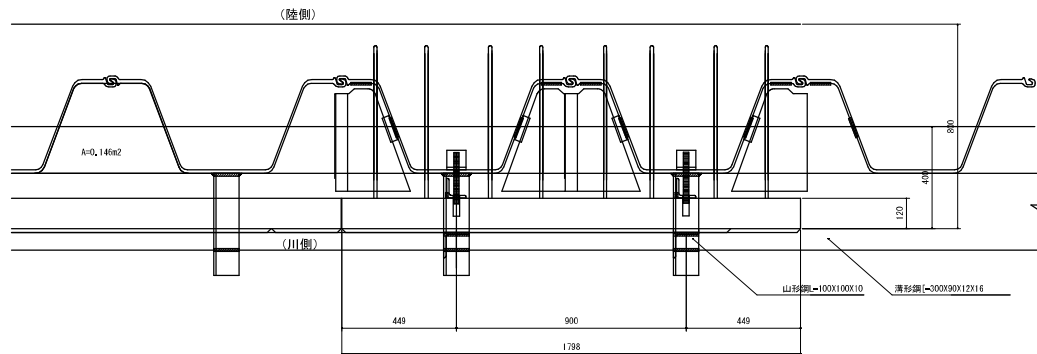
正面図

断面図



平面図

配筋加工図

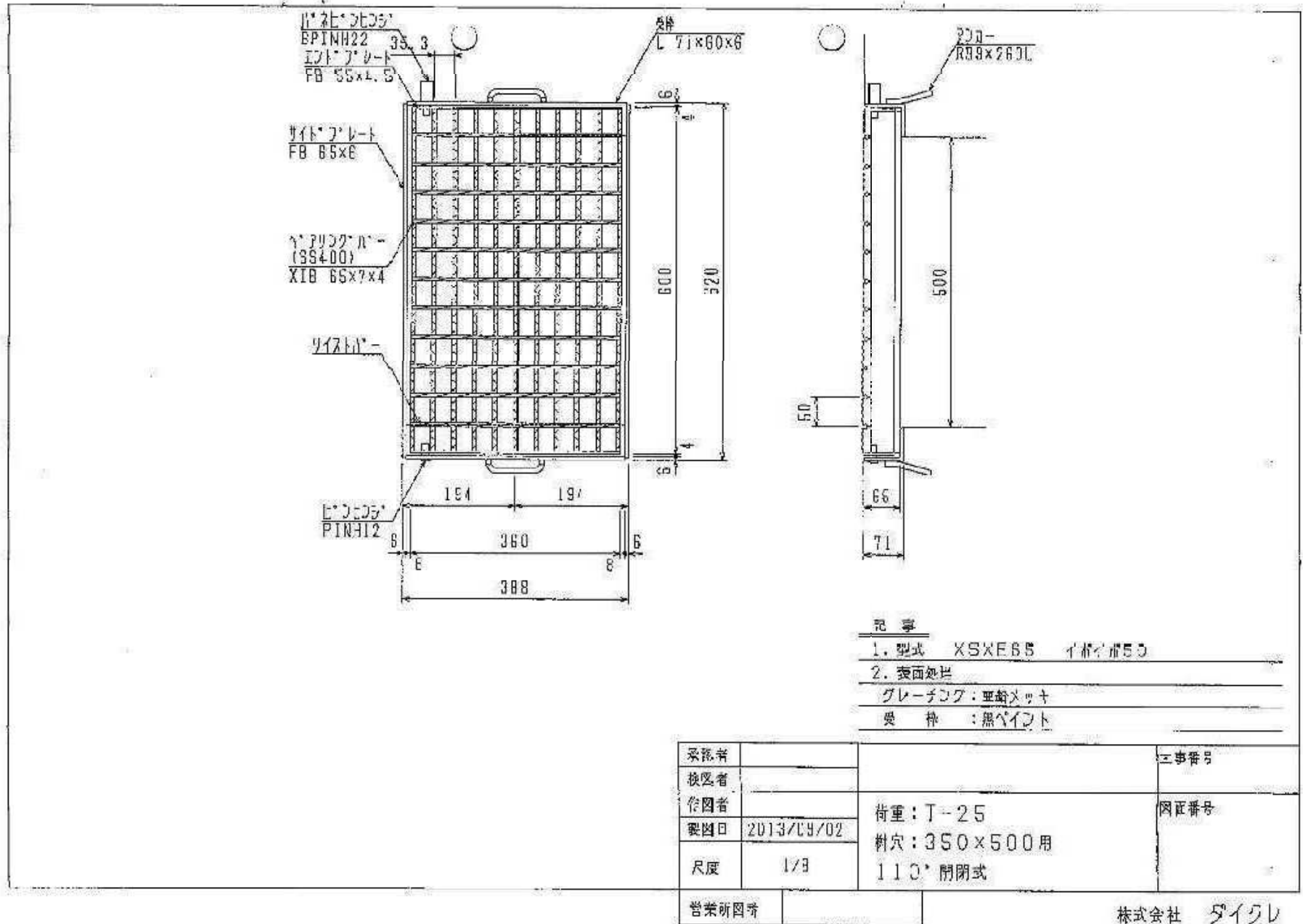


鉄筋表 (SD345)

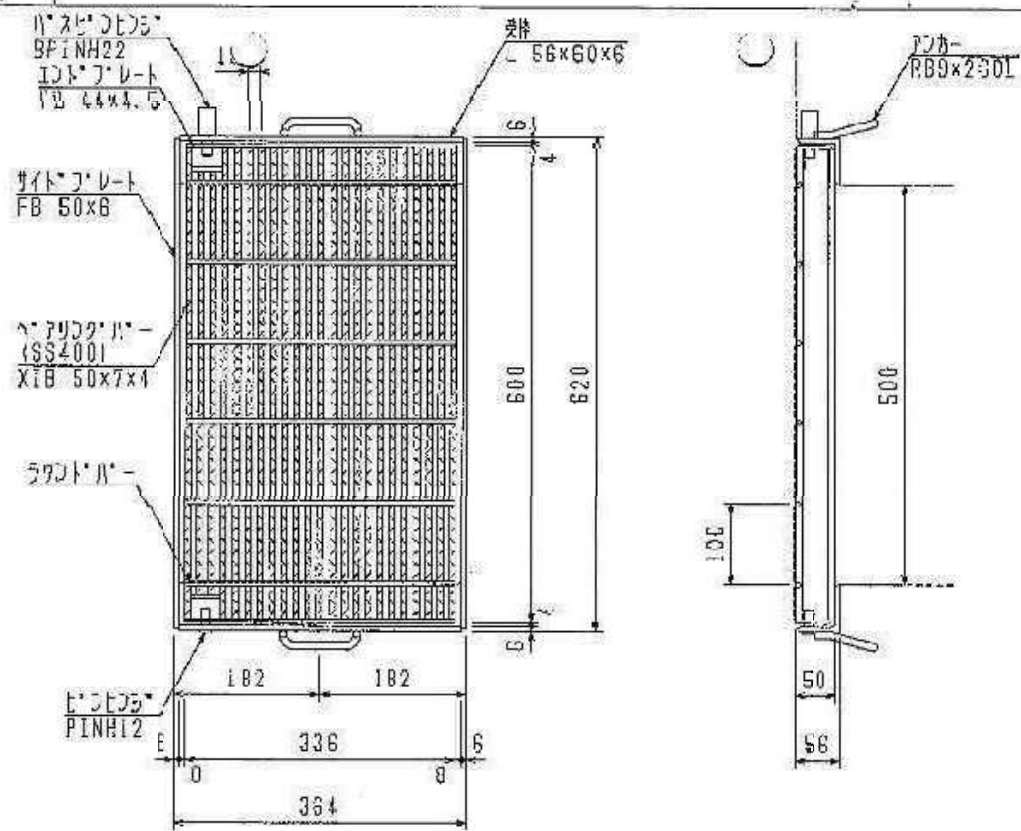
1スパン当たり (無当り)

記号	径	長さ [mm]	本数 [本]	単位重量 [kg/m]	1本当り 重量 [kg/本]	重量 [kg]	備 考
1	D13	1570	40	0.995	1.56	62.40	□
2	D13	8800	5	0.995	8.76	43.80	—
合計						106.20	

参考図-010



参考図-011



別表

1. 型式 HMS0 イボイボ細目

2. 表面処理

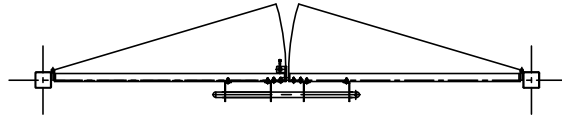
グレーチング: 亜鉛メッキ

受枠: 黒ペイント

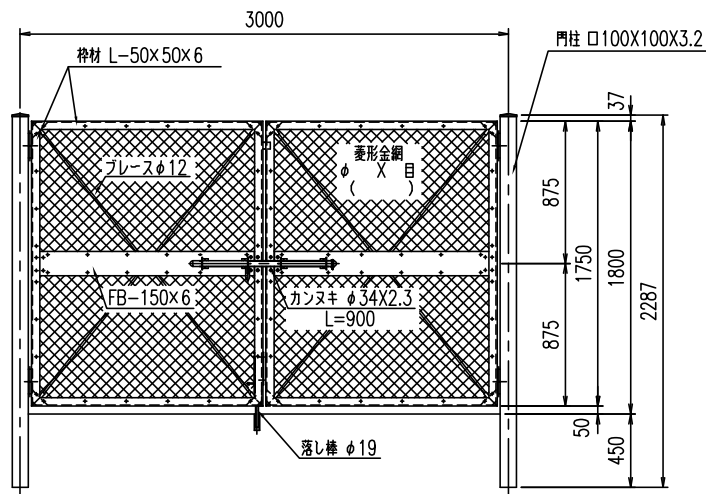
承認者		工事番号
検図者		
作図者		区画番号
製図日	2013/09/02	
尺度	1/8	荷重: T-25 柱穴: 350×500用 110° 弱閉式
管業所図番		株式会社 ダイワレ

参考図-011

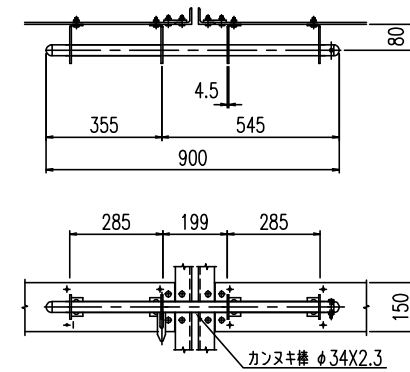
平面図 S=1/20



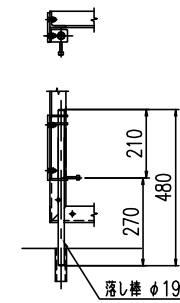
正面図 S=1/20



カンヌキ取付図 S=1/10

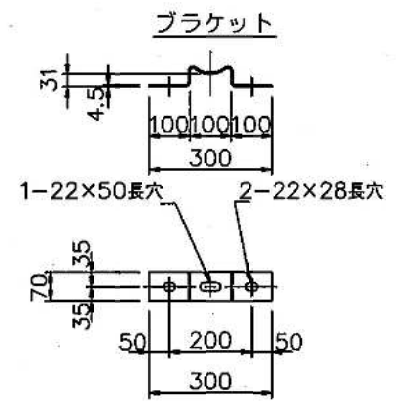
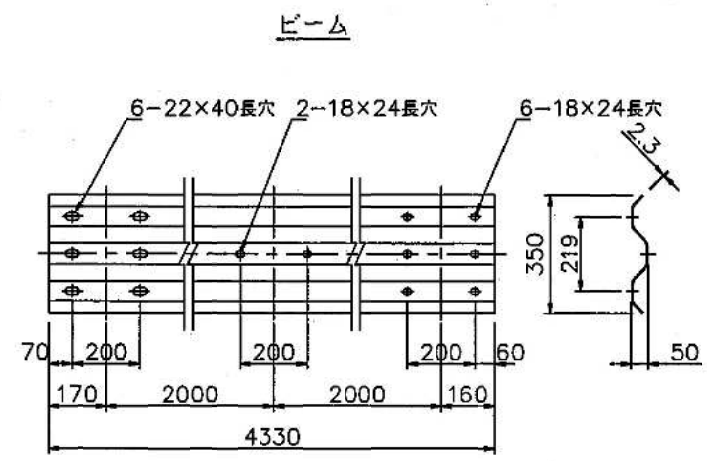
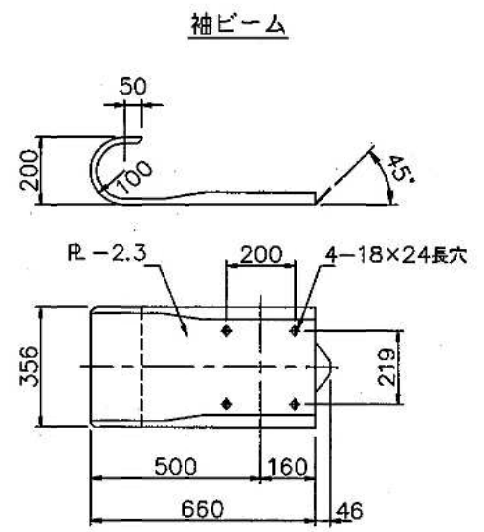
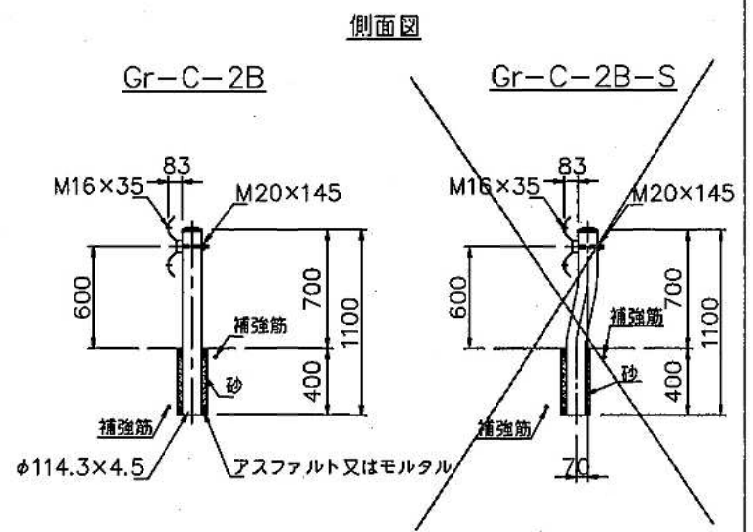
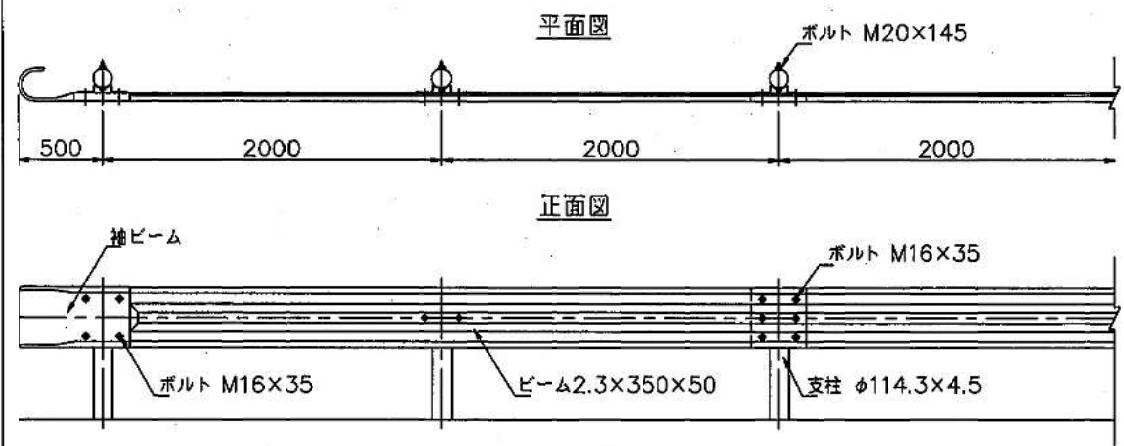


落し棒取付図 S=1/10



型式	VH-G3A型 H180	設計 番号	Vhg3ah18
JFE 建材フェンス 株式会社			

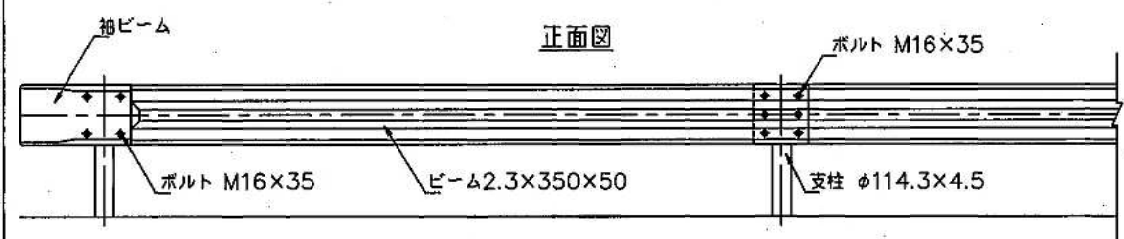
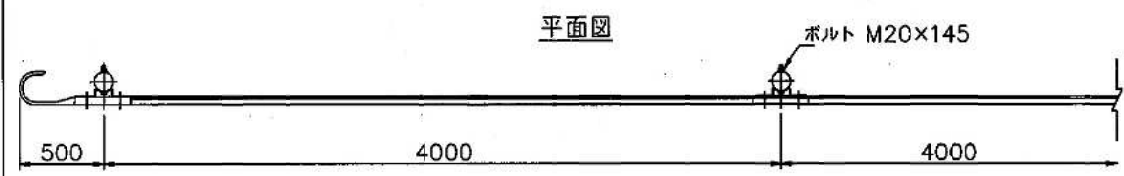
Gr-C-2B
~~Gr-C-2B-S~~



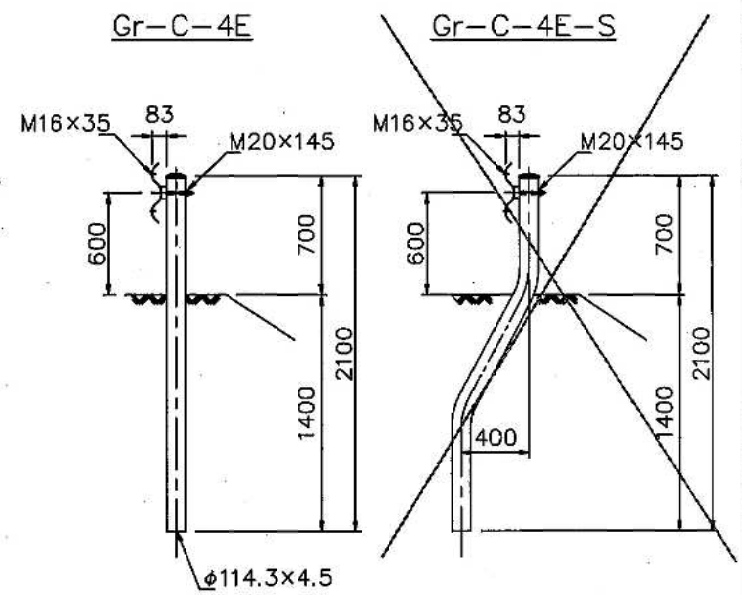
174

(注) 補強筋配置の詳細は別図-1に示す

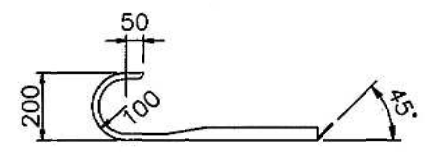
Gr-C-4E
~~Gr-C-4E-S~~



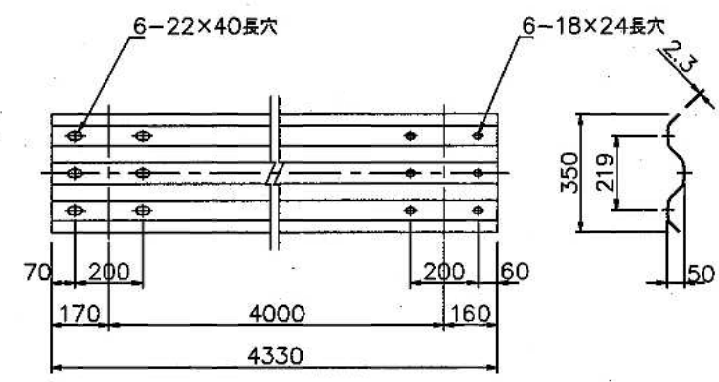
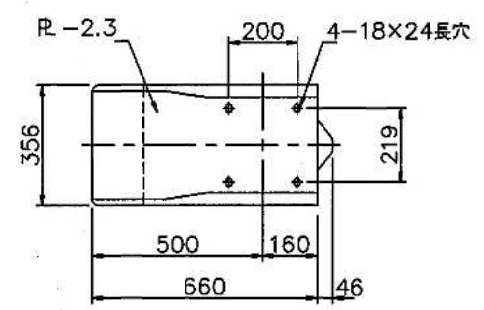
側面図



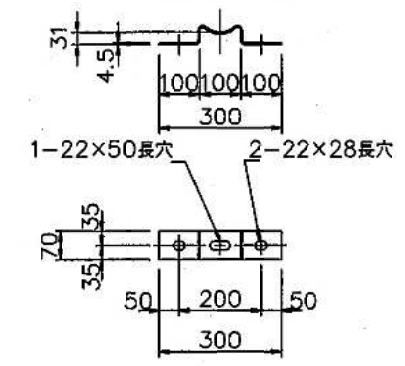
袖ビーム



ビーム



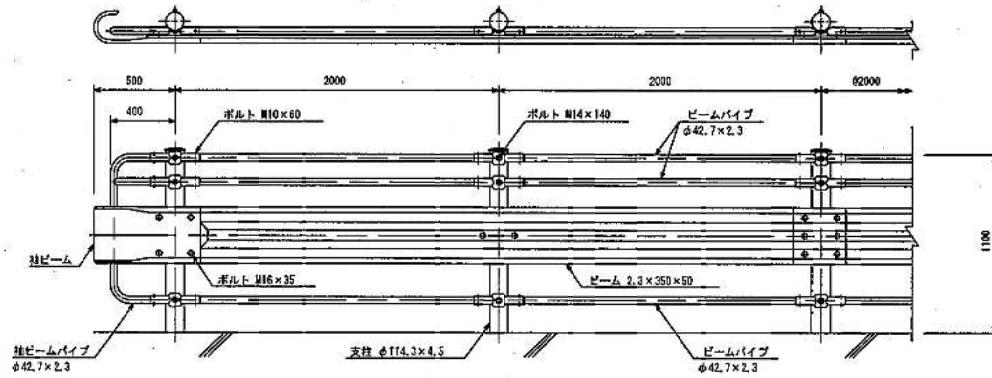
ブラケット



ガードレール工構造図
 (参考図) Gr (P) -C-2B/Gr (P) -C-4E

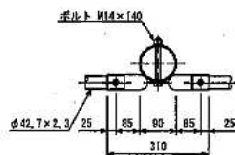
ガードレール構造図

組立図

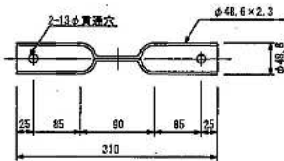


種類	埋込深さ (mm)
Gr (P) -C-2B (構造物用)	400
Gr (P) -C-4E (土中用)	1,400

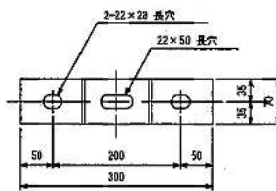
ビームパイプ接合部



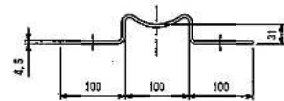
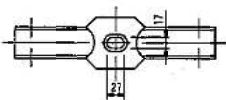
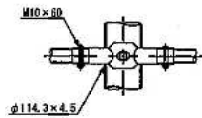
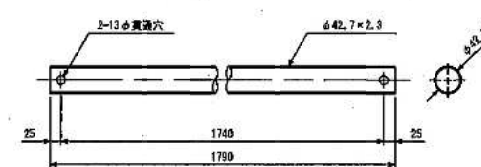
セーフティブラケット



ガードレールブラケット



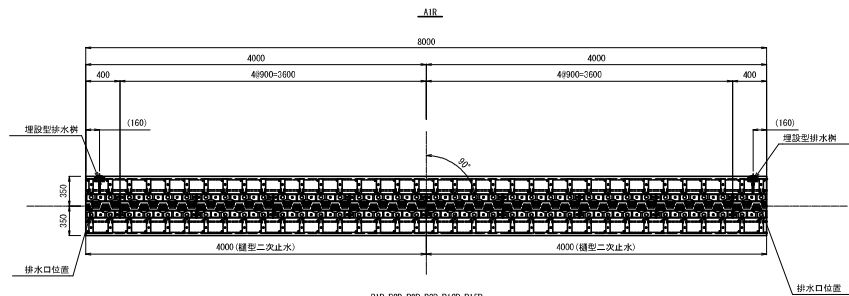
ビームパイプ



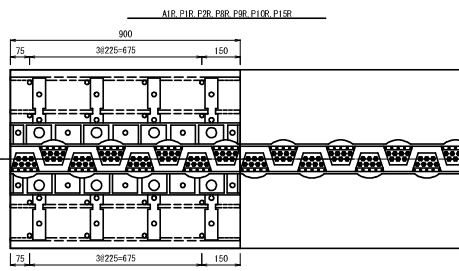
自然田高架橋(南行) 伸縮装置補修図(参考図)(その2)

【荷重支持型】AIR, P1R, P2R, P3R, P8R, P9R, P10R, P11R, P15R

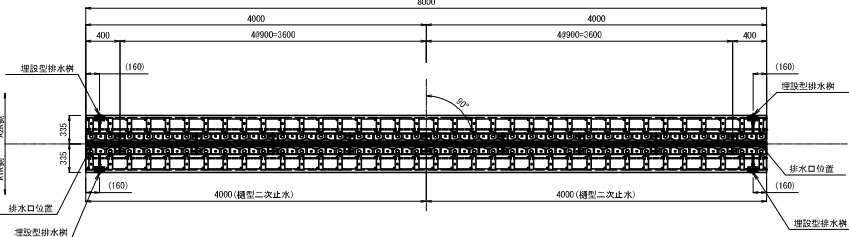
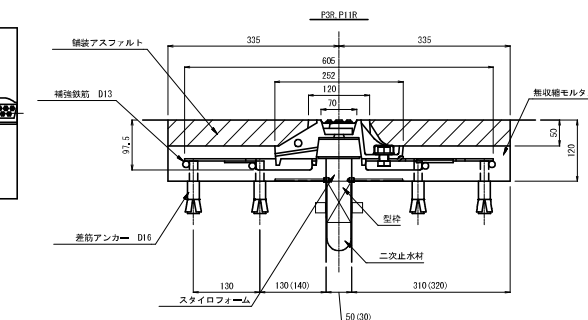
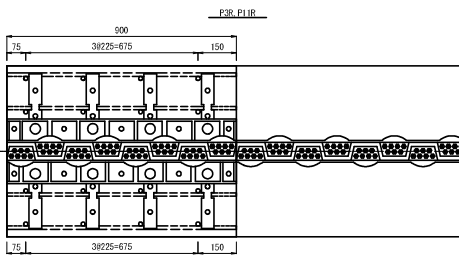
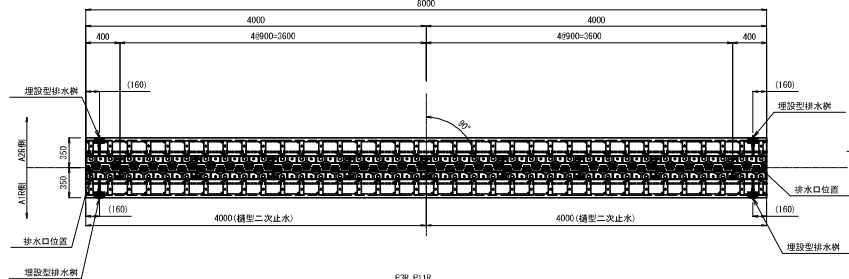
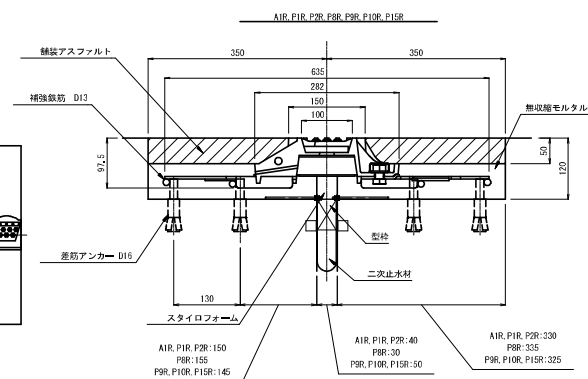
配置図 S=1:30



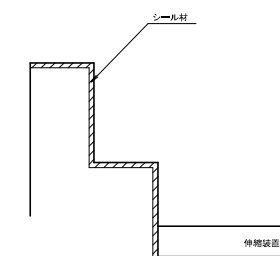
標準取付平面図 S=1:10



標準取付断面図 S=1:5



地覆部詳細図 S=1:10



伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	AIR	P1R	P2R	P3R	P8R	P9R	P10R	P11R	P15R	合計	備考
伸縮装置	HD-JC-R40	m	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	56,000	鋼鉄製・荷重支持型(別途割付材必要)
埋設型排水管	HD-JC-R20	m	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16,000	—
二次止水(継ぎ)	HD-JC-R250	n	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	72,000	高さ調整金具、フレキシブル管(φ20mm、L=1000)含む
補強鉄筋	φ-D13 8.00	kg	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	31.84	288.56	伸縮量20/40mm用(別途割付材必要)
差筋アンカー	D16	本	144	144	144	144	144	144	144	144	144	1296	—
無収縮モルタル	φok=24mm2以上	m ³	0.368	0.368	0.368	0.344	0.376	0.368	0.368	0.368	0.368	3.288	—
アスファルト	—	m ²	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	0.232	2.068	—

型式	規格	単位	AIR	P1R	P2R	P3R	P8R	P9R	P10R	P11R	P15R	合計	備考
HD-JC-R40	定尺(L=900)	本	8	8	8	—	8	8	8	—	8	56	鋼鉄製・荷重支持型
	継ぎ	m	2	2	2	—	2	2	2	—	2	14	
HD-JC-R20	定尺(L=900)	m	—	—	—	8	—	—	—	8	—	16	—
	継ぎ	m	—	—	—	2	—	—	—	2	—	4	

【指示事項】

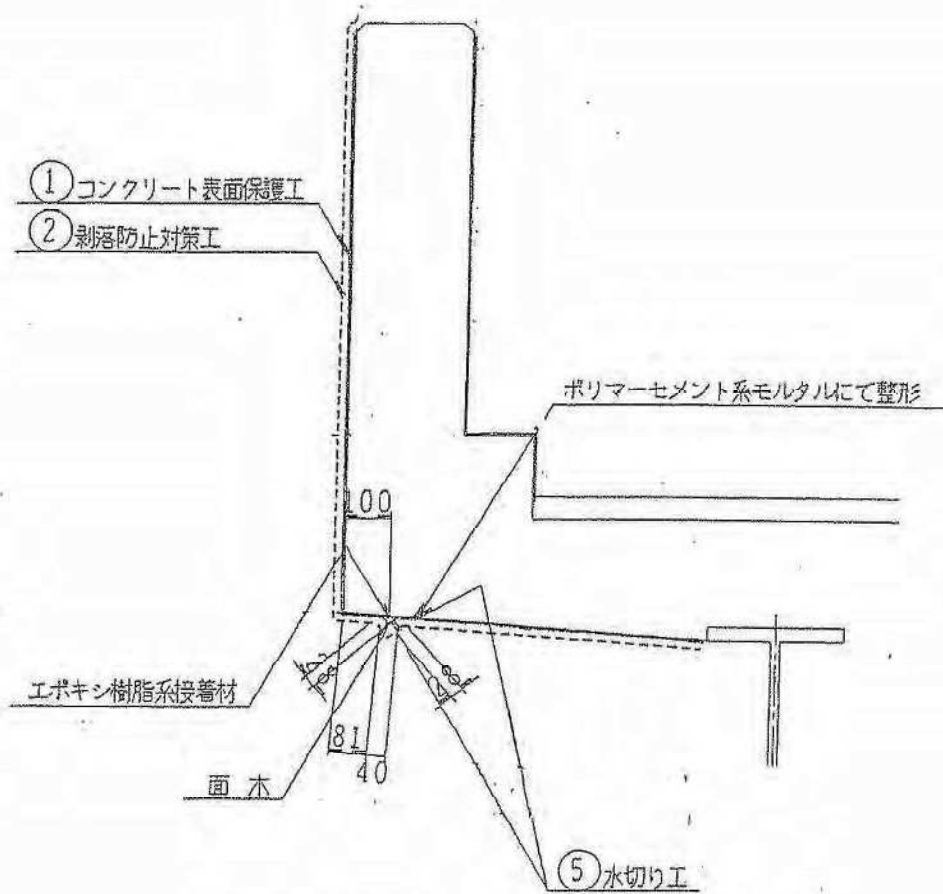
- ※ 施工にあたっては、現場再測の上を行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
- ※ 表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
- ※ 伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。
- ※ 車道用製品は実測値での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し、疲労耐久性を確認した製品とする。
- ※ 車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結バックンを有する製品とする。
- ※ 車道用製品は浸透・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
- ※ 車道用製品はL100未満のため割付取替や荷重調整が可能な製品とする。
- ※ 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。

注記

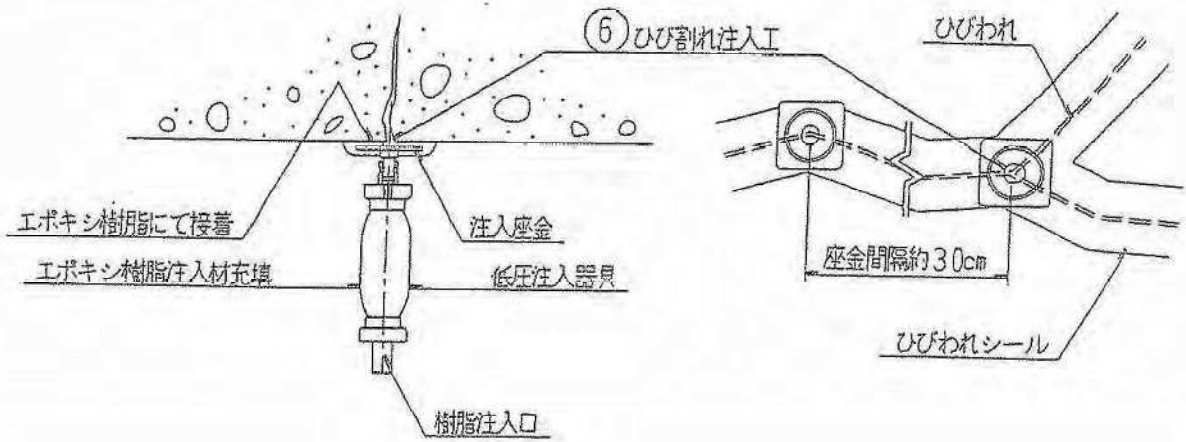
現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

令和6年度	図 番 号	115	123
路 線 名	一般国道 東海取南海線		
委 託 名	自然田高架橋 橋梁補修設計委託		
委 託 所	阪南西自然田橋内 外		
図 面 名	自然田高架橋中 詳細計測(浄重) (5)		
縮 尺	図 示	作成年月	令和6年2月
大 阪 府 岸 田 土 木 事 務 所			

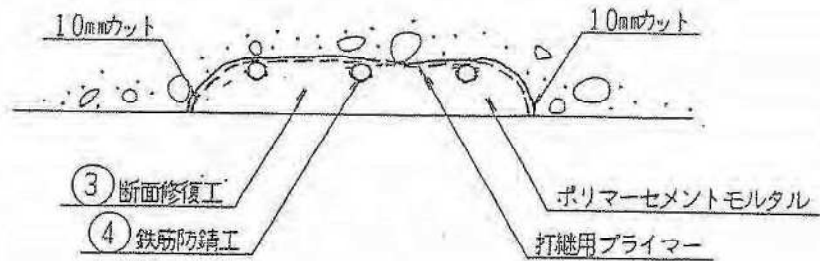
コンクリート剥落防止対策工の種別（工法概要図）



ひびわれ注入詳細図

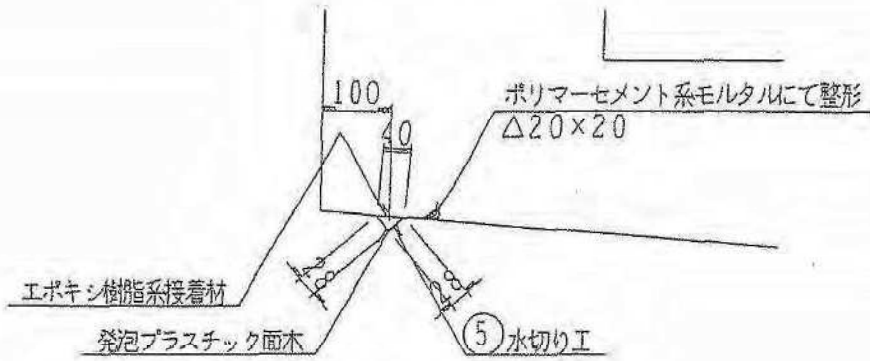


断面復旧工詳細図



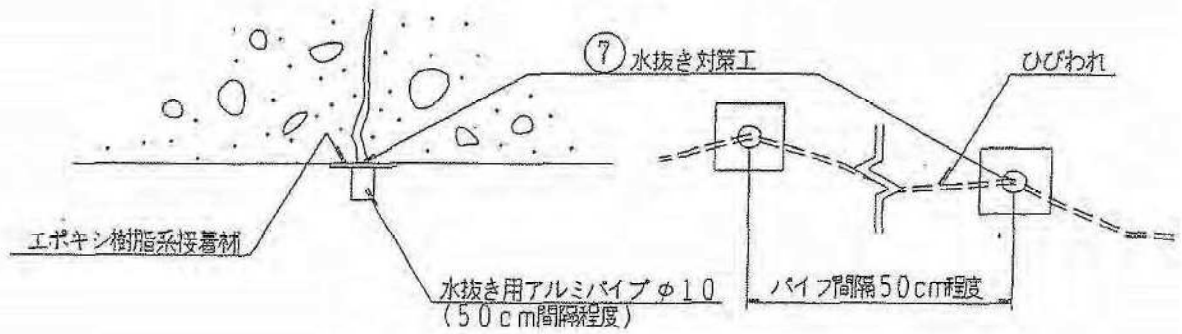
- 注) 1 既設鉄筋は下地処理後、防錆材を塗布すること。
 2 既設と補修境界部に10mm深さのカッターを入れること。

水切り工詳細図

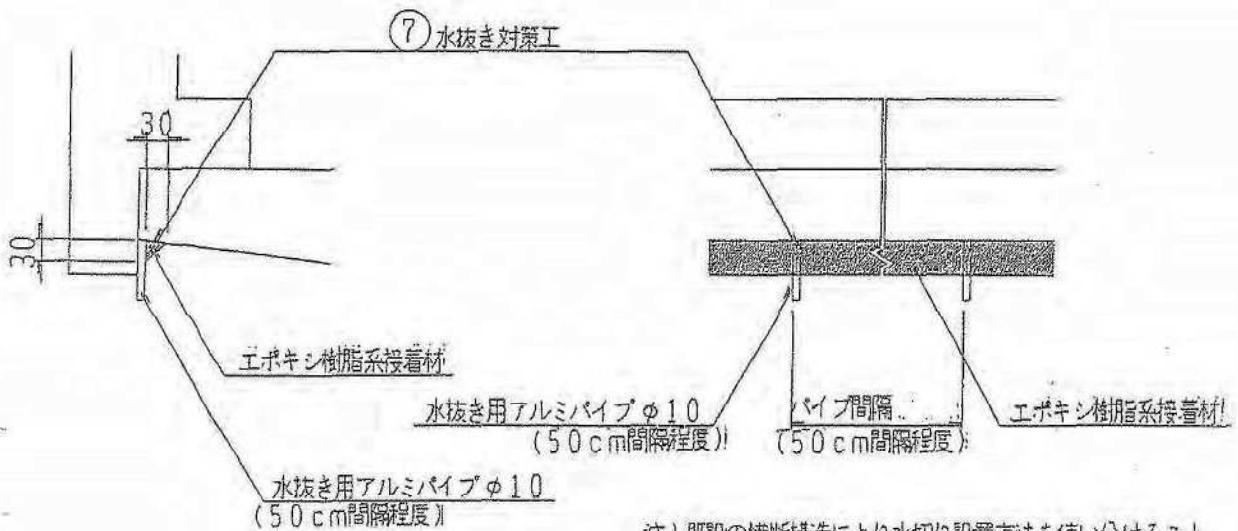


水抜きパイプ設置詳細図

(漏水を伴うひび割れや打ち継ぎ目部)



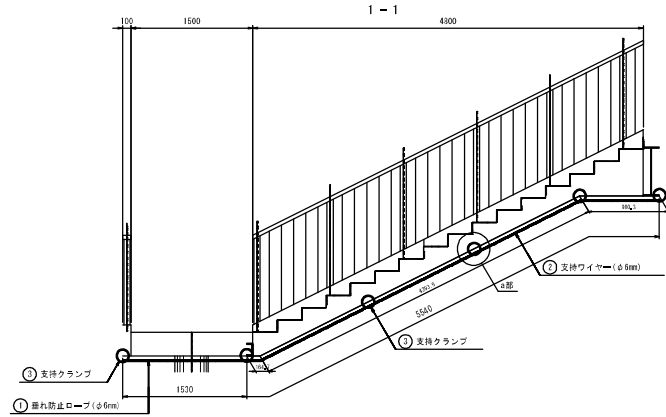
(既設の水切り部に沿って水抜きパイプを設置する場合)



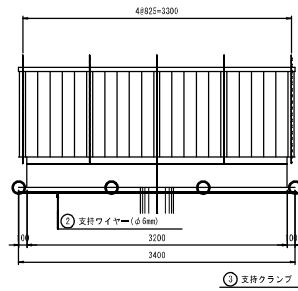
注) 既設の横断構造により水切り設置方法を使い分けること

剥落防止ネット工計画図 (海側)

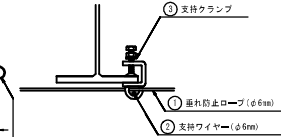
断面図 S=1:30



3-3



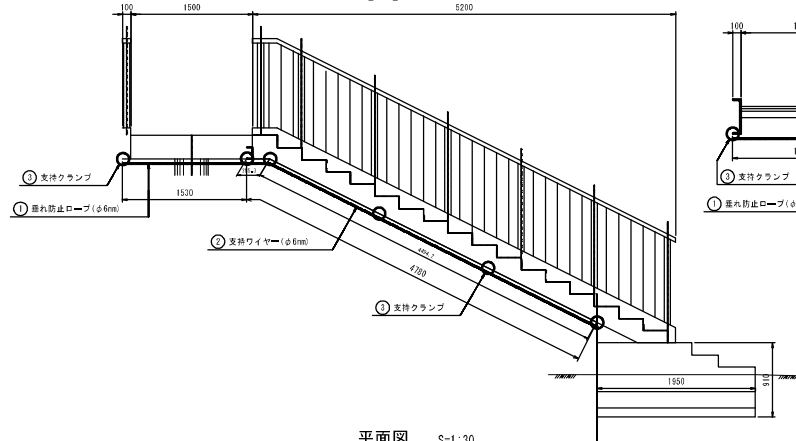
a部詳細



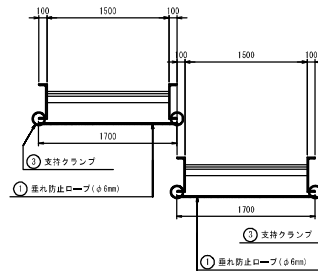
剥落防止ネット標準材料表

番号	材名	寸法	材質	単位	数量	備考
①	垂れ防止ロープ	φ6(三つ打ち)	ナイロン 6mm	m	13.6	麻生中歩道橋
②	支持ワイヤー	φ6(4号6×24)	JIS G 3525 6種メッキ	m	37.3	麻生中歩道橋
③	支持クランプ			個	28	麻生中歩道橋
④	削孔式打込みアンカー	W10×70		本	—	—
⑤	支持アイボルト	W10(ネジ部18mm)		個	—	—
⑥	接続金具	φ6(内径50mm)	AK 1001	個	6	麻生中歩道橋
⑦	ワイヤークリップ	φ6(内径50mm)	JIS B 2809 メッキ	個	24	麻生中歩道橋
⑧	編み込みロープ	φ2.5(三つ打ち)		本	—	—
⑨	周面ロープ	φ6(三つ打ち)	ナイロン 6mm	m	37.3	麻生中歩道橋
⑩	剥落防止ネット	10mm目合い(黒)	ナイロン(防虫加工) 15903/6本 10mm目	m ²	22.7	麻生中歩道橋
⑪	干渉帯緩衝材	15R×30	発泡スチロール	m	—	—
⑫	発泡スチロール緩衝材		エポキシ樹脂接着剤	m	—	—

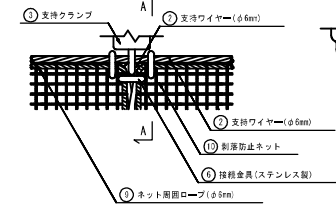
2-2



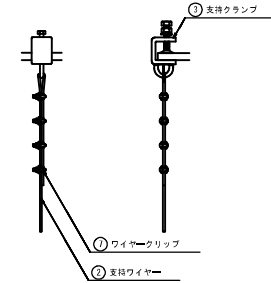
4-4



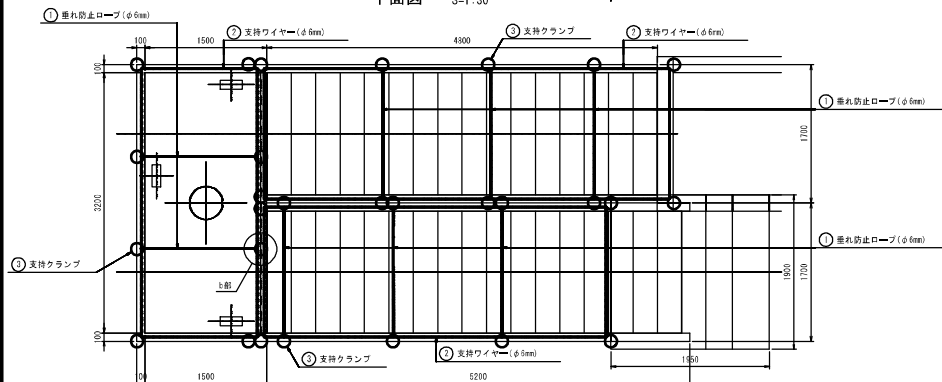
b部詳細



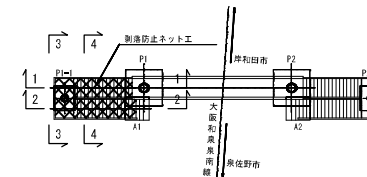
支持ワイヤー終末処理詳細



平面図 S=1:30



位置図 S=1:200



麻生中歩道橋

剥落防止ネット工数量表

箇所	種別	単位	数量
階段部	上段	m ²	9.4
	下段	m ²	8.1
隣接部		m ²	5.2
合計		m ²	22.7

注: この図面は、概算台帳および建設時一般図をもとに構造寸法を再設計したものである。

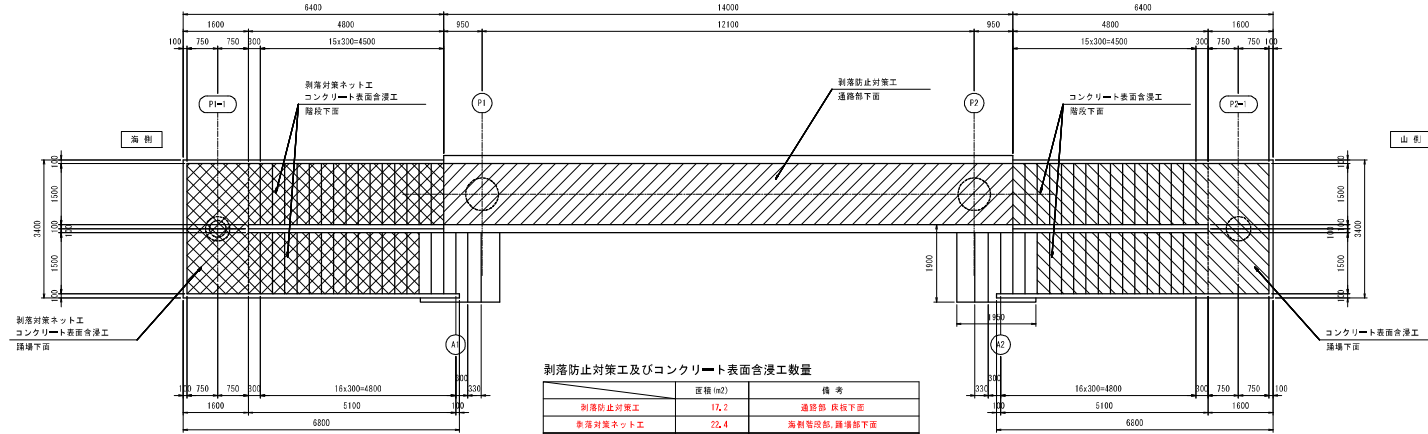
年度	年度	年度
所在地	所在地	所在地
設計者	設計者	設計者
委託者	委託者	委託者
図面種別	剥落防止ネット工計画図	
設計	縮尺	番号
図章	図章	図章
大阪府岸和田土木事務所	作成	年月

補修詳細図(その1)

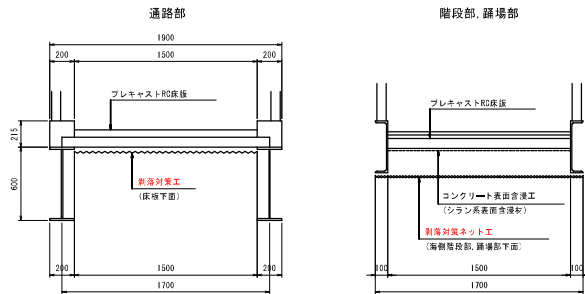
S=1:60

剥落防止対策工及びコンクリート表面含浸工

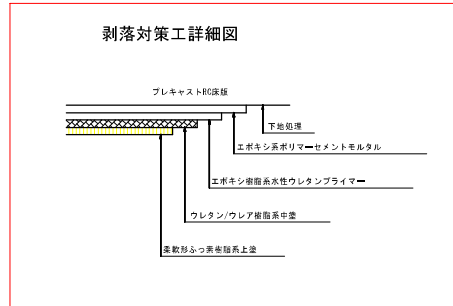
平面図



断面図 S=1:20

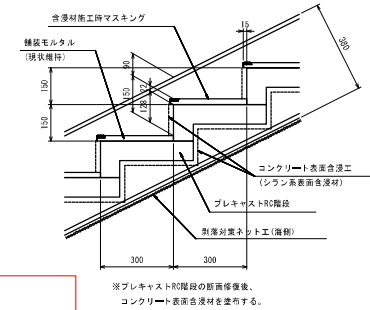


剥落対策工詳細図

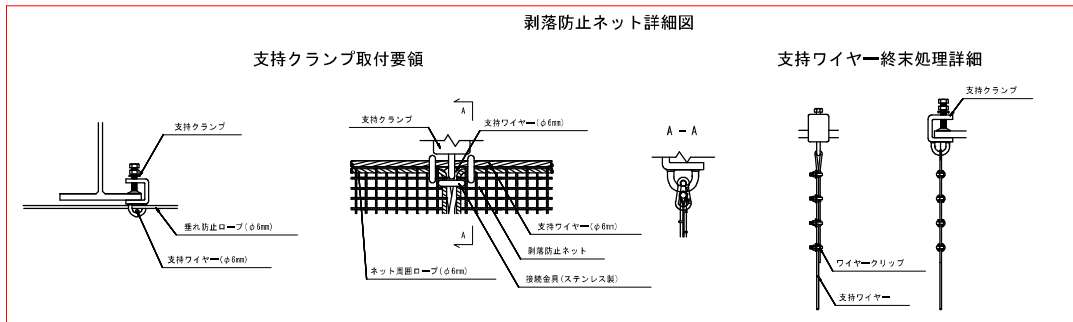


コンクリート表面含浸工詳細図

S=1:10



剥落防止ネット詳細図



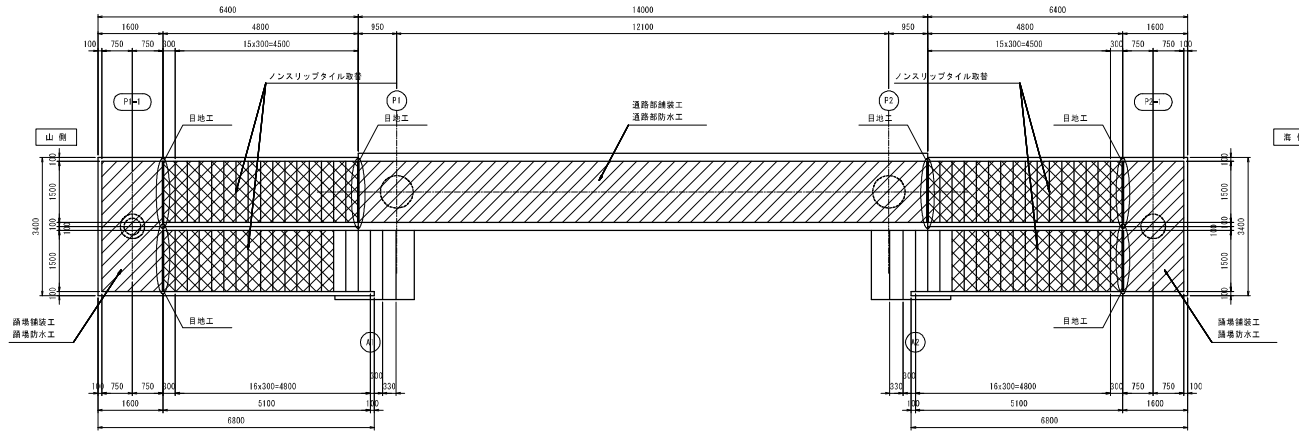
年度	年度	事業名	
所属部署			
担当者			
責任者			
承認者		補修詳細図(その1)	
図寸	図尺	番号	
	図示	/	
大阪府岸和田土木事務所		平成	年 月

補修詳細図(その2)

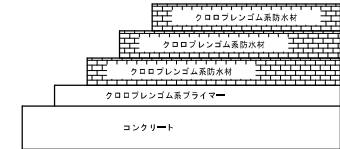
S=1:60

橋面防水工及びノンスリップタイル取替工

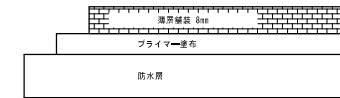
平面図



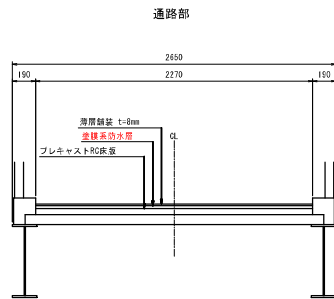
塗膜系床版防水層(ゴム溶剤型)の層構成



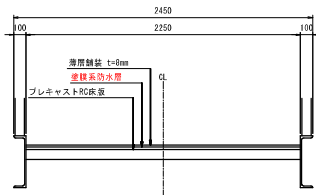
エポキシ樹脂薄層の層構成



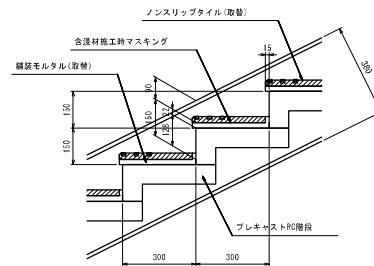
防水層範囲 S=1:20



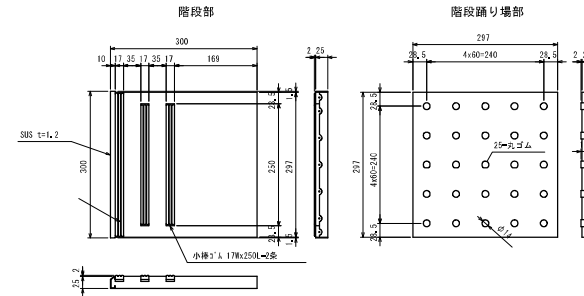
階場部



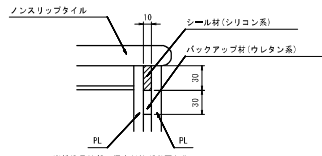
ノンスリップタイル取替工詳細図 S=1:10



ノンスリップタイル詳細図 S=1:5



階段取付部目地工詳細 S=1:3



※構造目地部の漏水対策が必要なら、
建設時と同等の目地工を再建する

名称	単位	数量	備考
通路部修繕工面積	m ²	20.6	
通路部防水層面積	m ²	20.6	塗膜系
階場修繕工面積	m ²	9.5	
階場防水層面積	m ²	9.5	塗膜系
ノンスリップタイル取替	m ²	21.0	
目地工	m	9.0	
シリル材体積	リットル	2.7	シリコン系, t=10mm(階段取付部)
バックアップ材塗布	リットル	2.7	ウレタン系, t=10mm(階段取付部)

注記

1. 補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地に於いて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

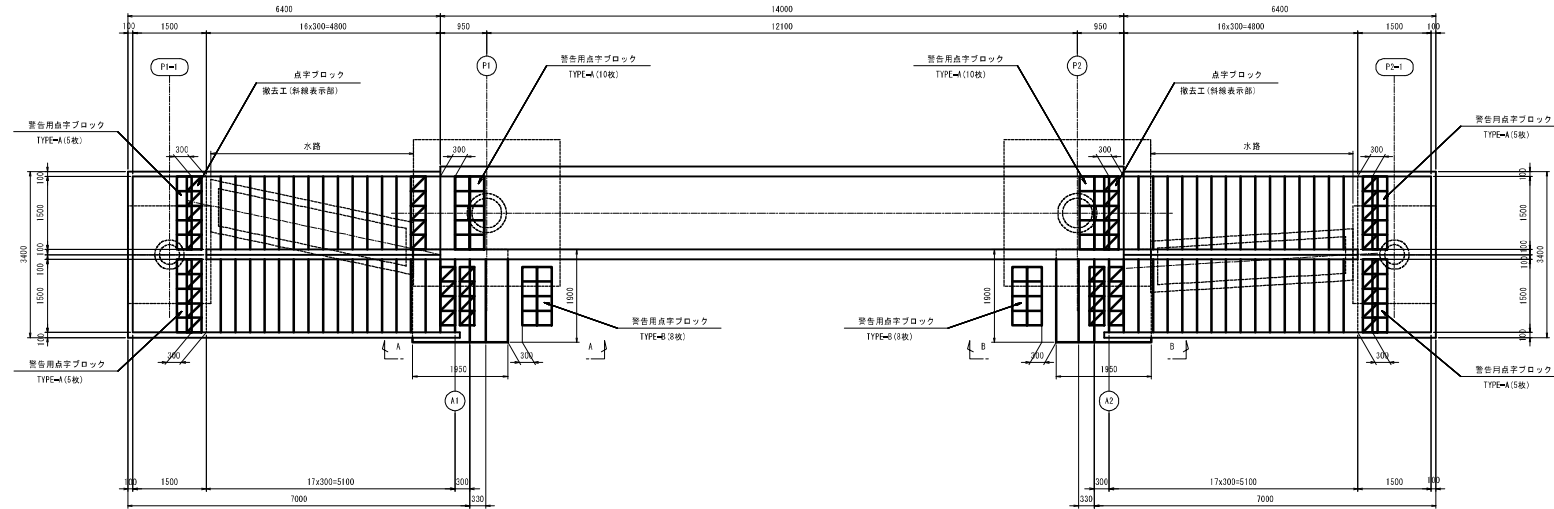
年度	年度	事業名	
所管部署			
担当者			
委託先			
調査機関		補修詳細図(その2)	
図号	図尺	番号	
	図示	/	
大阪府岸和田土木事務所			
	平成	年	月

補修詳細図(その4)

S=1:50

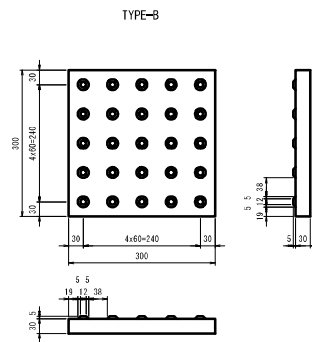
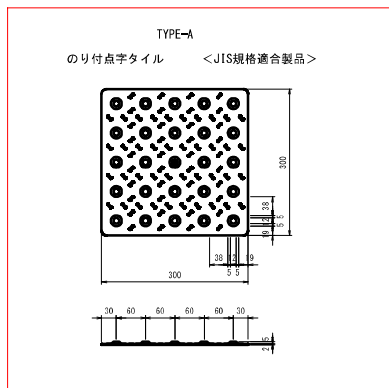
点字ブロック設置工

平面配置図



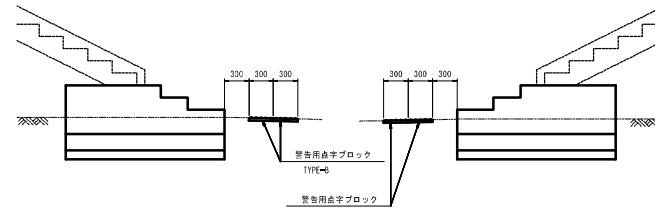
視覚障害者警告用点字ブロック

S=1:5



A - A S=1:30

B - B S=1:30



注記

- 1.補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
- 2.施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

点字ブロック数量

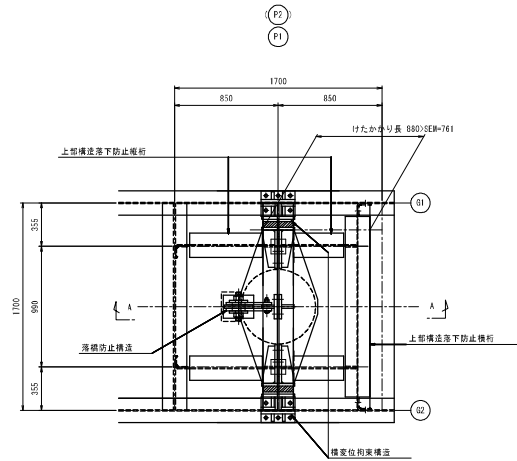
点字ブロック撤去工	数量(枚)	備考	
点字ブロック撤去工	46	既設部(平面配置図の斜視表示部)	
点字ブロック設置工	TYPE-A	40	材質:合成ゴム(t=2mm)、種別:仕様
	TYPE-B	16	材質:コンクリート(t=30mm)

年度	年度	事業名	縦仕中歩道橋
河原町区			
市 民 名			
委託名			
測量機関	補修詳細図(その4)		
設計	図 尺	番 号	
	図 示	/	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

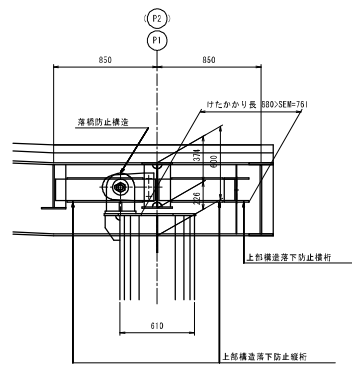
麻生中歩道橋 落橋防止システム構造図

S=1:20

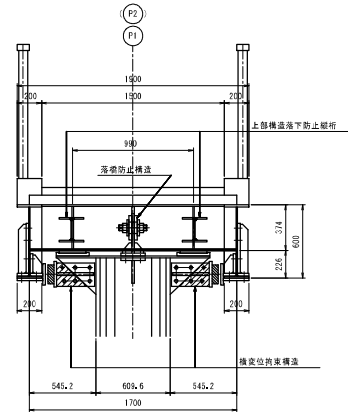
平面図



A-A



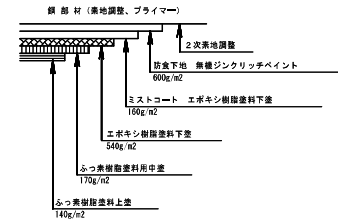
支点上断面図



塗装仕様

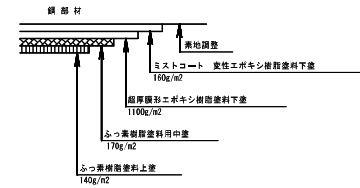
一般部外面塗装仕様

(C-5 塗装系)



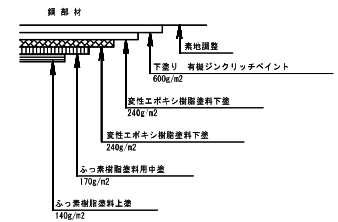
高力ボルト連結部塗装仕様

(F-1 1 塗装系)



溶接部塗装仕様

(F-1 3 塗装系)



麻生中歩道橋

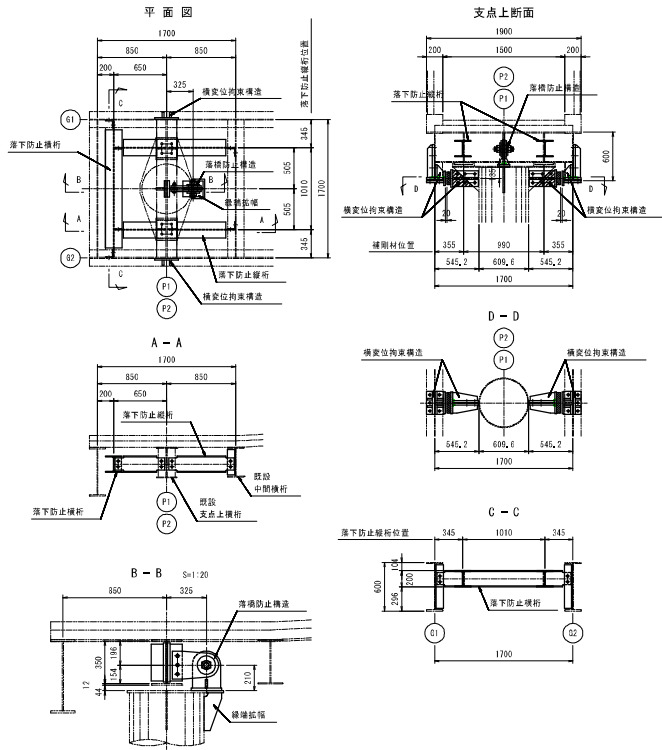
年度	年度	事業名
所屬町名	大阪府長狭市部生中	
市町村名	生駒市 大坂和泉南線	
委託名		
委託種別	落橋防止システム構造図	
図 計	図 尺	番 号
	図 示	/
大阪府和泉土木事務所		平成 年 月

注記
1. 落橋防止システムを設置するうえで、
構造物が変更がある場合は除去、復旧を行うこと。

落橋防止システム詳細図(その1)

S=1:30

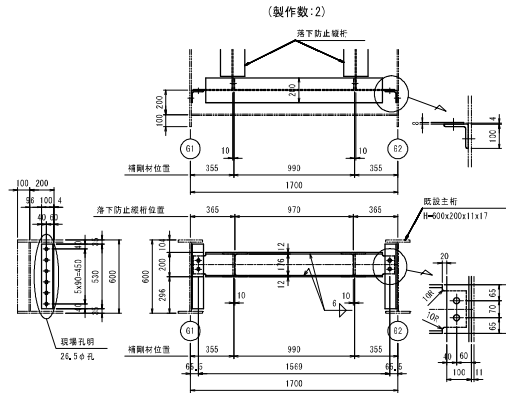
取付位置図



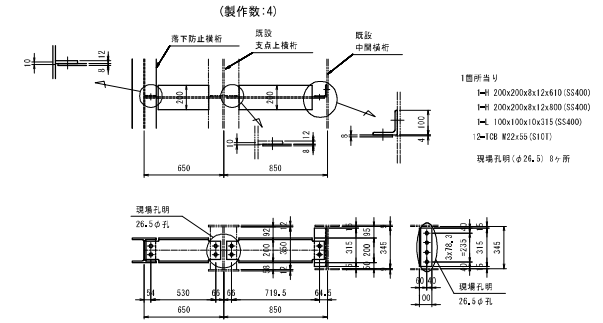
耐震補強工数表

項目	単位	数量	備考
現場溶接長さ	米尺	n	3,334
換算長さ	n	23,464	6mmすみ肉溶接
鋼棒孔明工	箇所	124	

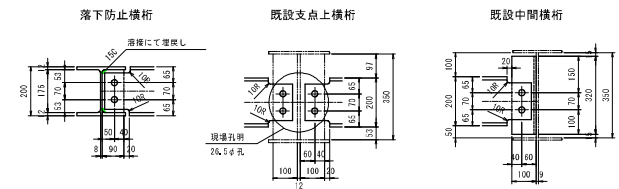
落下防止横桁 S=1:20



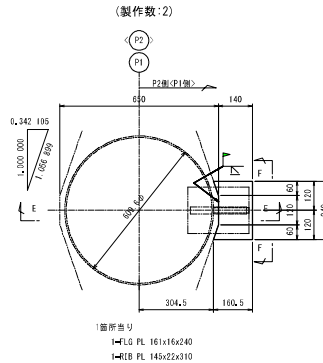
落下防止縦桁 S=1:20



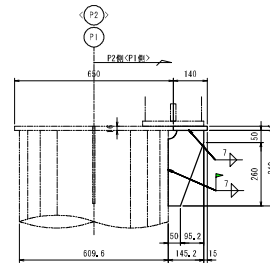
縦桁取付部詳細図 S=1:10



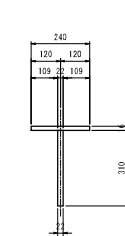
縁端拡幅 S=1:10



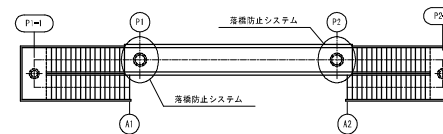
E-E S=1:10



F-F S=1:10



配置図



注記

- 補強箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
- 施工に際しては、必ず現地にて補強箇所及び数量を確認の上で行うこと。
- 特記なき材質は、全てSM400とする。
- 特記なきスカラーは、3Rとする。
- ◀は、IQB W22 (S101) 表示。

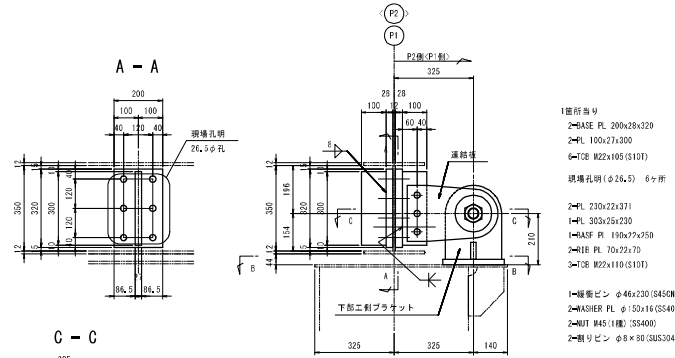
年度	年度	年度	年度
所属	所属	所属	所属
氏名	氏名	氏名	氏名
資格	資格	資格	資格
落橋防止システム詳細図(その1)			
図号	図号	図号	図号
図名	図名	図名	図名
大阪府河内田土木事務所 平成 年 月			

落橋防止システム詳細図(その2)

S=1:10

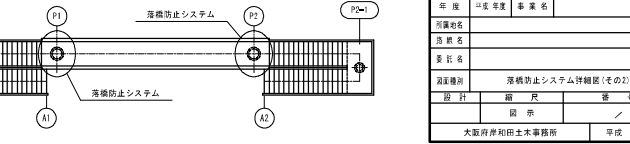
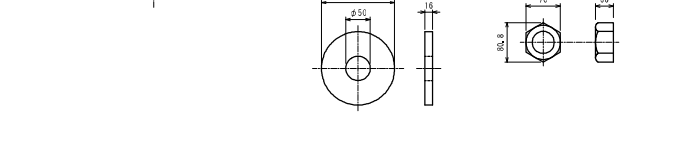
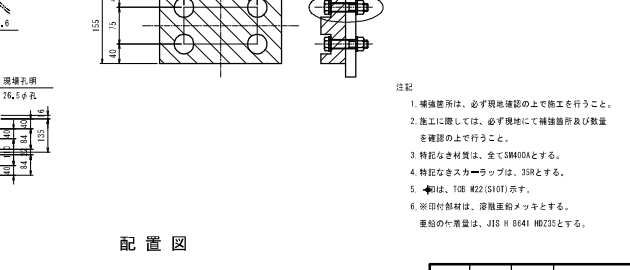
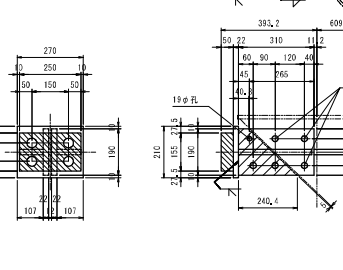
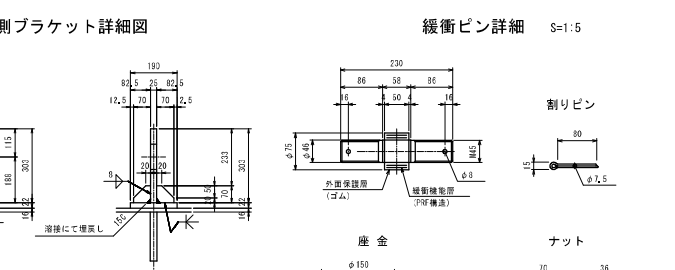
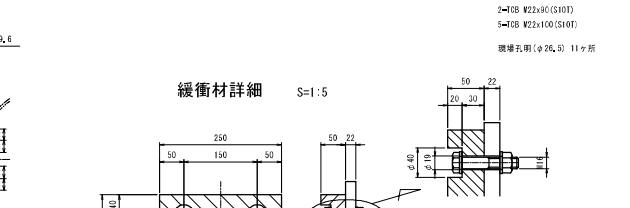
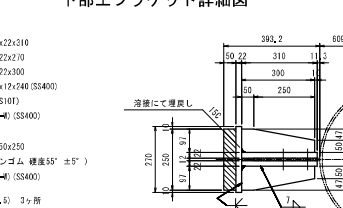
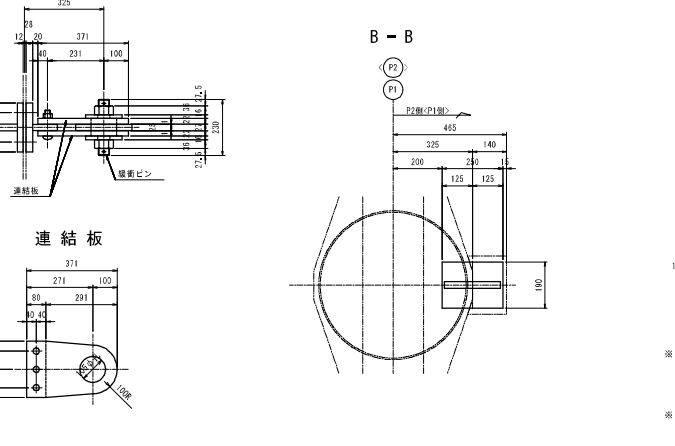
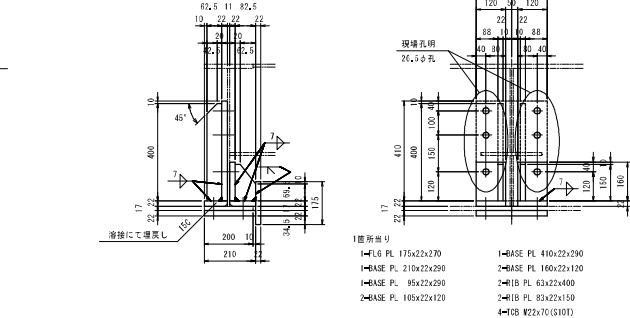
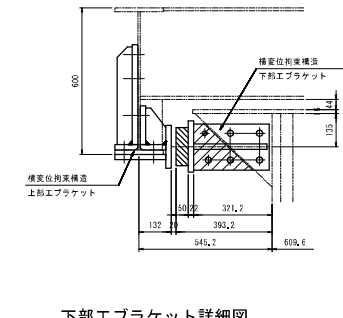
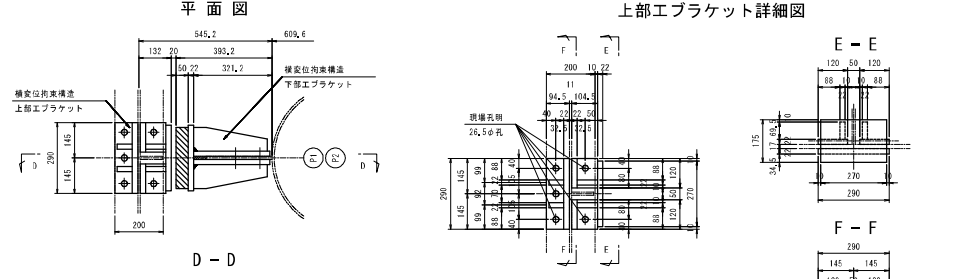
落橋防止構造詳細図

(製作数:2)



横変位拘束構造詳細図

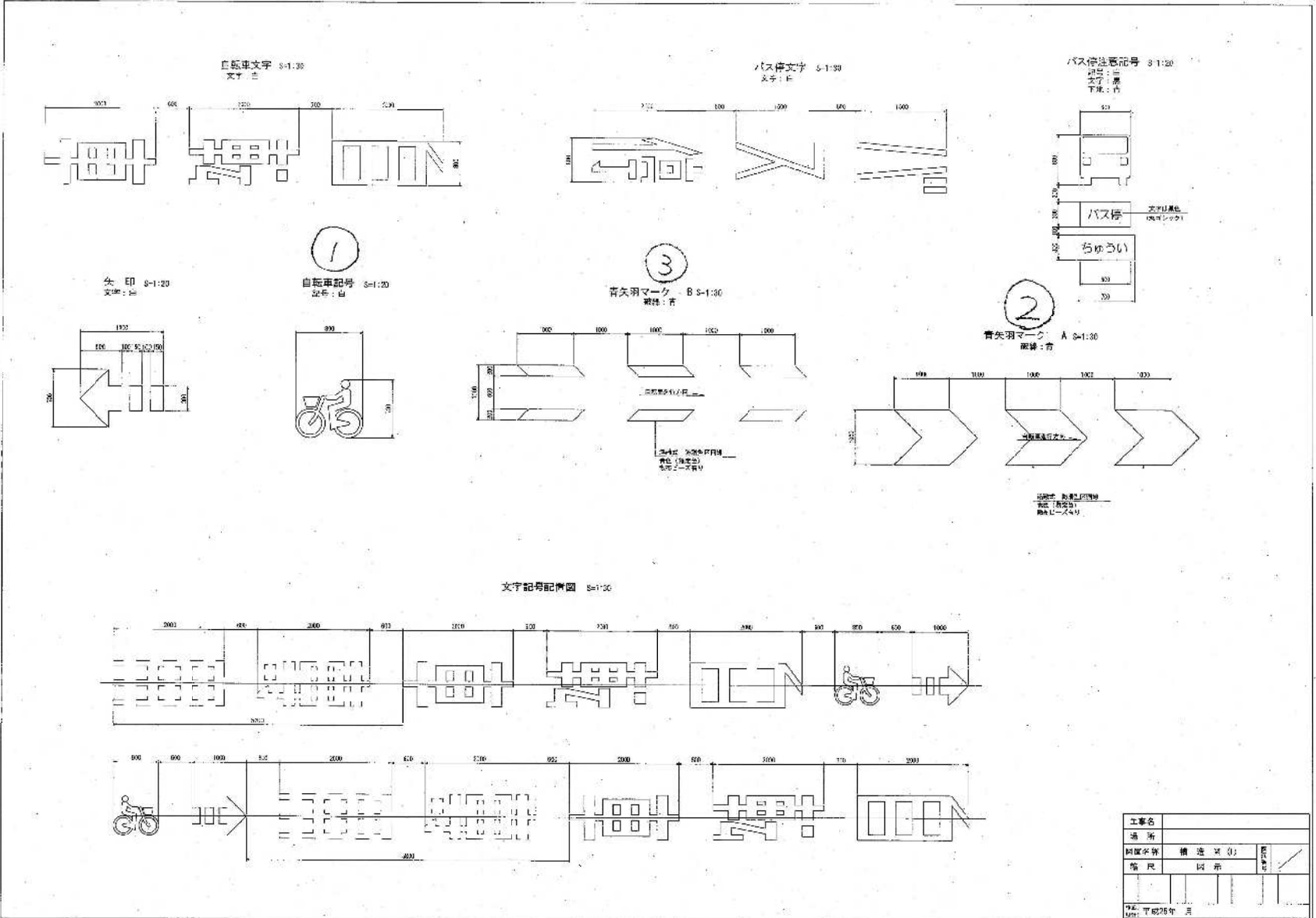
(製作数:4)



- 注記
1. 補強箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
 2. 施工に際しては、必ず現地にて補強箇所及び数量を確認の上で行うこと。
 3. 特記なき材質は、全てS4400Aとする。
 4. 特記なきカラーワッパは、3SRとする。
 5. ※は、TDB W22(S101)を示す。
 6. ※印付部材は、図面を参照する。
- 重量の仕様値は、JIS H 8641 H023とする。

年度	年度	年度	年度
所属	所属	所属	所属
氏名	氏名	氏名	氏名
資格	資格	資格	資格
落橋防止システム詳細図(その2)			
図号	図号	図号	図号
図名	図名	図名	図名
図示	図示	図示	図示
図示	図示	図示	図示
図示	図示	図示	図示

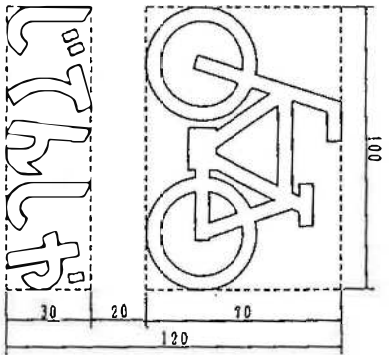
大阪府河内田土事務所 平成 年 月



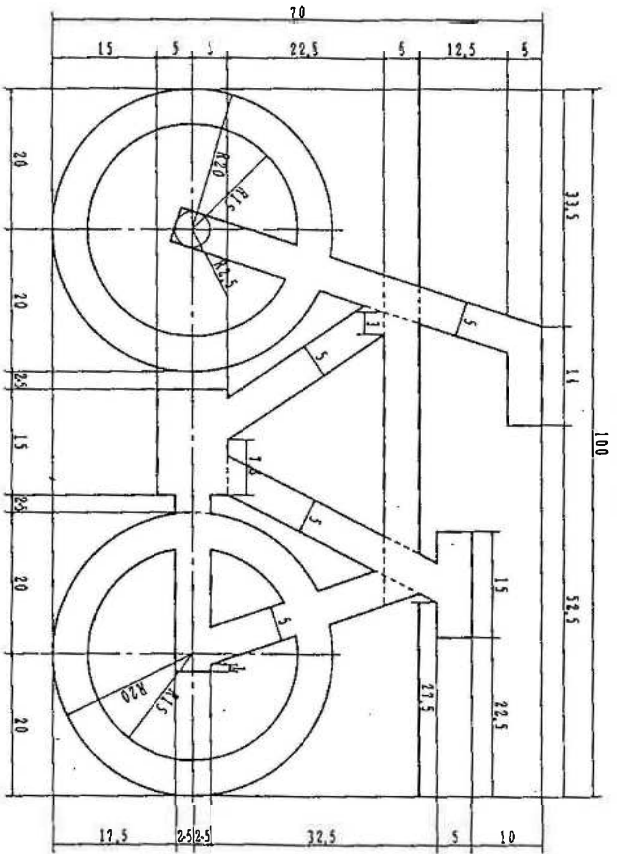
工事名			
場所			
図面名称	精進区(3)	区画番号	
幅尺	図示	表示	
94	平成25年	月	

参考図-017

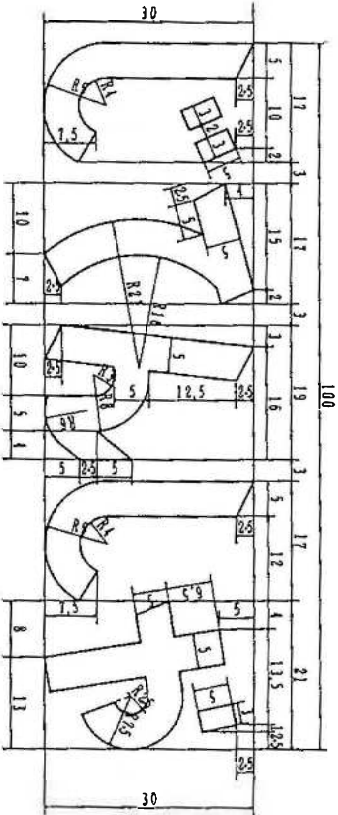
自転車図示標示と文字標示の組合せ
(東京警視庁指定)



$L_s=2, 29m$
 $L_p=2, 6m$



$L_s=1, 53m$
 $L_p=1, 8m$

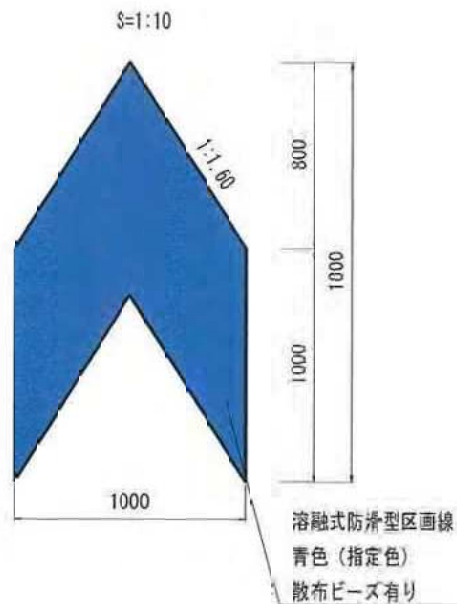


$L_s=0, 74m$
 $L_p=0, 8m$

矢羽根等寸法図

Aタイプ

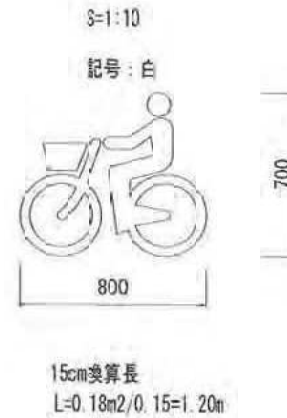
青矢羽根マーク



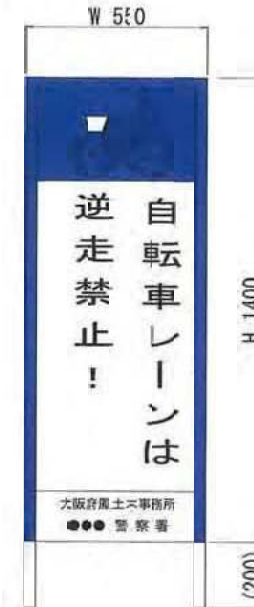
矢印



自転車マーク



逆走防止看板



備考: 矢印標、自転車マーク、句付マークは、次の資料による。

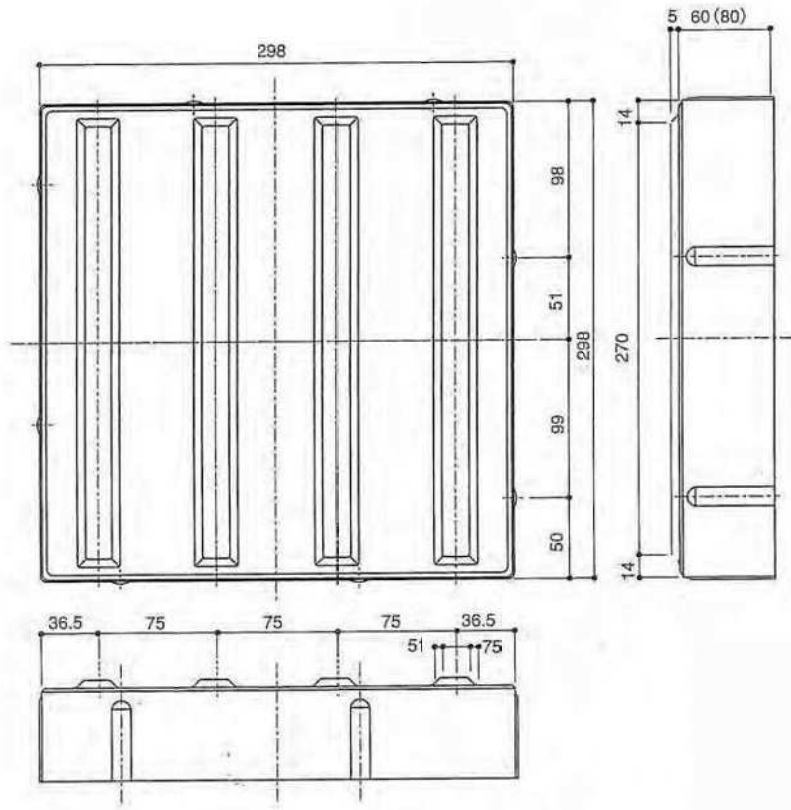
○8-10標

- ・標高図: 1:0.5縮尺 「安全・快適な自転車利用環境創造ガイドライン(注.1)」E-7
- ・交通点図: 2:0縮尺 「自転車通行許可された交差点及びその周辺」p104
- ・標高図: 府内各地に配布

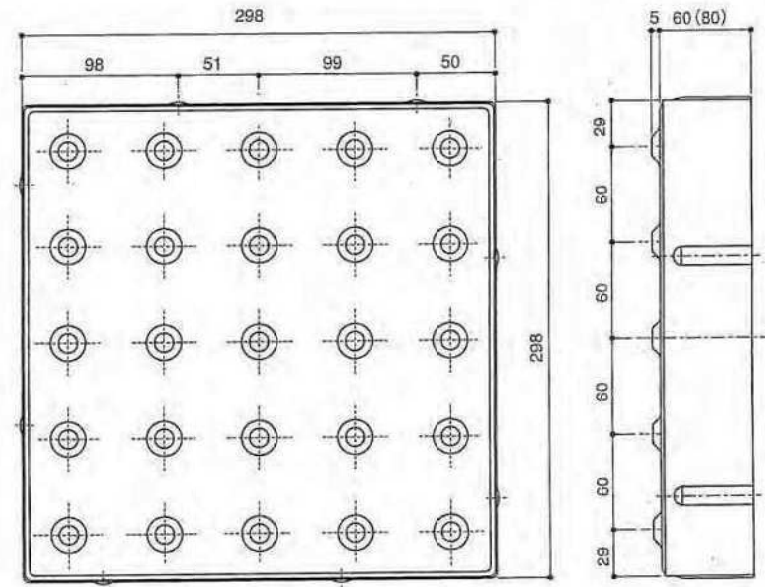
○8-11標

- ・標高図: 2:0縮尺 「安全・快適な自転車利用環境創造ガイドライン(注.1)」E-8
- ・交通点図: 2:0縮尺 「安全・快適な自転車利用環境創造ガイドライン(注.1)」E-9
- ・標高図: 府内各地に配布

年度	平成29年度	計画番号	23-23
工事名	自転車通行許可環境整備工事		
施工場所	大阪府内各地(府内・外)		
図面名	自転車標等寸法図		
編 号	11290	作成年月日	平成29年7月
大阪府 国土事務所			



誘導表示平板 NO. 03-1 (乾式成型不透水タイプ)
NO. 04-1 (乾式成型透水タイプ)



位置表示平板 NO. 03-2 (乾式成型不透水タイプ)
NO. 04-2 (乾式成型透水タイプ)

5-17



警告

施工の際は部材の固定を確実に行ってください。
固定が十分でないと、倒壊、欠落等の危険があります。

*JIS T9251:2001 による

File name	Date
Scale=1/5	視覚障害者用誘導ブロック (乾式成型透水・不透水タイプ)

耐久性にすぐれた点字シートの貼付施工タイプ

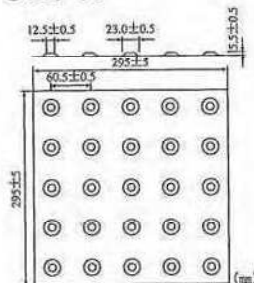
ステップガイド点字シート

下地塗料（アクリライトVH-Y）を塗布したあと、点字シートを設置する貼付タイプで、きれいに仕上がり、耐久性・強度ともにすぐれています。

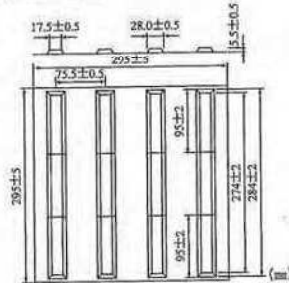
- 点状** ● 輪荷重による変形がなく、路面の凹凸にも追随し、美しく仕上げることができます。
- 線状** ● 輪荷重による変形がなく、狭い現場にも対応でき、しかもガス・水道工事などの道路復旧も容易に行えます。

形状・寸法及びその配列 ※製品寸法

●TJタイプ



●SJタイプ



設置方法

下地施工

マスキング後、下地塗料をコテ等で塗布します。



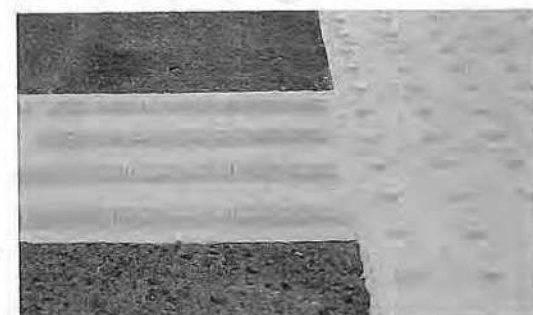
点字シート貼付

点字シートを貼付した後、刷毛等でなじませます。



完成

すみやかにテープを除去し、下地塗料の硬化を確認し、トップコートを上塗りして完成です。



製品規格

●点字シート

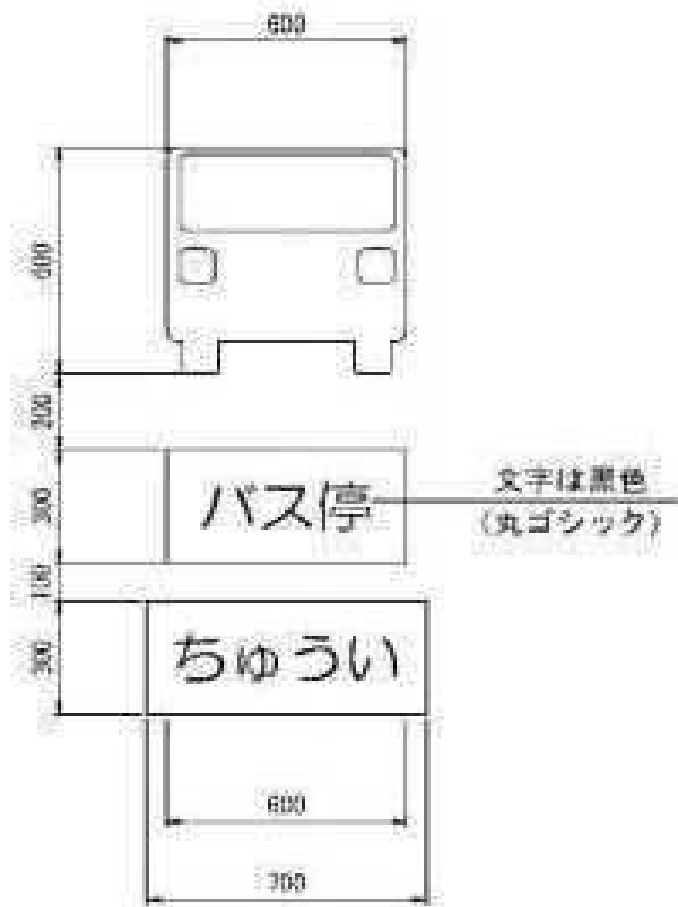
項目	品質規格
密度 (23℃)	1.7 ±0.2 g/cm ³
圧縮強さ (23℃)	0.802kN/cm ² 以上
曲げ強度 (23℃)	4.903MPa 以上
引張強度 (23℃)	2.942MPa 以上
耐摩耗性	200mg 以下
すべり抵抗値	50 (BPN) 以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相 (色差)	標準黄色見本との色差 (ΔE) 3.0 以内

●アクリライトVH-Y

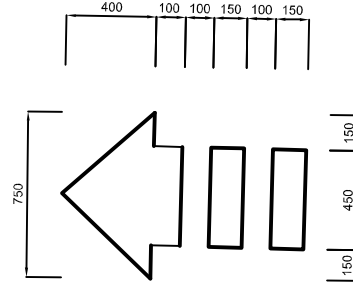
項目	品質規格
密度 (23℃)	1.7 ±0.2 g/cm ³
可使時間 (23℃)	5~15分
硬化時間 (23℃)	45分以内
圧縮強さ (23℃)	0.802kN/cm ² 以上
粘度 (23℃)	3,000~7,000Pa·s
引張接着強さ	0.049kN/cm ² 以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相 (色差)	標準黄色見本との色差 (ΔE) 3.0 以内

●色 黄色を標準色とする。

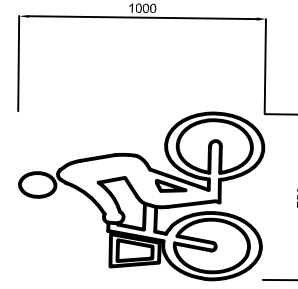
[日塗工No.22-80V (No.308) マンセル値 (参考) 2.5Y8/12]



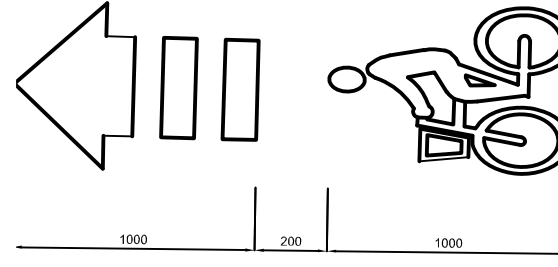
矢印



ピクト

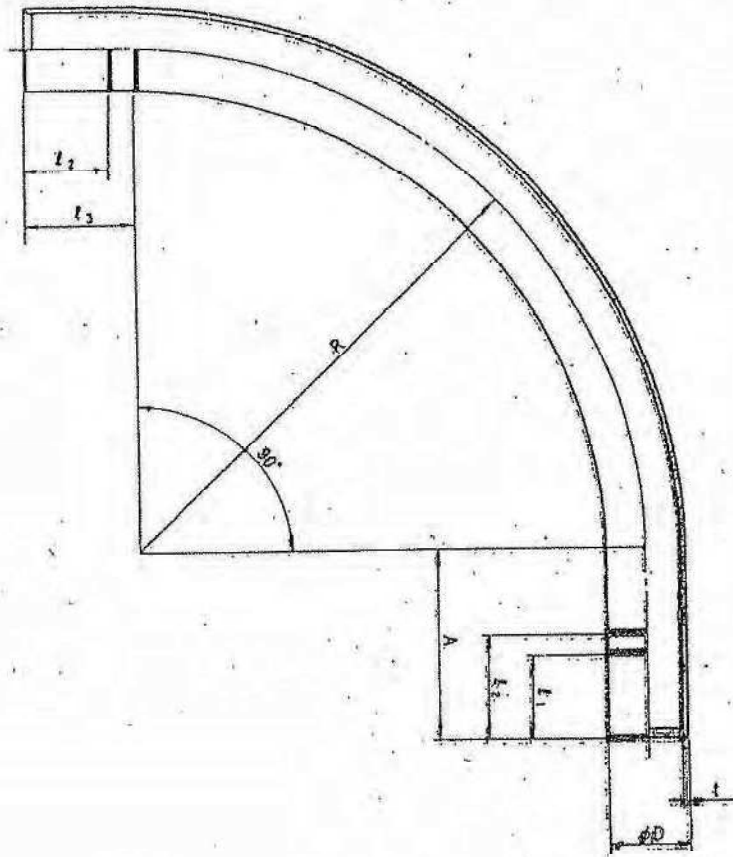


15cm換算延長
 $L=0.33/0.15 \times 1.2$
 $=2.64\text{m/箇所}$



自転車マーク (矢印およびピクト)
(大阪府自転車通行空間法定外表示実施要領 (改定版) H29.3版)

電共 PV管



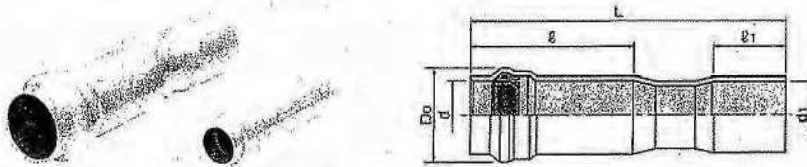
単位：mm

対象品	呼び径	D	t	A	l ₁	l ₂	l ₃	R
	25	34.0±0.3	3.0±0.30	400	65	85	115	500
	50	60.0±0.5	4.5±0.40	400	100	120	150	500
	75	95.0±0.6	6.5±0.55	400	130	150	190	1000

備考：クボク規制品。

Vカンツギテ (ビニル管差込み継手)

品番8082



単位:mm

呼び径	ゴム輪受口部			接着受口部		全長 L (参考)
	Do (参考)	d (基本寸法)	ℓ (標準)	d1 (基本寸法)	ℓ1 (標準)	
25	50	34.6	115	34.55	40	163
	84	61.0	144	60.8	63	277
	129	97.3	175	96.8	75	257

No. 13

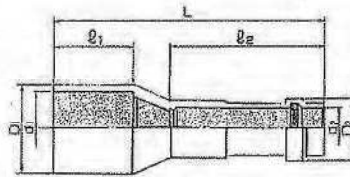
No. 12

備考: 1. 呼び径75は、日本通信電材(株)製で、上図と形状が異なります。
2. 呼び径25は、上図と形状が異なります。

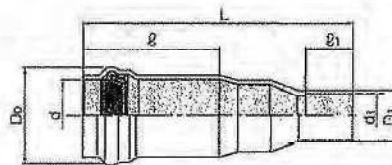
異径管差込み継手

品番8711

(25mm-50mm)



(75mm-50mm)



(25mm-50mm)

単位:mm

(75mm-50mm)

単位:mm

接着受口部			ゴム輪受口部			全長 L (参考)
D1 (参考)	d1 (基本寸法)	ℓ1 (標準)	Do (参考)	d (基本寸法)	ℓ (標準)	
70	60.8	63	50	34.6	122.5	214.5

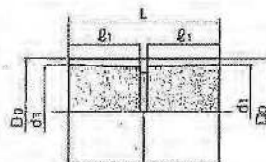
ゴム輪受口部			接着受口部			全長 L (参考)
Do (参考)	d (基本寸法)	ℓ (標準)	D1 (参考)	d1 (基本寸法)	ℓ1 (標準)	
129	97.3	182	70	60.8	63	360

備考: ゴム輪は75mm差込み継手硬質塩化ビニル管 (P-Vカン) のゴム輪と同じです。

75mmビニル管ソケット

品番8080

日本通信電材(株)製



単位:mm

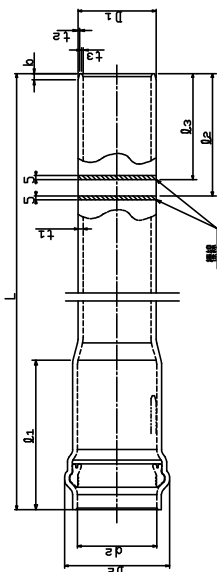
呼び径	Do (参考)	d1 (基本寸法)	ℓ1 (標準)	全長 L (参考)
75	110	96.8	75	157

※管枕などの関連部材はP.33以降に掲載しています。

管路材構造図(3)

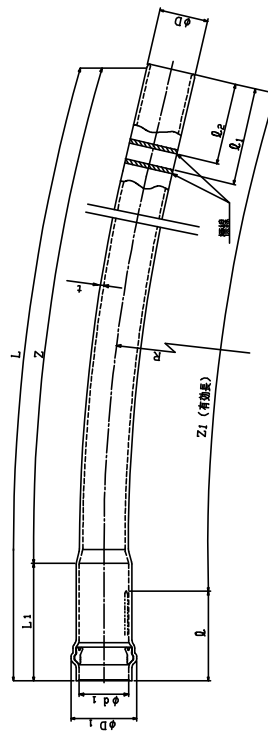
(通信、道路用PV管)

直管



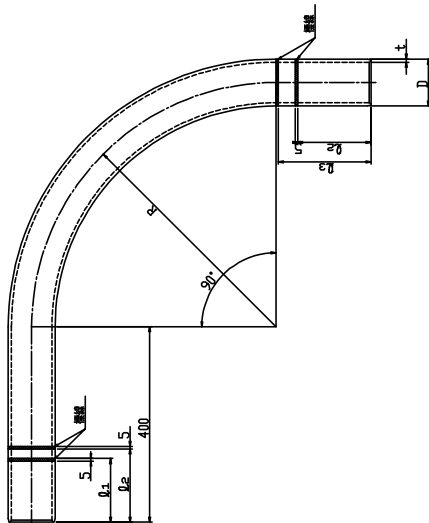
呼び径	単位:mm										
	管体部			変口部			変口部			巻掛質量	
L	D1	t1	D2	d	t2	t3	b	c	t	kg/本	
25	4075	34	3.0	34.6	115	6	85	65	1.5	1.0	1.8
50	4110	60	4.5	84	61.0	144	6	120	100	1.5	4.7
75	5690	96	6.5	129	97.3	182	8	150	130	2.0	15.0

曲管



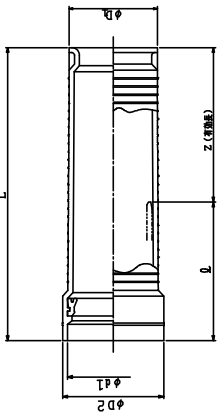
呼び径	単位:mm									
	D	D1	d1	t	D2	d2	t2	t3	d	R
50	60	84	61.0	4.5	110	120	100	100	1.5	5000
75	96	129	97.3	6.5	140	150	130	130	2.0	10000

90P-V曲管



呼び径	単位:mm					
	D	t	D1	D2	D3	R
25	34	3.0	65	85	115	500
50	60	4.5	100	120	150	500
75	96	6.5	130	150	190	1000

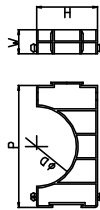
ダクトスリーブ



呼び径	単位:mm				
	φD1	φD2	φd1	L	Z
25	28	36.5	37.0	258	140
50	78	83	65.3	325	160
75	110	124	112.0	360	190

管枕

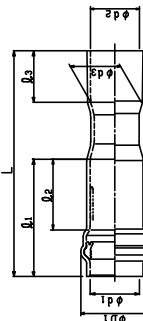
P-V管φ75用



呼び径	単位:mm			
	D	P	V	H
75X130P	97	130	30	65
50X95P	61	95	30	47.5

※ 管枕の設置間隔は、管枕1本当たり2ヶ所設置を標準とする。

V管P継手



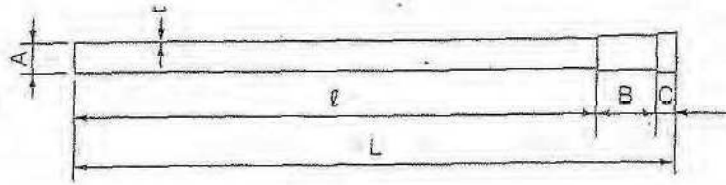
呼び径	単位:mm						
	L	D1	d1	d2	d3	d1	d2
50	277	84	61.0	60.3	59.2	144	63
75	257	129	97.3	96.8	94.9	175	75

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年度	平成	年度	番号	32/53
路線名	朝市町道路 牧方大和東線 外			
工事名	牧方市 新子作線 外			
図面番号	管枕材構造図(3)			
縮尺	1:20	作成	平成18年3月	
大阪府牧方土木事務所				

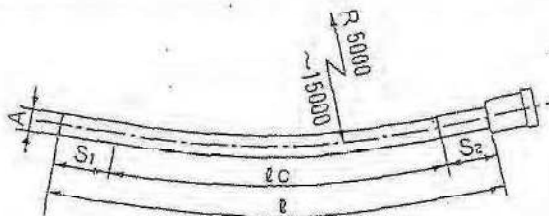
1 軽量ケーブル保護鋼管 (KGP) 直管

寸法単位: mm



寸法 管の 呼び径	管の外径	管の肉厚	接 合 部		有効長	全 長	重 量 kg/本
	A	t	B	C	ℓ	L	
80	89.1	3.0	150	75	3,500	3,725	25.3
100	114.3	3.0	150	75	3,500	3,700	32.3
125	139.8	3.0	175	75	3,500	3,750	40.5
150	165.2	3.3	250	60	3,500	3,810	53.0

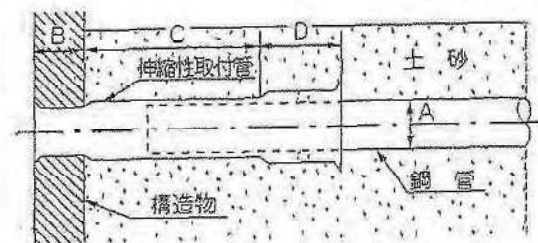
2 軽量ケーブル保護鋼管 (KGP) 曲管



寸法 管の 呼び径	管の外径	直 線 部		曲線部	有効長
	A	S ₁	S ₂	ℓ _c	ℓ
80	89.1	325	175	1,000	1,500
100	114.3	325	175	1,000	1,500
125	139.8	325	175	1,000	1,500
150	165.2	600	600	600	2,000

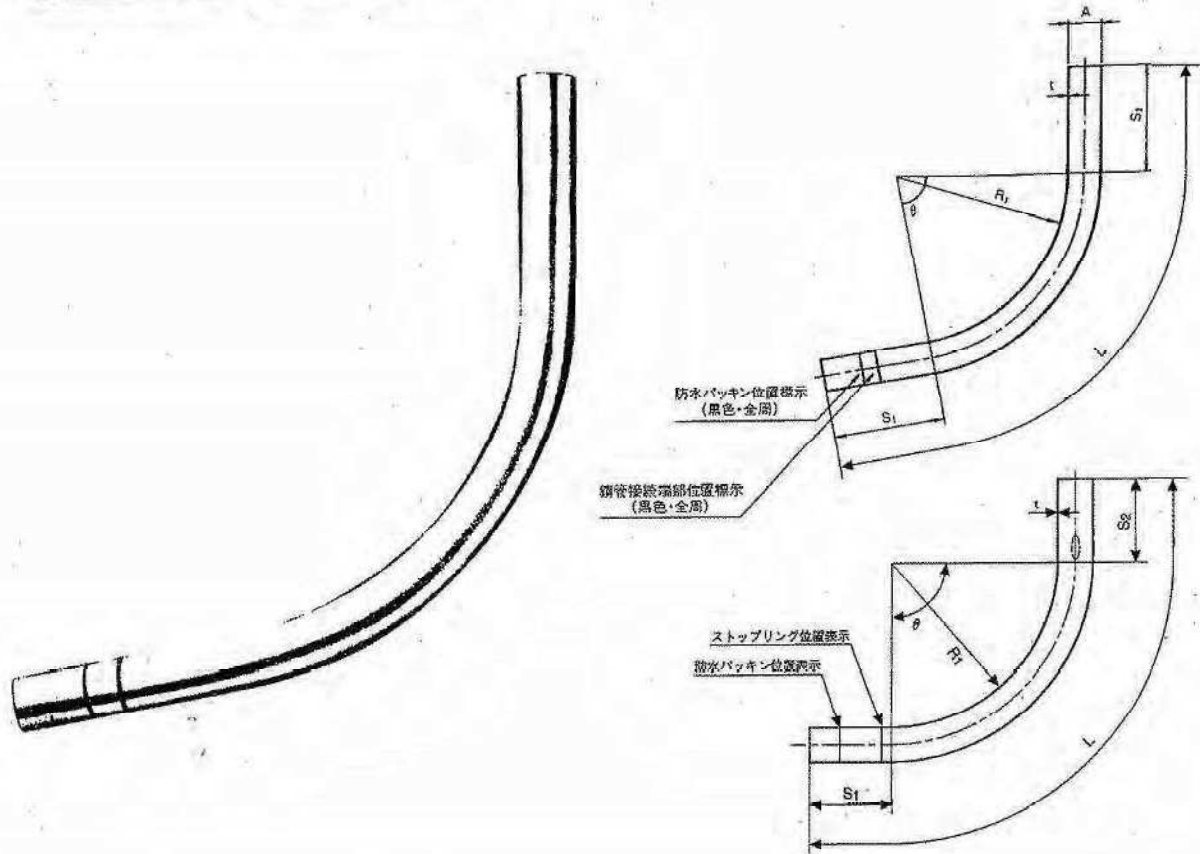
ケーブル保護伸縮性取付管 (GPD)

単位mm



管の 呼び径	接続鋼管 の外径	構造物 取付部	伸縮部	防水パッキン 移動部
	A	B	C	D
80	89.1	140	450	225
100	114.3	140	450	225
125	139.8	140	475	225

ケーブル保護ベント管



寸法表

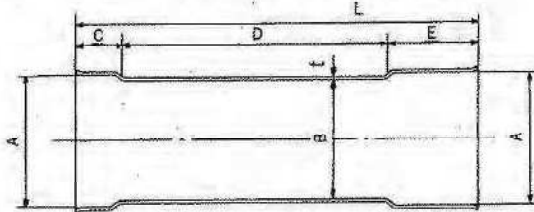
単位: mm

商品コード	寸法 管の呼び径	管の外径		直線部		曲げ半径	曲げ角度	管の厚さ	有効長	メッキ付管重 g/m ²	概算重量 (メッキ含み) kg/m	規格仕様 関係電力
		A	S ₁	S ₂	R ₁	θ°	t	L				
No.7 50730 50737	80	89.1	300	300	600	90	2.3	1,612	600	5.2	関西 CCBOX	
			550									
No.6 50630 50637 53380	100	114.3	300	300	600	90	2.6	1,632	600	7.5	関西 CCBOX	
			300	300	600	90	3.3	2,346	600			8.6
			500	500	800	90	3.0	2,215	600	10.8	関西 CCBOX	
			500	500	800	80	3.0	1,695	600			2,754
50066	530	230	1,200	90	3.2	2,130	600	10.7	中部			
56050	125	131.4	500	300	800	88	3.2	2,130	600	10.7	中部	
特注	80	89.1	300	300				2,642		7.4	中国	
53490	100	114.3	500	500	1,300	90	3.3	3,042	600	9.5	受注生産扱い	
53690	150	165.2	800	800				3,642		13.9		
55030	100	114.3	250	250	1,200	90	3.3	1,385	600	7.4	四国 受注生産扱い	
55040					1,300			2,542				
55050					1,500			2,856				
55080					1,200			2,505				
55090	150	165.2	310	310	1,300	90	3.3	2,662	600	13.9	四国 受注生産扱い	
55100					1,500			2,976				
53570	80	89.1								7.4	北陸 受注生産扱い	
53560	100	114.3	500	500	1,200	90	3	2,885	550	8.6		
53550	125	139.8								10.8		

(注) ベント部については、ご要望に応じた半径(500R以上)、角度(θ)に加工いたします。

鋼管用継手

ケーブル保護鋼管用継手A



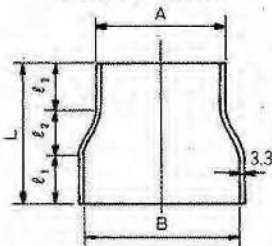
寸法表

単位: mm

商品コード	寸法 管の呼び径	A	B	C	D	E	t	L	規格仕様 関係電力
No. 9 50740	130	96.0	91.2	40	200	80	2.3	320	関西 CCBOX
No. 8 50640	100	123.4	116.4	50	250	100	2.6	400	関西 CCBOX
50082	125	152.0	142.0	50	300	100	3.3	450	関西 CCBOX

(注) 継手には、各サイズに応じた防水パッキン、ストップリングが2組宛付属しています。(P30・31)
配管用炭素鋼管 (SGP) とケーブル保護鋼管 (KGP) の外径が同じですのでSGPとの接続も可能です。

ケーブル保護鋼管用継手B (立上り管用)



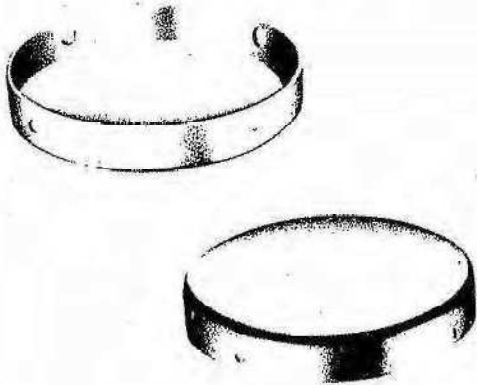
寸法表

単位: mm

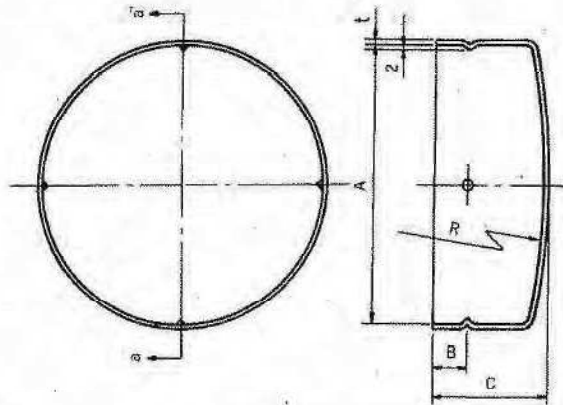
商品コード	寸法 管の呼び径	A	B	φ ₁	φ ₂	φ ₃	L	規格仕様 関係電力
50090	125-100	114.3	142	40	40	40	120	関西

鋼管用キャップ

鉄製キャップ



a-a' 断面



寸法表

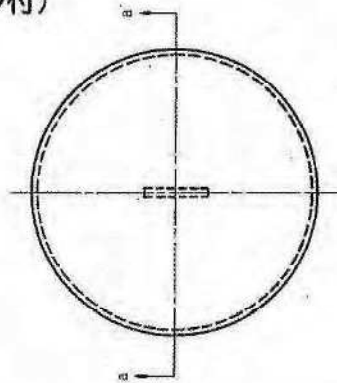
単位: mm

No. 15

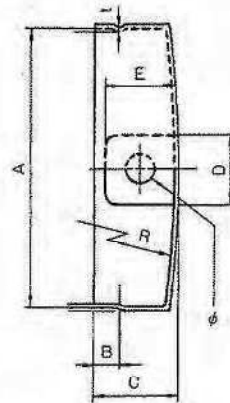
No. 14

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	t	R	規格仕様 関係電力
56500	80		92	10	30	1.6	300	関西
56520	100		118	15	50	1.6	300	
50120	125		142	10	30	1.6	300	関西
53330	150		168	15	50	1.6	600	

鉄製キャップ(フック付)
(ケーブル引込用呼び線引留フック付)



a-a' 断面



寸法表

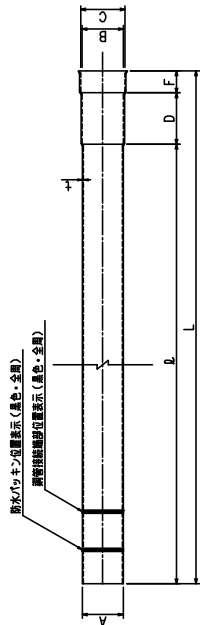
単位: mm

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	D	E	t	R	φ
56501	80		92	10	30	40	40	1.6	300	18
56521	100		118	15	50	40	40	1.6	500	18
56510	125		142	10	30	40	40	1.6	300	18
53331	150		168	15	50	40	40	1.6	600	18

管路材構造図(1)

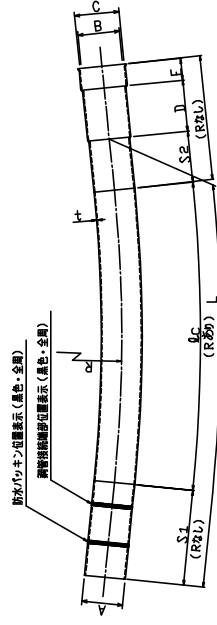
(電力用亜鉛メッキ鋼管)

直管



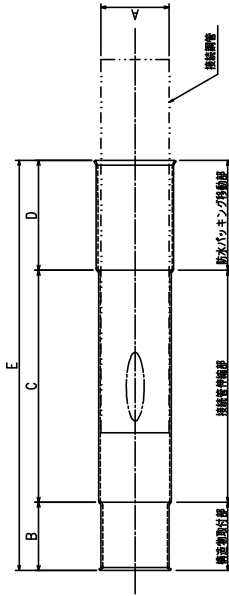
寸法 呼び径	規格					管の長さ 有 効 長	管の厚さ t	管の長さ 全 長			めっき材料質量 g/m ²
	A	B	C	D	E			L	L	L	
80	89.1	91.2	96.0	150	75	3500	3.0	3725	3700	600	600
100	114.3	116.4	123.4	150	75	3750		3700	550	550	600
125	139.8	142.0	152.0	175	75	3750		3750	600	600	600

曲管

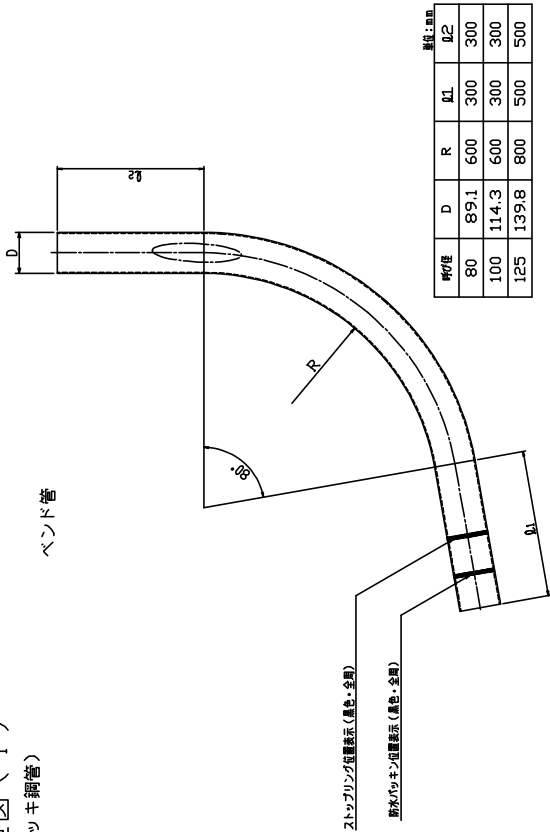


寸法 呼び径	規格					管の長さ 有 効 長	管の厚さ t	管の長さ 全 長			めっき材料質量 g/m ²
	A	B	C	D	E			L	L	L	
80	89.1	91.2	96.0	150	75	3500	3.0	3725	3700	600	600
100	114.3	116.4	123.4	150	75	3750		3700	550	550	600
125	139.8	142.0	152.0	175	75	3750		3750	600	600	600

伸縮性取付管(ダクトスリーブ)

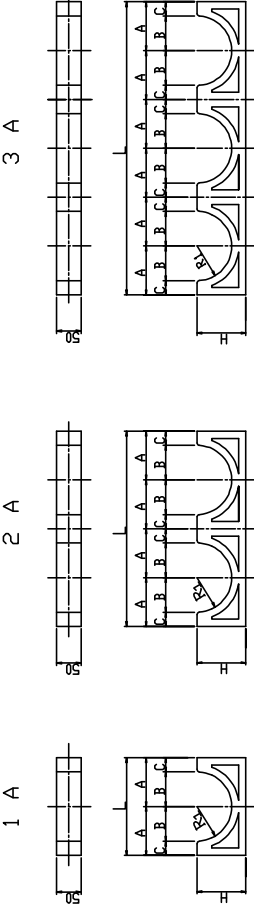


バンド管



呼び径	D	R	R1	t
80	89.1	600	300	300
100	114.3	600	300	300
125	139.8	800	500	500

管 枕



呼び径・管径	寸法							単位:mm	
	A	B	C	H	L	R1	R	t	
125	1A	95	71	24	85	190	71	71	
	2A	95	71	24	85	380	71	71	
	3A	95	71	24	85	570	71	71	

* 管枕の設置間隔は、管径1本当り2ヶ所設置を標準とする。

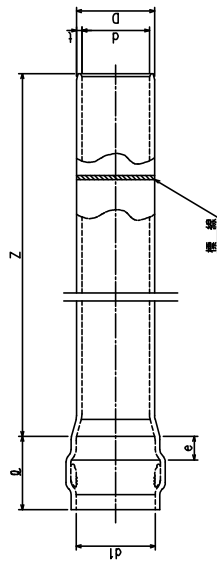
寸法 呼び径	規格					管の長さ 有 効 長	管の厚さ t	管の長さ 全 長			めっき材料質量 g/m ²
	A	B	C	D	E			L	L	L	
80	89.1	140	140	450	225	815	3.0	3725	3700	600	600
100	114.3	140	140	450	225	815		3700	550	550	600
125	139.8	140	140	475	225	840		3750	600	600	600

* 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年 度	平成 27 年	番 号	30/53
図 名	新市川道路 北方大和東田線 水		
工 事 名	北方市 新子作線 水		
所 属 地 名	管枕付鋼管(1)		
図 面 番 号	種 別	尺 寸	1:20
	製 図 者	製 図 日	平成18年3月
	大阪府北方土木事務所		

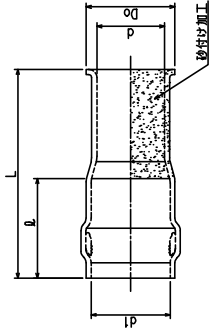
管路材構造図(2) (電力用合成樹脂管)

直管



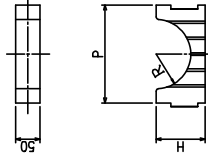
規格	D	d	dl	t	e	L	P	Z
75	89.0	77	90.2	59	125	61		
100	114.0	100	115.5	71	135	64		5000
125	142.5	125	144.2	85	140	67		

ダクトスリーブ



規格	dl	d	D	L	Z
75	90.2	77	100	260	
100	115.5	100	130	280	450
125	142.5	125	165	295	

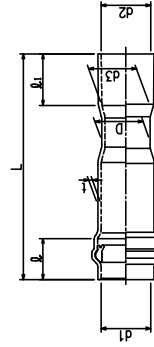
管枕



規格	形状	R	P	H
100	1A	71.5	185	92.5
125	1A	71.5	185	92.5

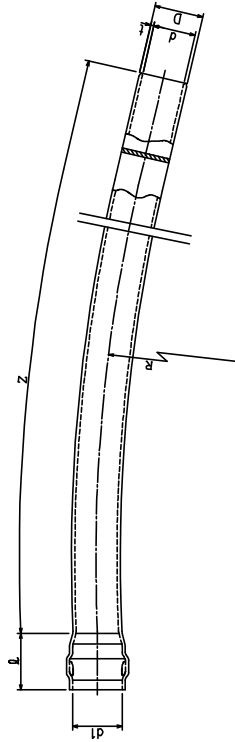
※ 管枕の設置間隔は、管径1本当り2ヶ所設置を標準とする。

異種管継手



規格	L	dl	D	dl	d2	d3	t
75	400	120	150	89.0	91.3	89.3	5.9
100	655	130	210	114.0	117.7	113.5	7.1
125	655	135	210	142.5	144.2	136.2	8.5

曲管

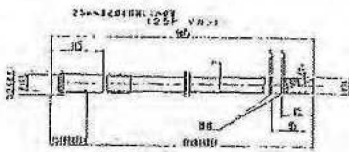
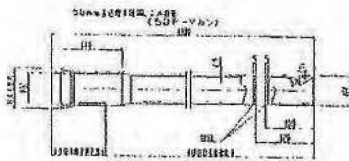
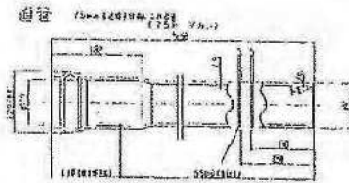


規格	D	d	dl	t	e	Z	R
75	89.0	77	90.2	59	125	61	5000
100	114.0	100	115.5	71	135	64	1000
125	142.5	125	144.2	85	140	67	

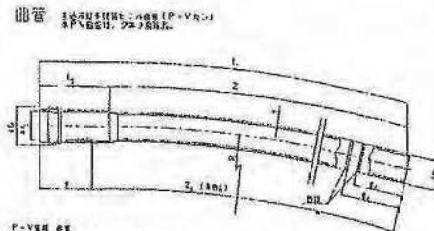
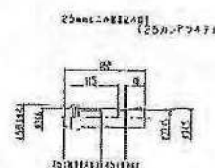
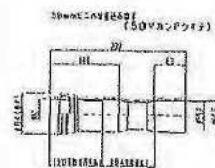
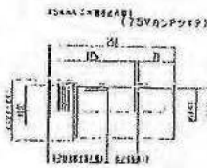
※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年度	平成	年度	番号	31/53
路線名	朝市普通道路 牧方大和東田線 外			
工事名	牧方市 獅子作線町 外			
設置場所	管路材製造所(2)			
図面番号	120	頁	1	平成18年3月
大阪府牧方土木事務所				

PV管 構造図-2



V管P継手



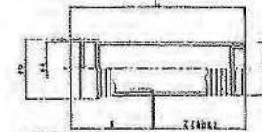
P-V管 寸法

径種	φ	G	φ	L	L1	L2	L	R	φ	φ	φ	φ
50	50.0	8.4	9.1	110	14	90	45	110	120	100	50.0	50.0
25	25.0	9.7	11.4	182	10	95	9.5	140	150	130	25.0	25.0

寸法は標準寸法に準じて記載した。単位はmm。

チクトスリフ

50mm径用 (25mm径)



P-V管用 チクトスリフ

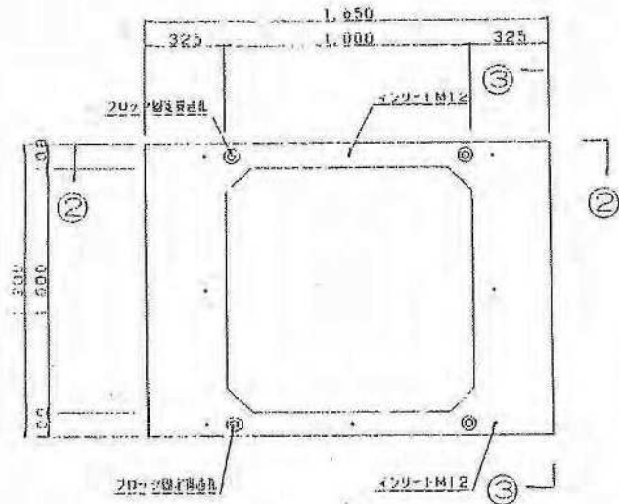
径種	φ	φ	φ	L	Z	φ
50	48	52	40.0	250	110	113
25	76	80	60.0	325	100	100
7.5	110	124	112.0	350	100	110

図名	図番	図号	16/24
図名	10	図番	16/24
図名	10	図番	16/24
図名	10	図番	16/24
図名	10	図番	16/24

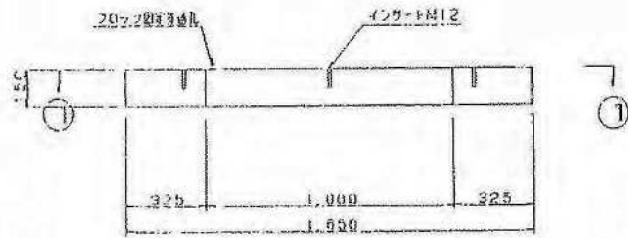
機器据付用ブロック(I-100)構造図 S=1/10

平面図

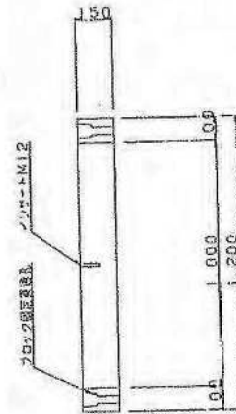
① - ①



② - ②

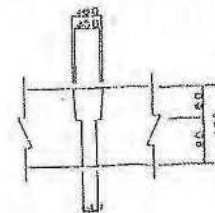


③ - ③



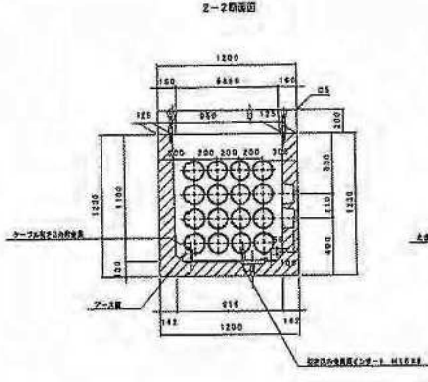
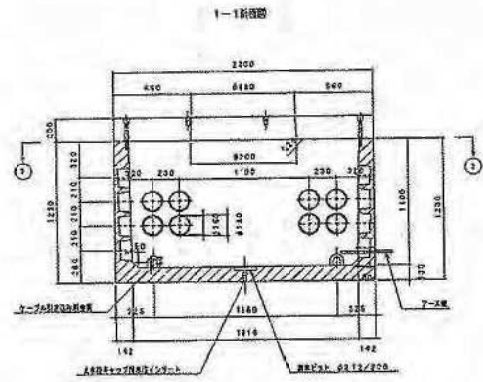
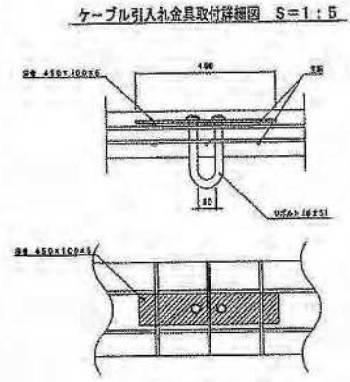
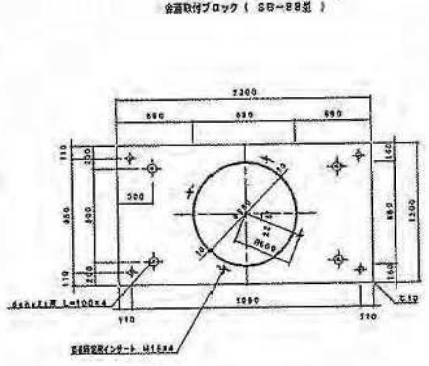
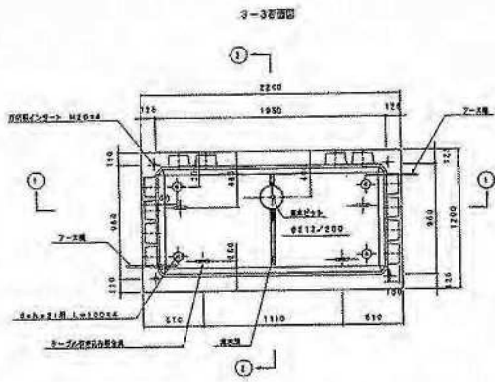
ブロック固定貫通孔詳細図

S=1/5

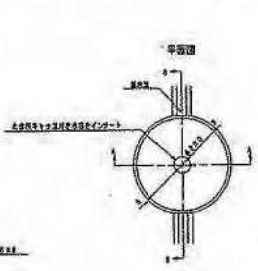


単位	数量	図面番号	10/24
部品名			
材料名	~A103 300号		
工事名	旭硝子硝子株式会社 (旭硝子)		
施工地	旭硝子硝子株式会社		
図面名	旭硝子硝子株式会社		
図面番号	旭硝子硝子株式会社	S=1/10	10/24

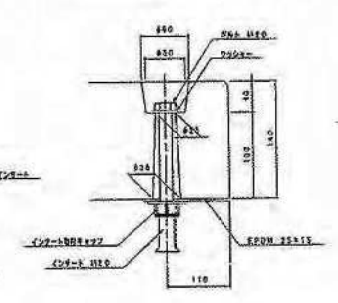
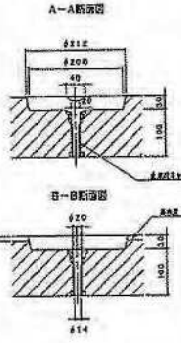
電力用樹構造図(1) S=1:20
(プレハブ基礎2型 950×1950×1100)



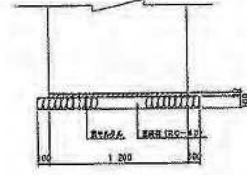
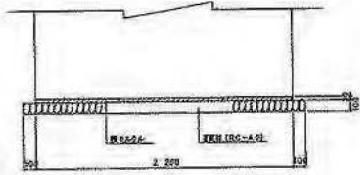
集水ビット部詳細図 S=1:5



接続部詳細図 S=1:3



基礎工



呼称	数量
電力用ブロック (S-22型)	1015
金属ブロック	3040
合計	4055

設計条件

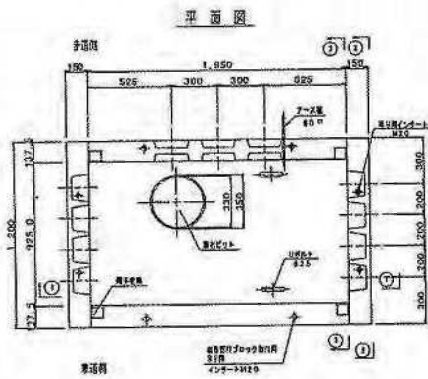
使用材料	コンクリート	強度等級: T-25 P=60kN/㎡
使用材料	鉄筋	強度等級: T-25 P=60kN/㎡
使用材料	鋼板	強度等級: S400
構造形式	鉄筋コンクリート構造	
内径寸法 (幅×高)	0.96m×1.96m×1.10m	
基礎埋設深 (基礎底面)	φ=19.8kN/㎡	
土圧係数	Ka=0.5	
コンクリート	σsk=35kN/mm²	
設計材料	鋼筋	S295A

注) 取付ブロック (鋼板) の天端の有効な圧縮力は鋼板の耐力 (R) と同等の上乗すること。

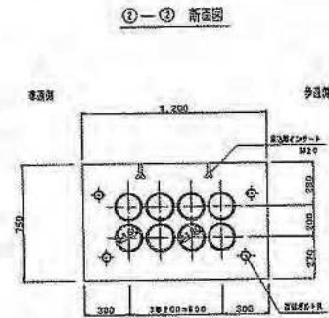
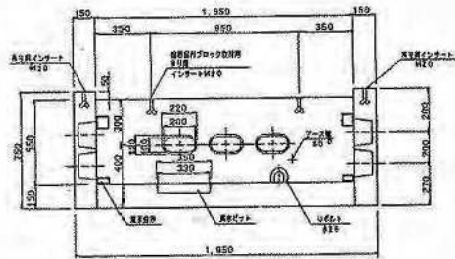
年度	冊数	11/20
年度		
冊数		
11/20		
年度		
冊数		
11/20		
年度		
冊数		
11/20		

参考文献 (2)

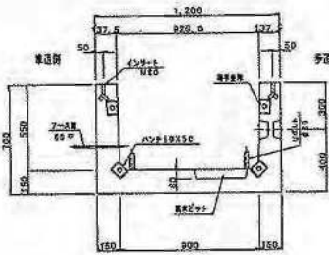
電力用機構造図(1) S=1:15
 (プレハブ基礎1型 900×1650×550)



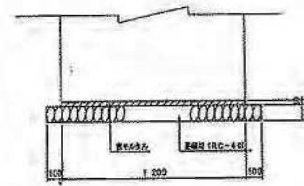
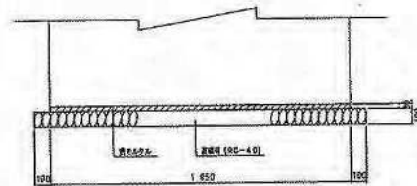
①—① 断面図



②—② 断面図



基礎工



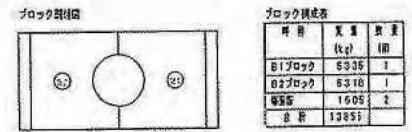
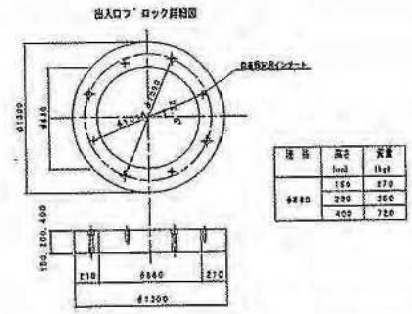
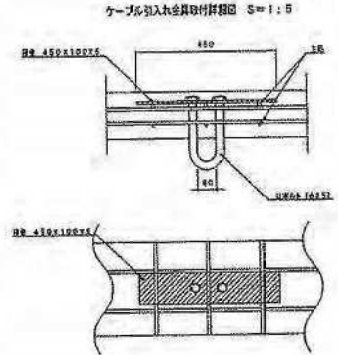
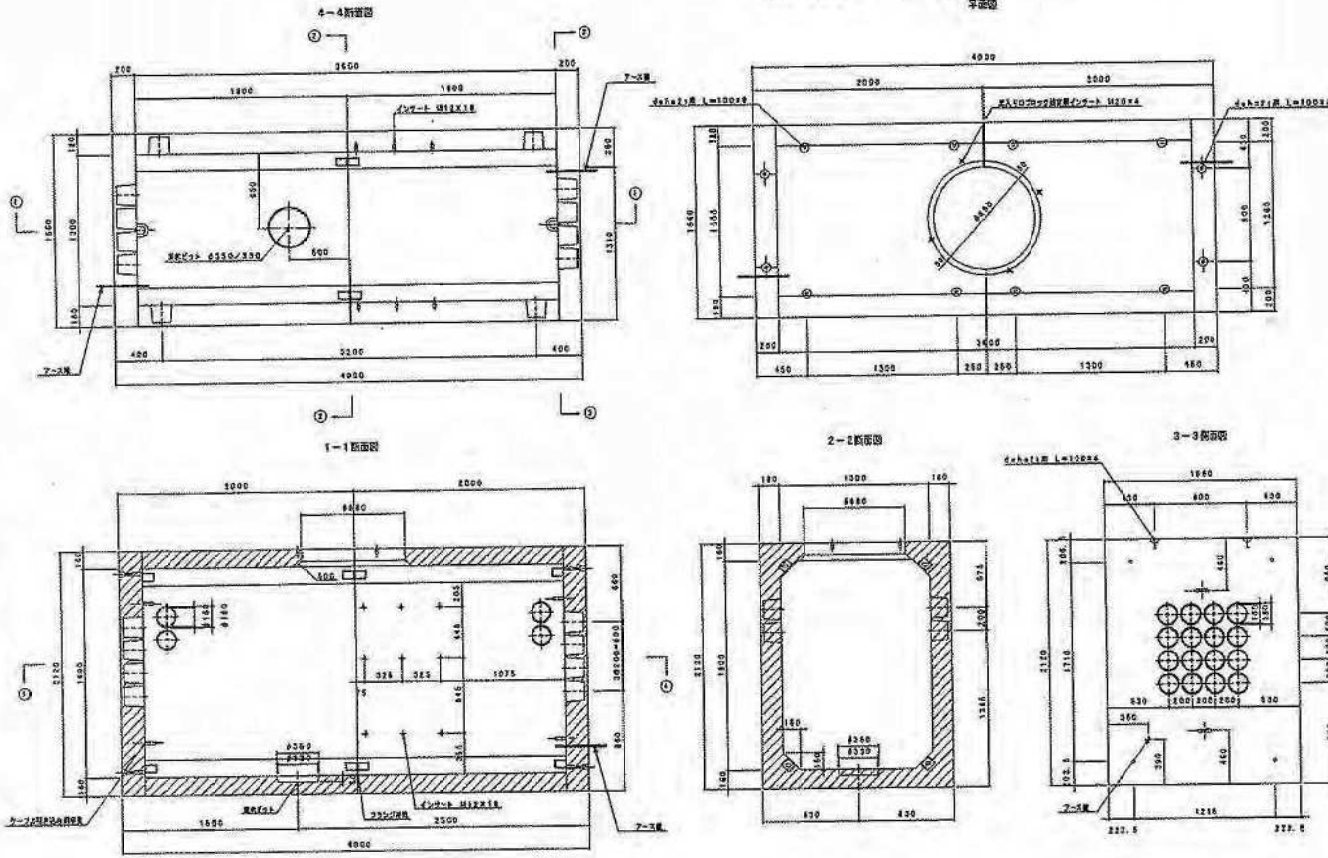
設計条件	
活荷重	245 kN (P=50MP)
衝撃係数	i=0.1
土圧係数	k=0.308
土盛り	0.25m
構造	鉄筋コンクリートU形構造
許容応力度	
設計基準強度	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
引張応力度	$\sigma_{ca} = 11 \text{ N/mm}^2$
圧縮応力度	$\sigma_{ca} = 0.5 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{sa} = 150 \text{ N/mm}^2$

注) 設計はブロック(単位)の規格と実機及び構造図表に
 照合の上、設計の上で行うこと。

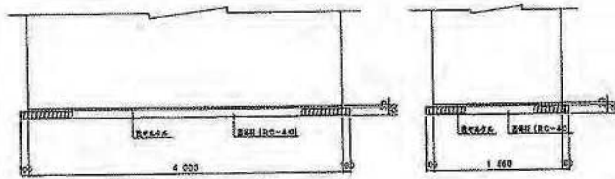
項目	番号	14/01
設計者		
監理者		
工事名		
所属会社		
図面名	電力用機構造図(1)	
縮尺	図示	単位

3

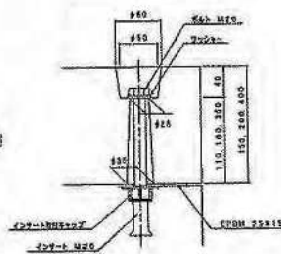
電力用機構造図(3) S=1:20
(プレハブ人孔 1300×3600×1800)
平面図



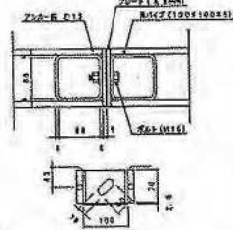
基礎工 S=1:30



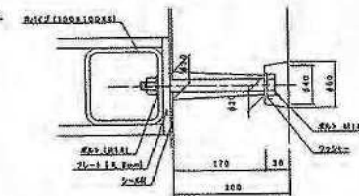
出入口ブロック取付詳細図 S=1:5



フランジ取付詳細図 S=1:5



地盤面取付詳細図 S=1:3



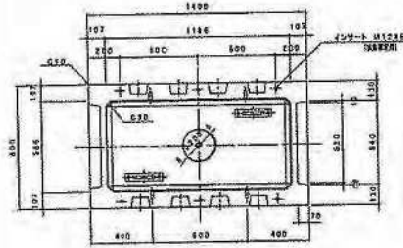
材料表

材料名	規格	質量 (kg)	個数
コンクリート	上層部: T-25 P=100N/㎡ 下層部: T-25 P=60N/㎡		
鉄筋	上層部: φ10 下層部: φ10		
鋼板	φ10		
埋立土	φ10		
特殊形式	鉄筋コンクリート構造体		
内容積 (個×重)	1.20m×3.60m×1.80m		
内容積 (個×重)	γ=1.5 kN/m³		
コンクリート	σck=20.0 N/mm²		
鉄筋材料	SD295A		

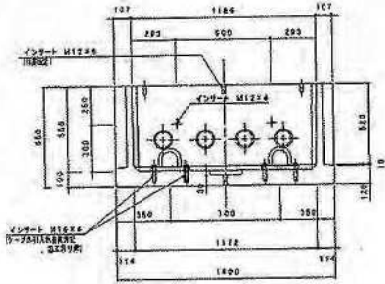
項目	内容
図名	電力用機構造図(3)
図尺	1/30
製図者	
校核者	
承認者	

電力用架構造図(2) S=1:15
(分級別 800×1200×550)

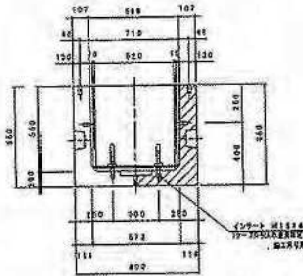
平面図



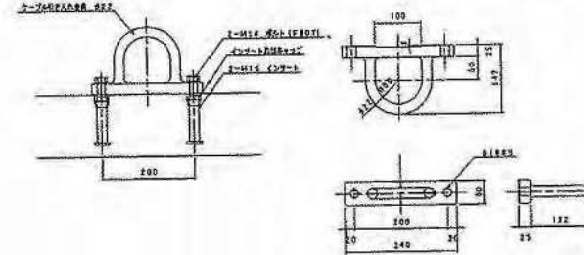
側面図



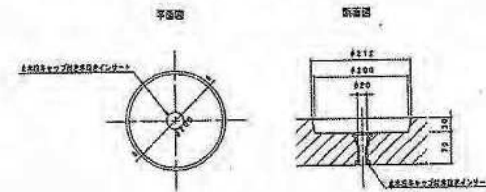
正面図



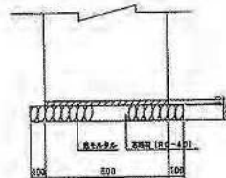
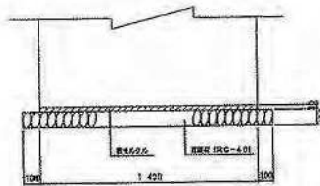
ケーブル入れ金具取付詳細図 S=1:5



集水ピット取付詳細図 S=1:5



基礎工



設計条件

設計条件	深埋基礎	上下両面: T-25 P=50kN/根
	側面	側面: T-25 P=50kN/根
	荷重	上層埋込: i=0.1
		側面埋込: i=0.0
	構造形式	鉄筋コンクリート壁構造
	内径寸法 (幅×高さ)	0.60m×1.20m×0.55m
	土圧係数 (埋込率)	$\gamma_s = 11kN/m^3$
	土圧係数	$\lambda_s = 0.300$
	コンクリート	$\sigma_{sk} = 25N/mm^2$
	鋼材	SD295A

図) 取付ボルト (規格) の位置の取付位置は図中の寸法と一致すること。

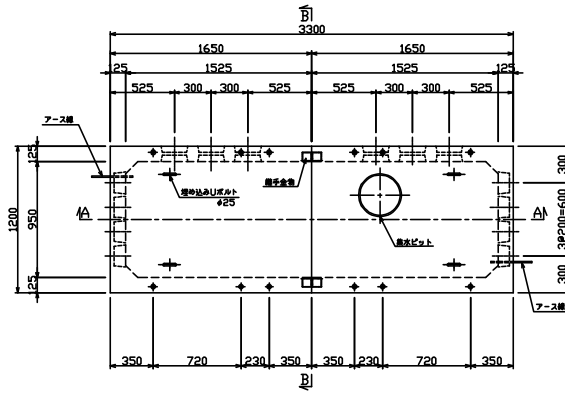
単位	多岐
単位	790

名称	番号	11/3.0
設計者		
監理者		
作成者		
図名	電力用架構造図(2)	
設計	作成	校核
大阪府営土木事務所		

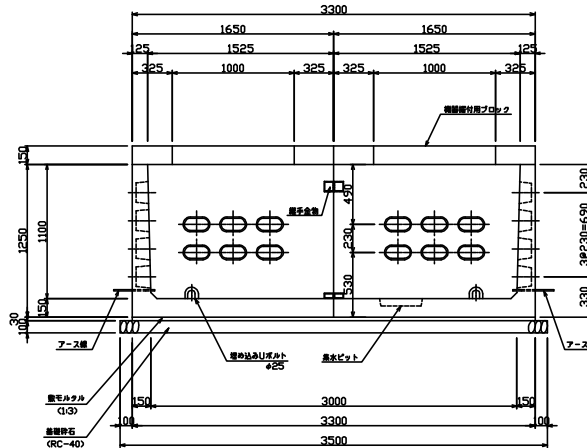
竣工
5

E 1 樹 構 造 図 S=1:20
(950×3050×1100 機器樹)

平面図



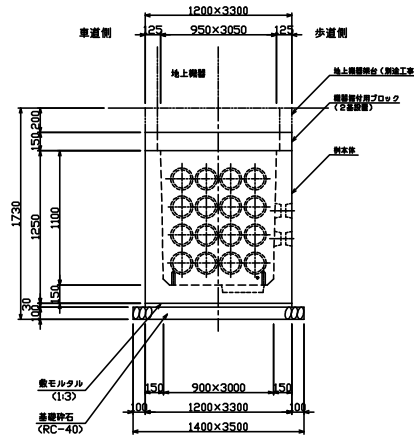
A - A 断面図



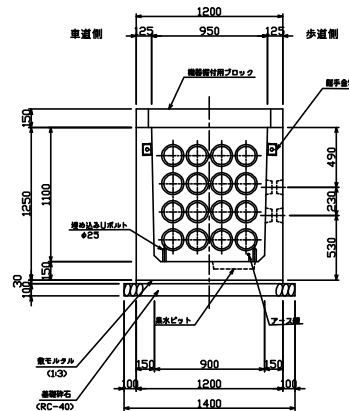
設計条件

活荷重	245kN (P=50kN)
容積率	容積率 = 0.1
構造形式	鉄筋コンクリート1形構造
内寸寸法	950 ^W × 3050 ^L × 1100 ^H
土層名	0.30m
土圧係数	k = 0.209
＜ 許容応力度 ＞	
設計軸圧縮強度	$\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$
設計引張強度	$\sigma_{ct} = 11\text{N/mm}^2$
設計せん断強度	$\tau_{cd} = 0.53\text{N/mm}^2$
設計引張強度	$\sigma_{sd} = 18\text{N/mm}^2$

設置断面図

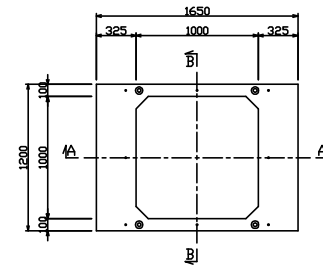


B - B 断面図

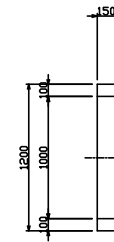


機器埋設用ブロック

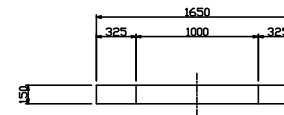
平面図



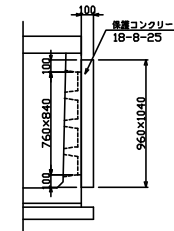
B - B 断面図



A - A 断面図



保護コンクリート

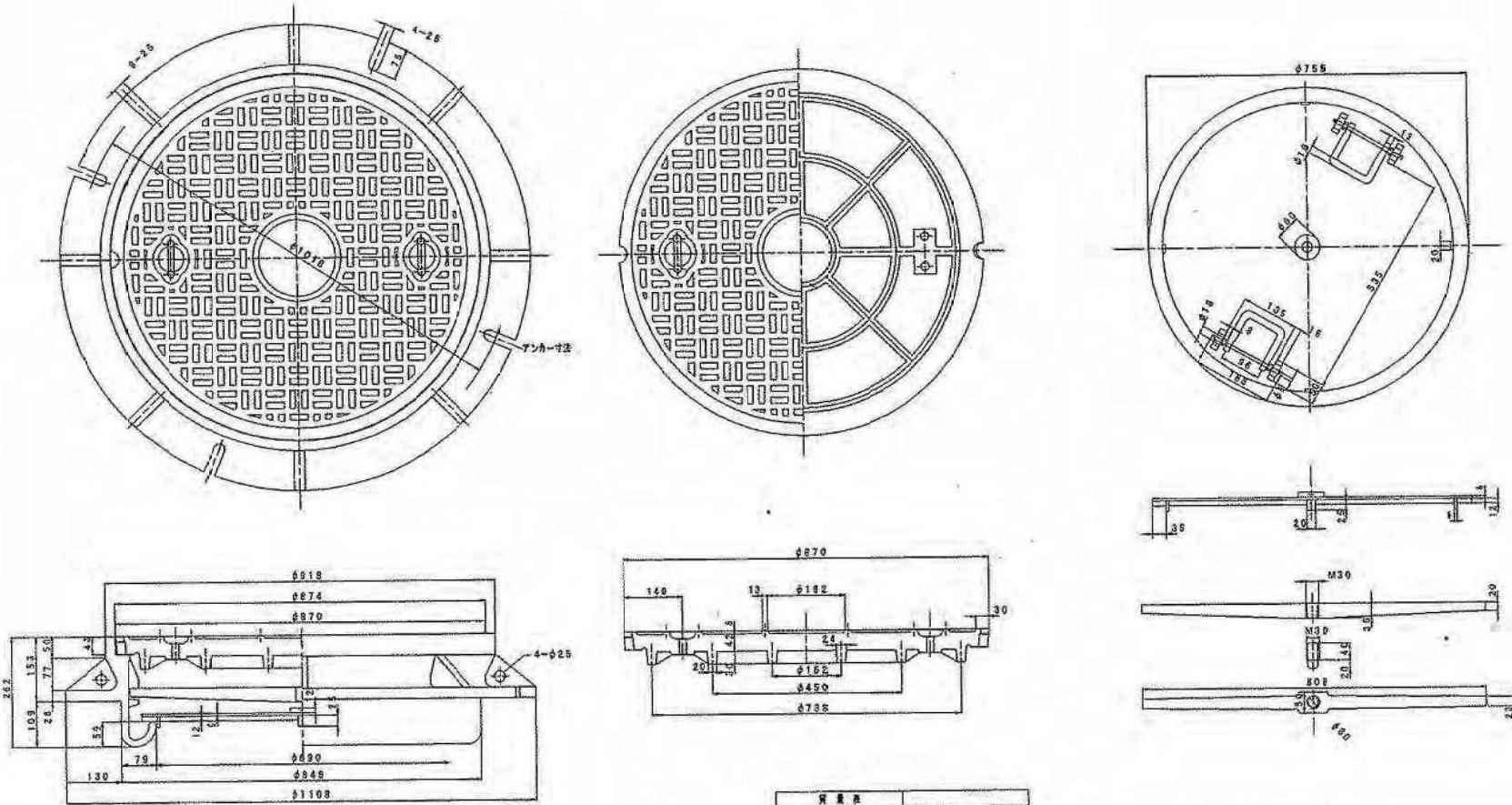


* 特記事項

1. 樹本体のアース線2ヶ所に、A種及びB種接地地に対応する接地棒をGL-75cmの深さ以上に設置すること。(10Ω以下)

年度	平成	年度	番号	34/53
路線名	都市計画道路 枚方大和高田線 外			
工事名				
所屬地名	枚方市 苅子苅町 外			
図面種別	E1樹構造図			
縮尺	1:20	作 者	平成18年3月	
大阪府枚方土木事務所				

電力用柵蓋構造図 S=1:5
(歩道・車道部兼用)



質量表	
上蓋	220kg
下枠 (付部品8枚)	200kg

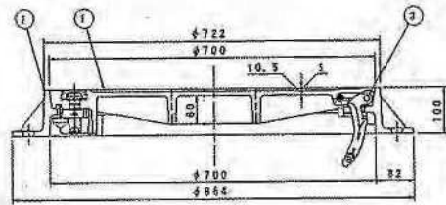
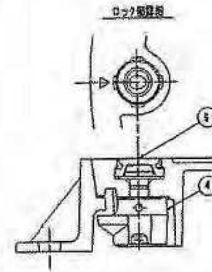
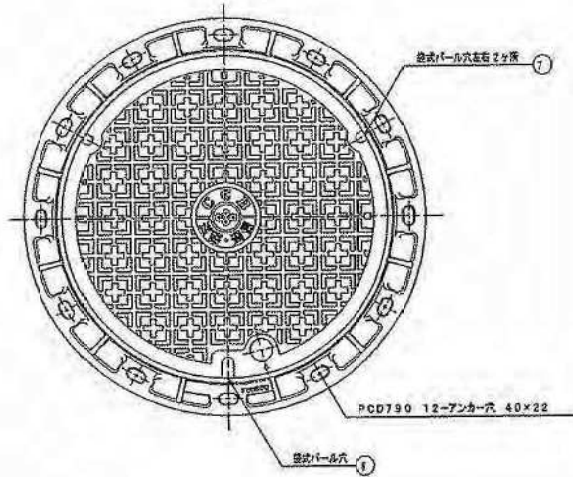
設計条件表		
設計荷重	活荷重	245hN (25tF) 積荷重98kN (10tF)
	振動	l=0.4
	支脚	L=320mm
構造形式	鉄筋鉄板反(FD)	



年度	図号	11/38
設計者		
工事名		
所在地		
項目名	電力用柵蓋構造図	
用尺	単位	年月

蒙友 7

道路及び通信用樹蓋構造図 S=1:5
(車道部)

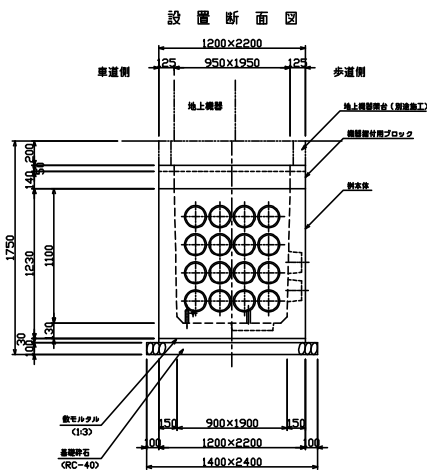
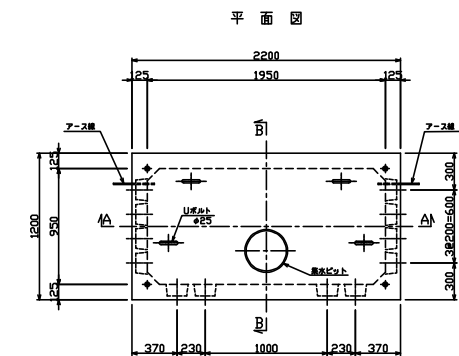


参考 用: 規格用 T-26
 積荷重: 90kN (10t)
 保荷係数: 0.4
 破断荷重: 700kN以上

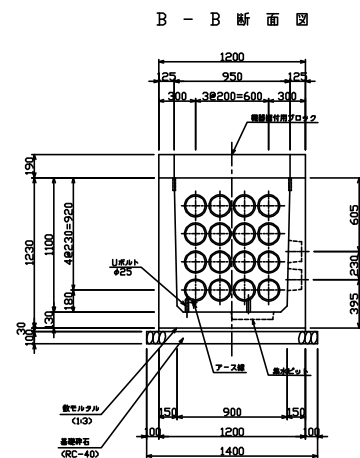
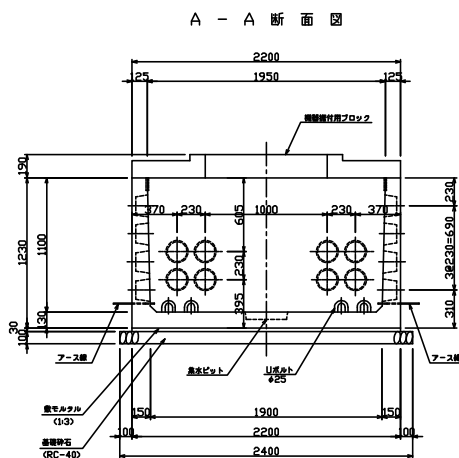
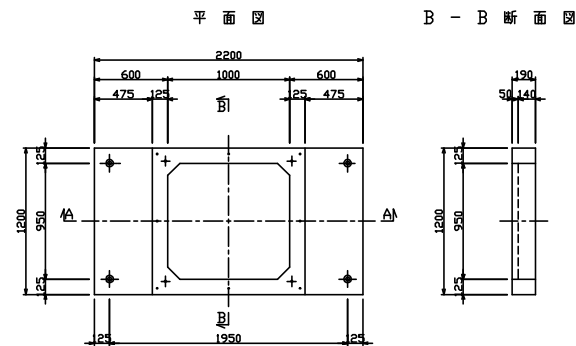
7	ゴムキャップ	C R	2	CP2
6	ゴムキャップ	C R	1	CP1
5	ゴムキャップ	C R	1	R-1
4	ロック錠	FC0600	1	D-86
3	錠付金物	FC0600	1	D7
2	錠付	FC0600	1	
1	蓋	PCD790	1	
品名	材料	数量	備考	

図号	24/20
製図者	
承認者	
製図地	
製図名	道路及び通信用樹蓋構造図
年月	年月

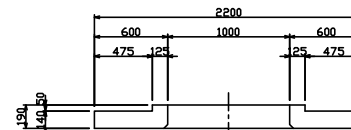
E2 樹構造図 S=1:20
(950×1950×1100 機器樹)



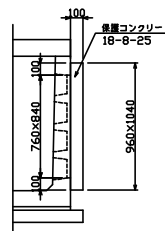
機器据付用ブロック



A - A 断面図



保護コンクリート



設計条件

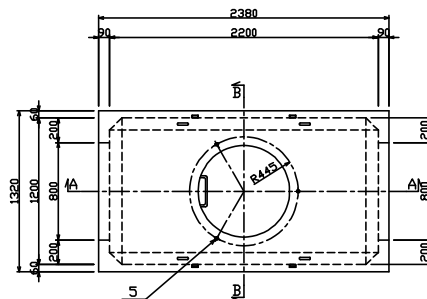
活荷重	24SkN (P=50kN)
衝撃係数	歩道 l = 0.1
構造形式	鉄筋コンクリート構造
荷重条件	950N × 1950 × 1100N
土壌φ	0.34m
土圧係数	k = 0.5
【許容応力度】	
コンクリート	1.σck = 30N/mm ²
鉄筋	σsk = 11N/mm ²
鉄筋	σsk = 0.5N/mm ²
鉄筋	σsk = 180N/mm ²

※ 特記事項
1. 樹本体のアース線2ヶ所に、A種及びB種接地に対応する接地線をGL-75cmの深さ以上に設置すること。
(10Ω以下)

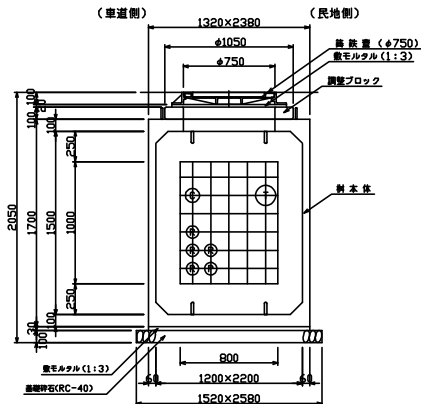
年度	平成	年度	番号	35/53
路線名	都市計画道路 枚方大和高田線 外			
工事名				
所屬地名	枚方市 薮子東町 外			
図面種別	E2樹構造図			
縮尺	1:20	作 業 月	平成18年3月	
大阪府枚方土木事務所				

RT 樹 構 造 図 S=1:20
(1200×2200×1500 歩道用)

平面図

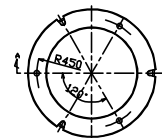


設置断面図

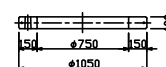


調整ブロック

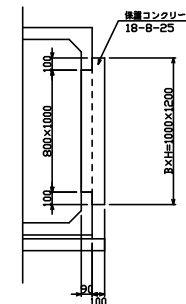
平面図



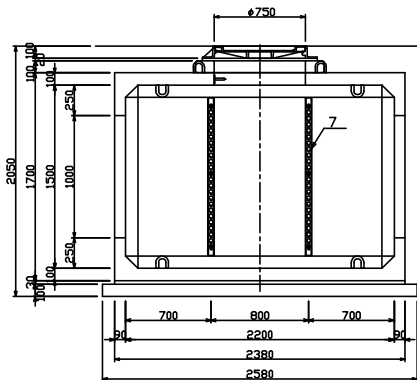
A-A 断面図



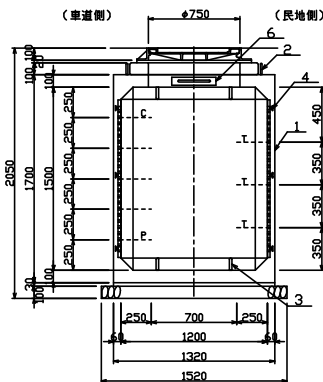
保護コンクリート



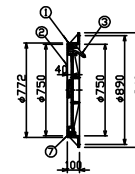
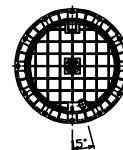
A - A 断面図



B - B 断面図



化粧 鑄 鉄 蓋 構 造 図
(φ750 歩道用)



鉄蓋マーク



品名	規格	数量
調整ブロック	T-23(φ750)	4
吊下げフック	φ16	4
プルダウンボルト	φ22	8
筋金物取付用インサート	M12	12
鉄蓋用インサート	M16	3
脱着式ステップ	φ16	1
筋金物(L=1290)	φ16	4

品名	規格	数量
調整ブロック	T-23(φ750)	4
吊下げフック	φ16	4
プルダウンボルト	φ22	8
筋金物取付用インサート	M12	12
鉄蓋用インサート	M16	3
脱着式ステップ	φ16	1
筋金物(L=1290)	φ16	4

品名	規格	数量
調整ブロック	T-23(φ750)	4
吊下げフック	φ16	4
プルダウンボルト	φ22	8
筋金物取付用インサート	M12	12
鉄蓋用インサート	M16	3
脱着式ステップ	φ16	1
筋金物(L=1290)	φ16	4

設計条件

設計荷重	活荷重	1輪 50kN
	衝撃	i = 0.1
構造形式	工場製品 レジンコンクリート箱型構造	
内空寸法	1200 ^H × 2200 ^H × 1500 ^H	
土の単位重量	γs = 19kN/m ³	
土圧係数	Ka ≤ 0.5	
使用材料	レジンコンクリート 設計基準曲げ強度 σbk = 18.0MPa	

符号	名称	数量	規格	備考
①	本体	1	レジンコンクリート	
②	吊下げフック	4	レジンコンクリート	φ16
③	プルダウンボルト	8	SS400垂鉛メッキ	φ22
④	筋金物取付用インサート	12	SUS304	M12
⑤	鉄蓋用インサート	3	SUS304	M16
⑥	脱着式ステップ	1	SS400垂鉛メッキ	φ16
⑦	筋金物(L=1290)	4	SS400垂鉛メッキ	

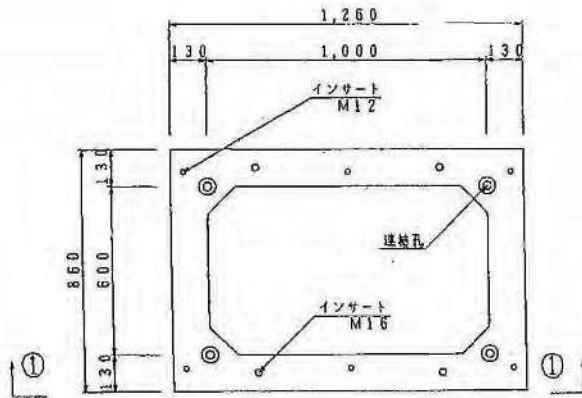
参考質量: 3200kg

年度	平成	年度	番号	36/53
路線名	都市計画道路 枚方大和高田線 外			
工事名				
所屬地名	枚方市 薮子作東町 外			
図面種別	RT樹構造図			
縮尺	1:20	作図	年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所				

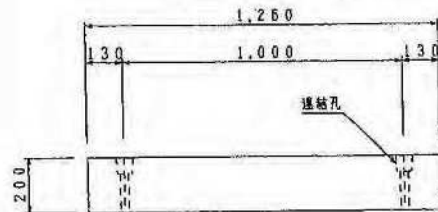
3

5 - 15
機器据付けブロック S-100
(H=200)

平面図

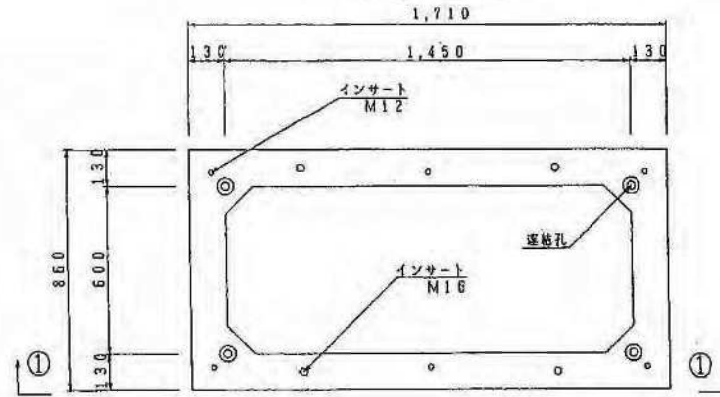


正面図 ①-①

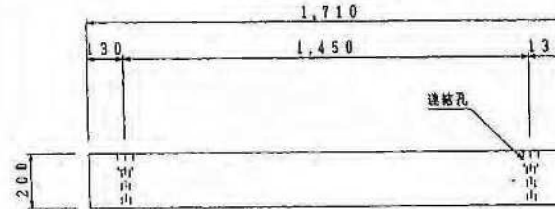


5 - 16
機器据付けブロック S-145
(H=200)

平面図



正面図 ①-①



株式会社 日本ネットワークサポート

5 - 151 5 - 16

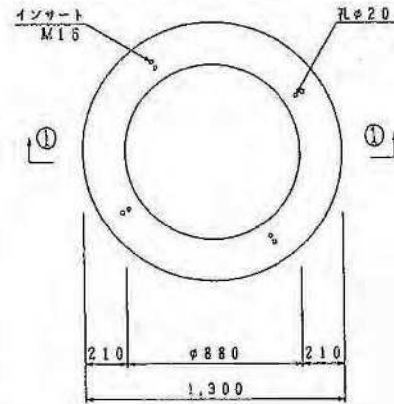
④

首座ブロック (配電用)

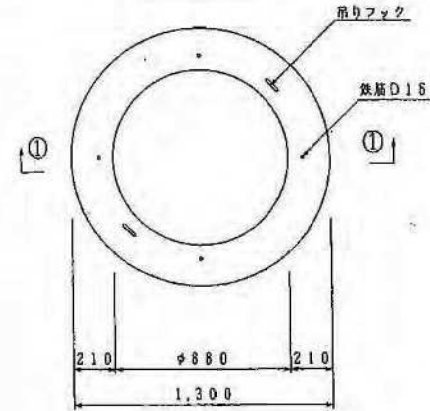
8 - 16
(H=200用)

8 - 17 8 - 18 8 - 19
(H=400, 600, 800用)

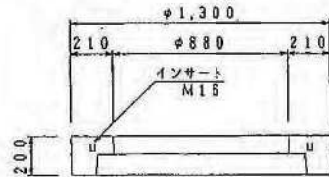
平面図



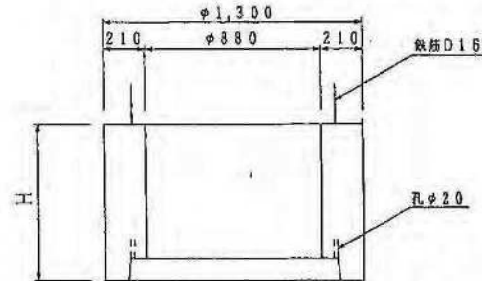
平面図



断面図 ①-①



断面図 ①-①

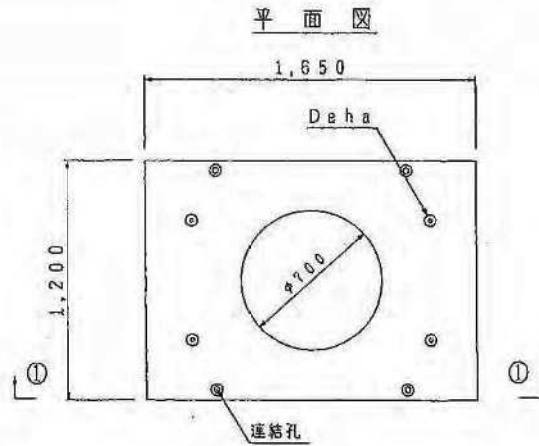


*但し、H=400, 600, 800

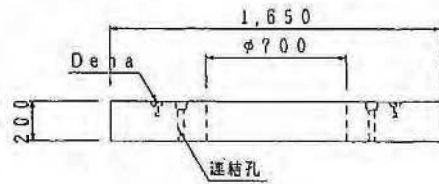
株式会社 日本ネットワークサポート

金蓋取付用ブロックI-100(φ700)構造図

1-23

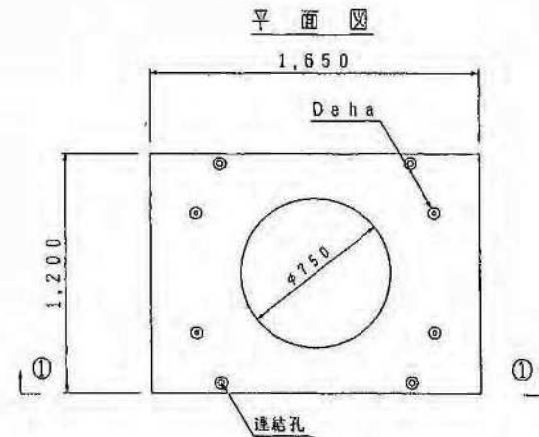


正面図 ①-①

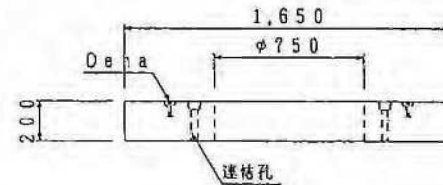


金蓋取付用ブロックI-100(φ750)構造図

1-24



正面図 ①-①



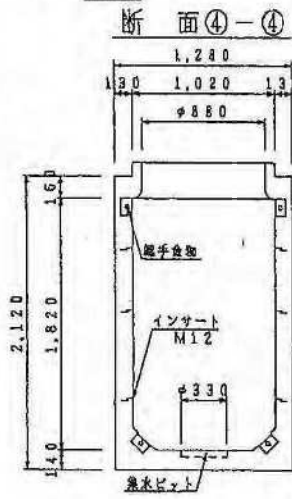
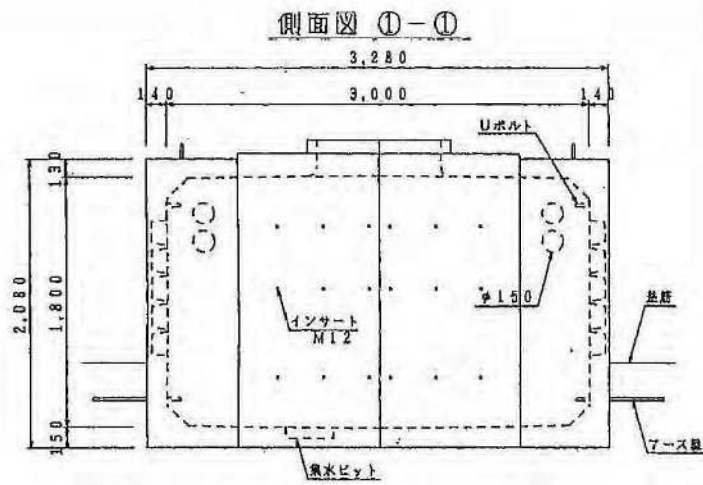
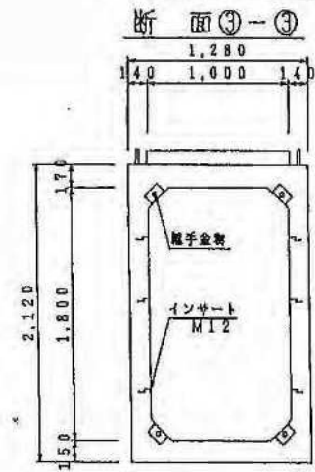
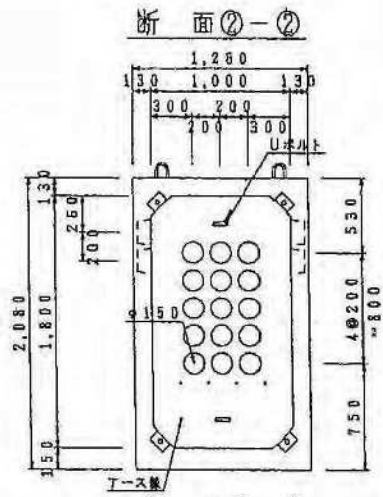
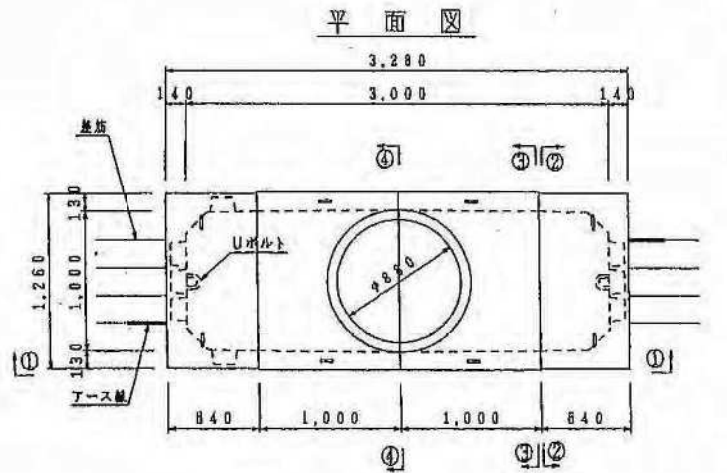
株式会社 日本ネットワークサポート

1-23 1-24

⑥

プレハブ人孔 A5型構造図
1.0X1.8X3.0m

設計条件	
活荷重	245kN (P=50kN)
耐震等級	準震:1,1,1,歩道:1,1,1
土圧係数	k=0.5
土被り	0.4m~2.0m
構造	鉄筋コンクリート箱形構造
(許容応力度)	
コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	曲げ圧縮応力度 $\sigma_{tl}=11\text{N/mm}^2$
	剪断応力度 $\tau_l=0.5\text{N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{st}=180\text{N/mm}^2$



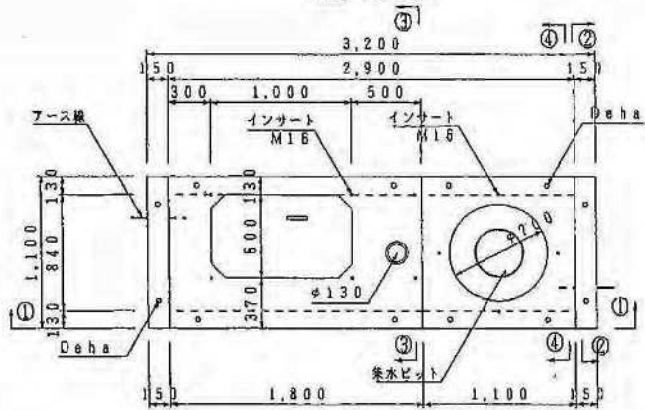
株式会社 日本ネットワークサポート

7

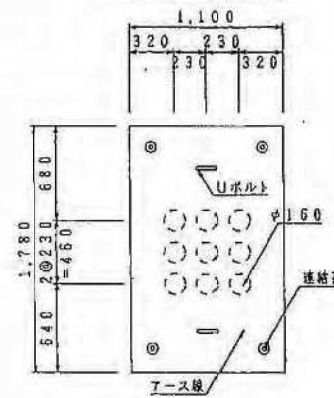
プレハブ基礎 S1型

設計条件	
応荷重	245kN (P=50kN)
断架係数	歩道: $i=0.1$
土圧係数	$k=0.5$
土被り	0.30m
構造	鉄筋コンクリート箱形構造
(許容応力度)	
コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{cl}=30\text{N/mm}^2$
	曲げ圧縮応力度 $\sigma_{cl}=11\text{N/mm}^2$
	引張応力度 $\sigma_{tl}=0.5\text{N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{st}=180\text{N/mm}^2$

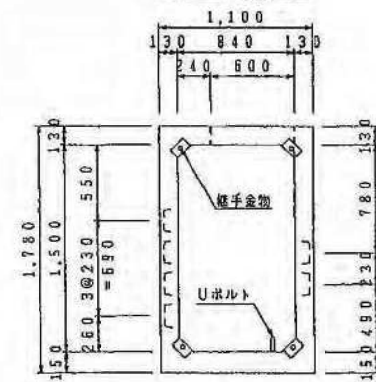
平面図



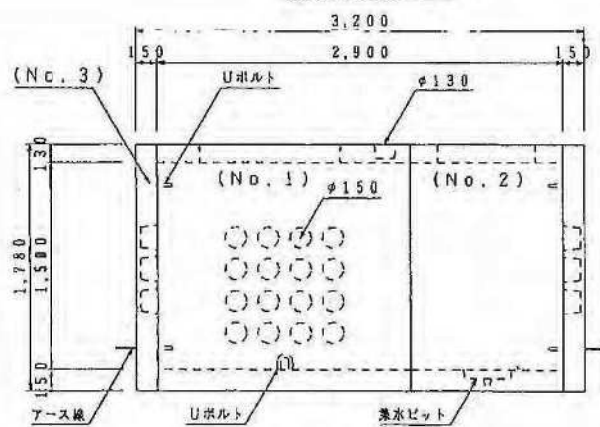
断面②-②



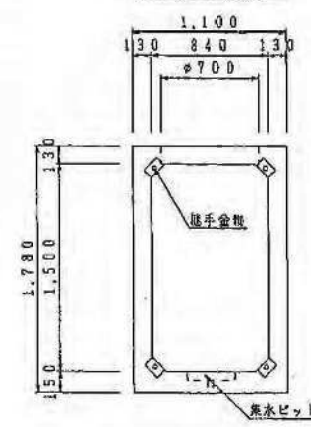
断面③-③



正面図 ①-①



断面④-④



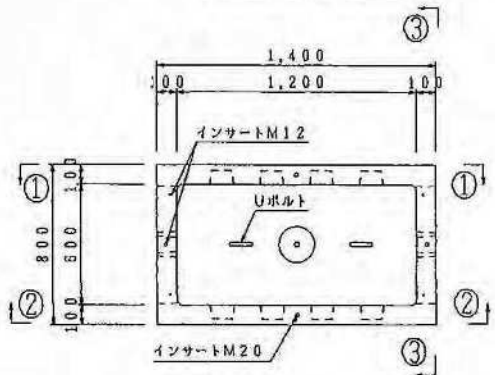
株式会社 日本ネットワークサポート

8

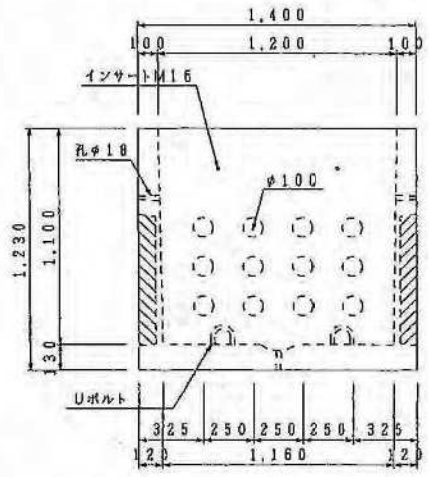
通信用ハンドホール (Type 14) 構造図

設計条件	
活荷重	24.5kN (P=50kN)
衝撃係数	乗道: $\lambda = 0.4$
土圧係数	$k = 0.308$
土被り	0.15m
構造	鉄筋コンクリート箱型構造
(許容応力度)	
コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
	引張圧縮応力度 $\sigma_{ct1} = 1.1 \text{ N/mm}^2$
	剪断応力度 $\tau_1 = 0.5 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{st} = 180 \text{ N/mm}^2$

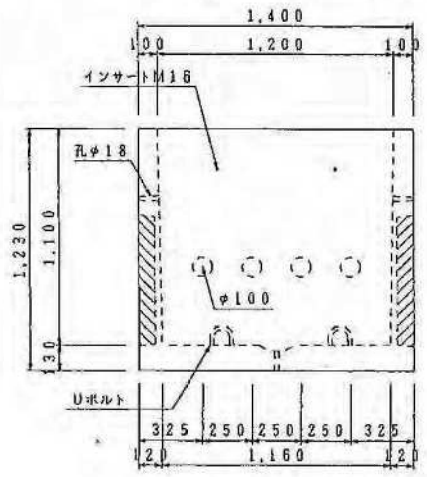
平面図



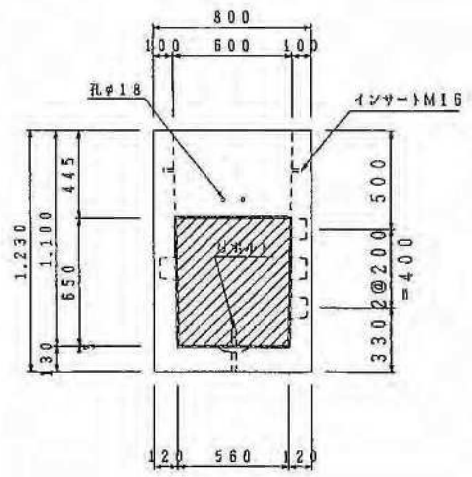
正面図 ①-①



正面図 ②-②



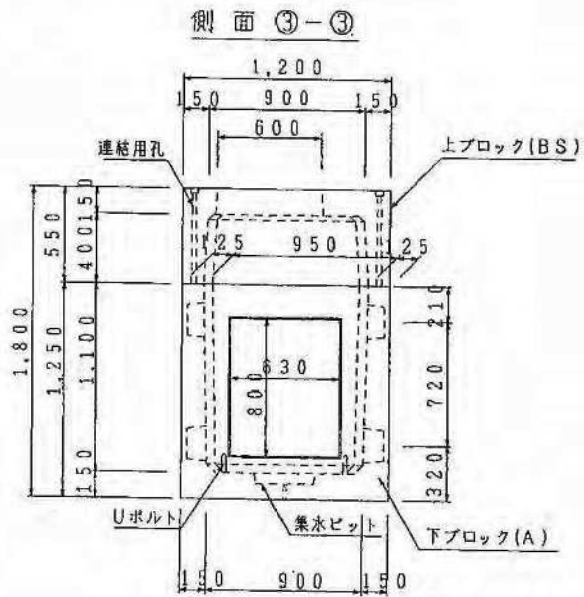
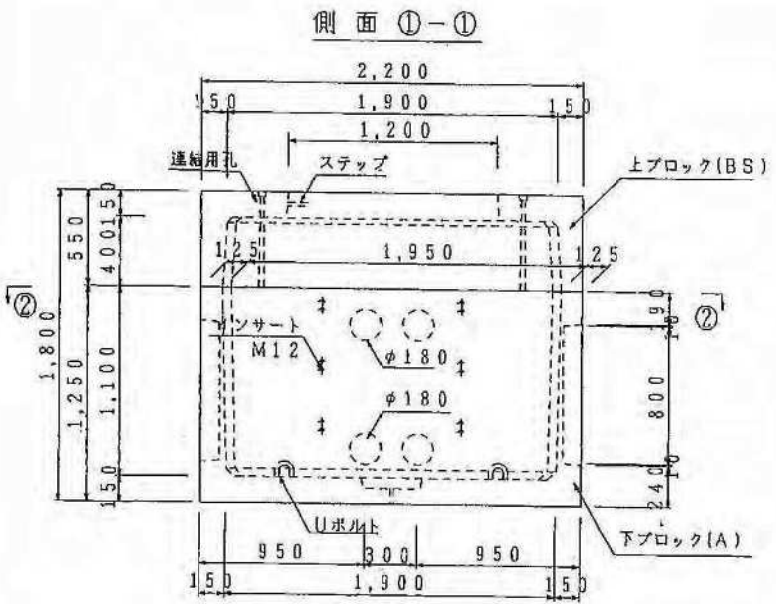
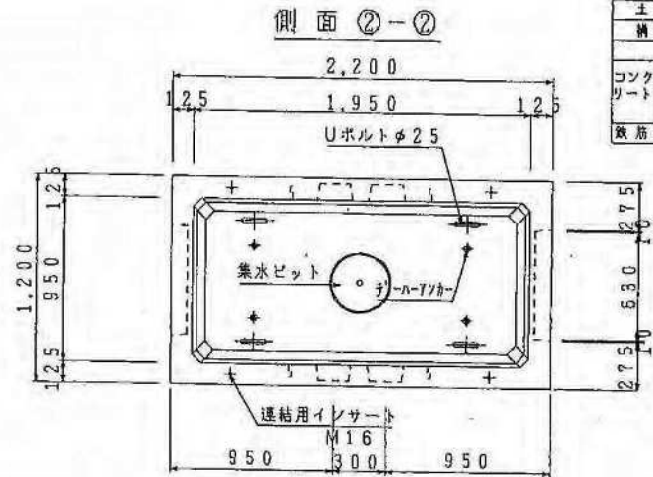
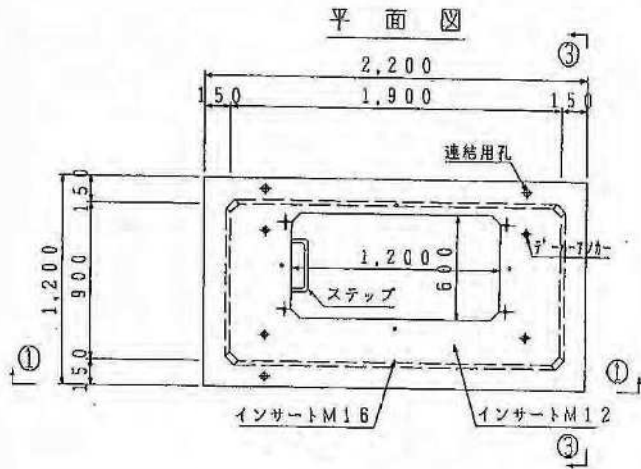
側面 ③-③



株式会社 日本ネットワークサポート

9 T柵 (Type-4) 構造図

設計条件	
活荷重	245kN (P=50kN)
衝撃係数	歩道: $\gamma_1=0.1$, 車道: $\gamma_1=0.4$
土圧係数	$k=0.50$
土質	
構造	
(許容応力度)	
コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
引張	曲げ圧縮応力度 $\sigma_{ct}=11\text{N/mm}^2$
引張	剪断応力度 $\tau_z=0.5\text{N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{st}=180\text{N/mm}^2$



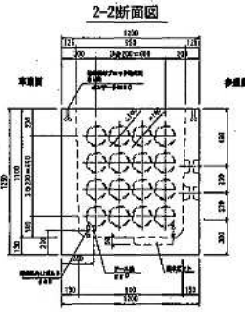
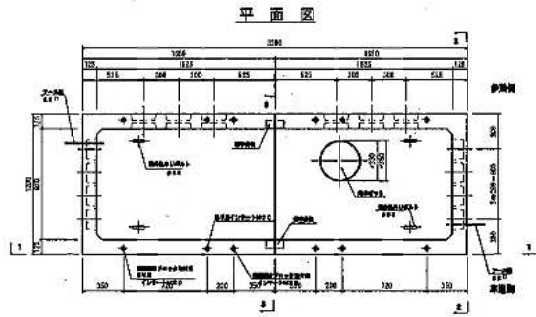
株式会社 日本ネットワークサポート

⑨-27

E1 桧構造図

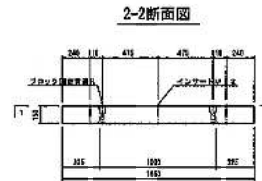
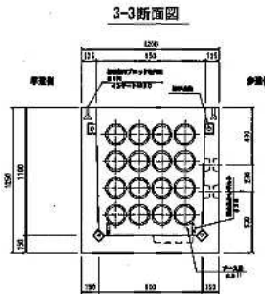
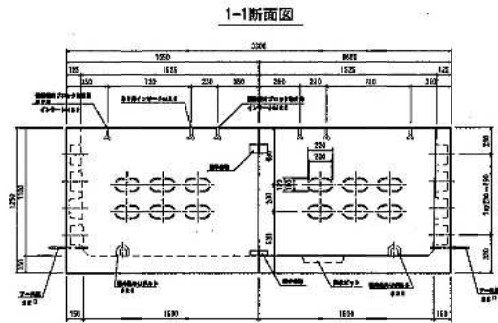
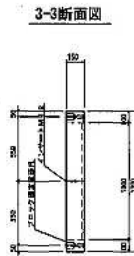
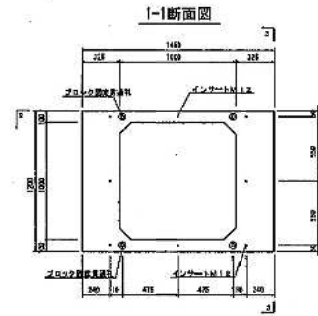
S=1:20

機器寸法 (H200 × H100 × L3000)



設計条件	
床面積	24.5坪 (P=60MM)
荷重係数	歩法: 1=0, 1
生圧係数	h=0, 3歩
構造	鉄筋コンクリート付構造
圧縮強度	
設計基準強度	$\sigma_{c,k} = 30 \text{ N/mm}^2$
引張強度	$\sigma_{s,k} = 11 \text{ N/mm}^2$
引張強度	$f_s = 0, 5 \text{ N/mm}^2$
引張強度	$\sigma_{s,k} = 130 \text{ N/mm}^2$

機器据付ブロック

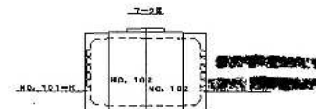
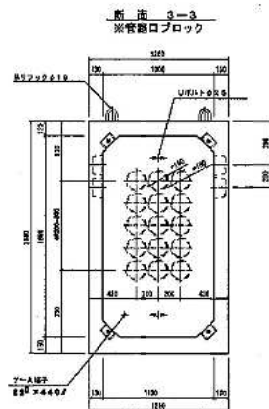
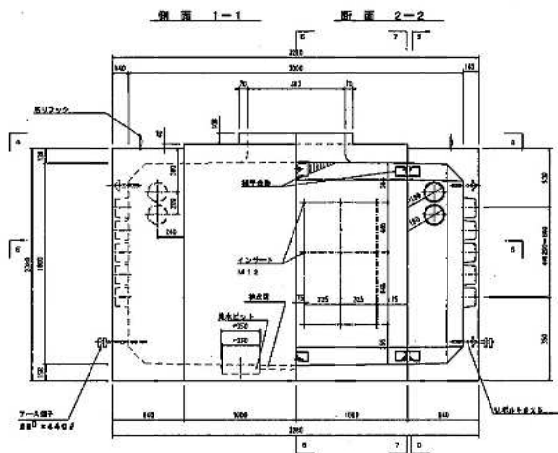


基礎ブロック



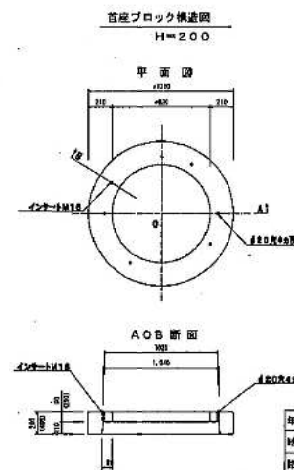
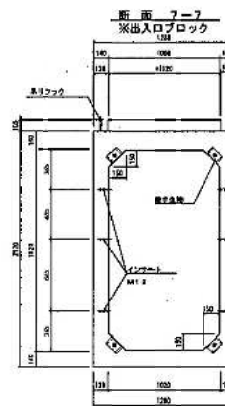
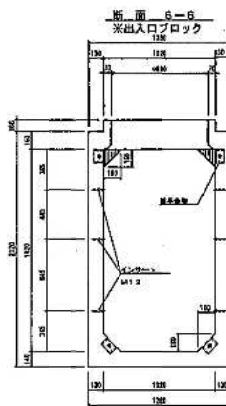
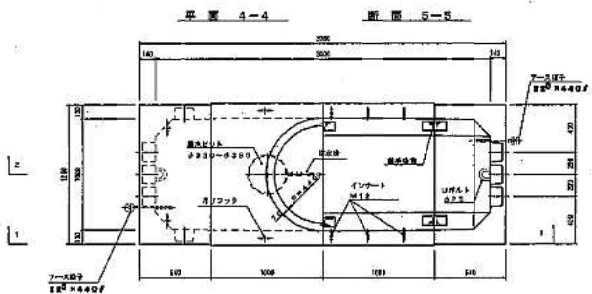
年度	令和2年	年月	令和2年 11月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
設計	E1 桧構造図		
縮尺	1/20	設計	番号
鳳土木事務所			14/21

E3樹構造図 S=1:20
プレハブ入札A型(幅100×H1400×L3000)



設計条件	
2. 樹種	2.463772PMU
3. 管径	標準100.4φ(φ=100)
4. 止込係数	a=0, b
5. 用途	樹種(2.463772)用管
6. 許容応力度	
7. 設計基準強度	$f_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
8. コンクリート引張強度	$f_{tk} = 1.18 \text{ N/mm}^2$
9. 許容応力度	$\sigma_c = 0.58 \text{ N/mm}^2$
10. 樹種	$\sigma_{ct} = 1.9 \text{ N/mm}^2$

部品表		
項目	数量	備考
管開口ブロック	2.56	NO.101-K
樹種ブロック	2.18	NO.102-K
管開口ブロック	2.18	NO.102-K
管開口ブロック	2.56	NO.101-K
合計	9.56	



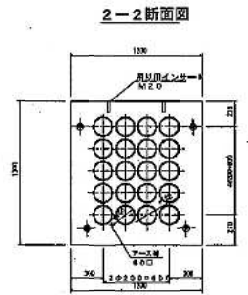
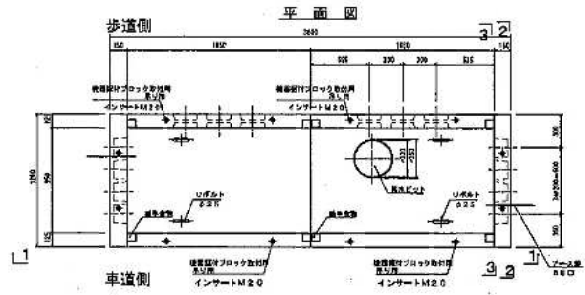
年度	昭和44年	設計	昭和44年
月		月	
種別	[Redacted]		
設計者	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図号	E3樹構造図		
縮尺	1/20	設計	24
製図	[Redacted]		
監製	[Redacted]		
風土木事務所	24		

E4樹構造図

S-1-20

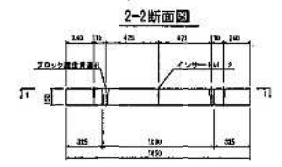
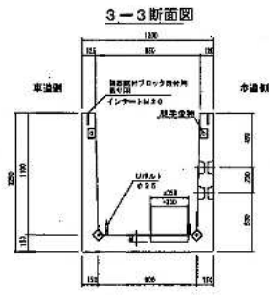
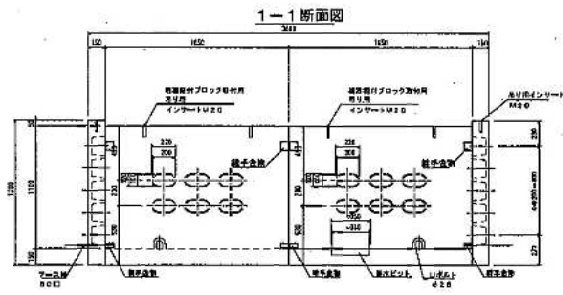
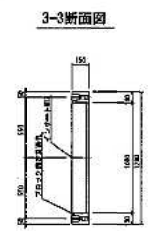
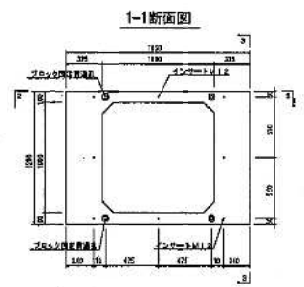
プレハブ基礎柱型タイプH100-2型 (H100×H100×L3100)

※基礎部分の構造は
※基礎部分の構造は



限制条件	
圧入量	7-24.5 (φ=20.0)
断ヤ式地	砂礫: i=0.1
土質係数	k=0.302
土質γ	数値コンクリートは標準
(計算条件)	
設計座地力	$f_{cd} = 3.0 \text{ N/mm}^2$
コンクリート設計座地力	$f_{cd} = 1.1 \text{ N/mm}^2$
鋼管径	$r = 0.34 \text{ mm}$
鋼管径	$r = 1.8 \text{ N/mm}^2$

I型機器据付用ブロック1-100構造図

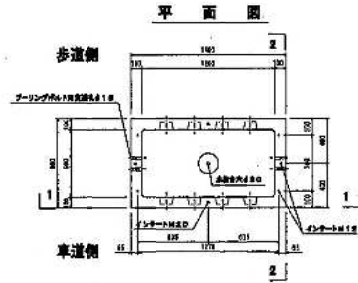


年度	令和2年度	作	月	令和2年 10月
地名	[Redacted]			
施設名	[Redacted]			
工事名	[Redacted]			
図	E4樹構造図			
種	1:20	設計	24	25
關土木事務所				25

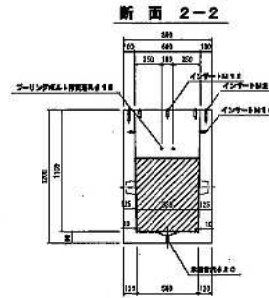
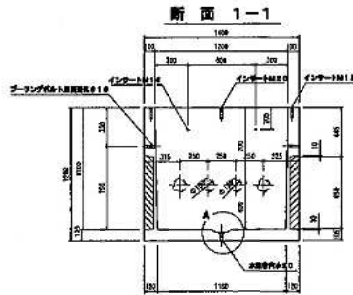
0 樹構造図

S=1:20

(600×H100×L100)



設計条件	
容積率	24.0% (F=3.0%)
容積係数	歩道 (1) = 0.1
土圧係数	h = 0.5
種別	石造コンクリート混合構造
防音係数	
耐圧基礎物径	φ = 300mm
コンクリート圧縮強度	σ _c = 110N/mm ²
鉄筋の強度	σ _s = 0.55N/mm ²
鋼筋の径	φ = 10mm

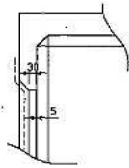


年度	令和4年度	第 1 期	令和4年 10月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図番	0樹構造図		
縮尺	1:20	設計	番号
農士木務務所			20/21

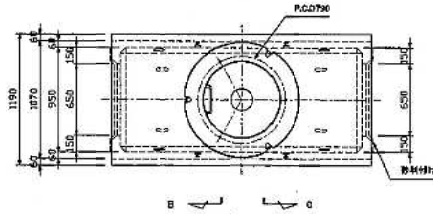
R樹構造図 S=1:20

(850 × 2200 × 1500)

ロックアット部詳細



平面図



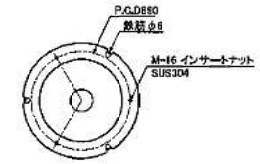
定製品

品名	数量	規格	備考
1 野間用椅子	1	S1400座布メッシュ	

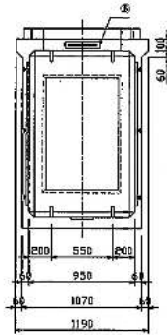
設計条件

設計荷重	245kN (1輪 51kN)
荷重係数	$\gamma = 0.4$
構造形式	工場構造 レジコンクリート製積層構造
床面積	250 × 2200 × 1100
土の単位重量	$\gamma_s = 19.1kN/m^3$
土圧係数	$ka = 0.5$
使用材料	レジコンクリート 設計基準値引強度 $f_{ck} = 14, 18MPa$

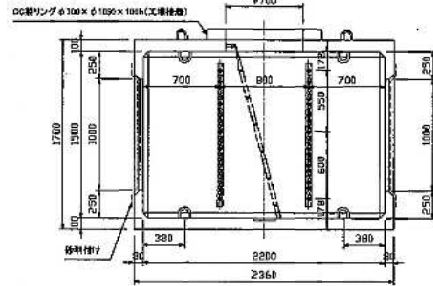
セメント製積層ブロック



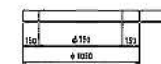
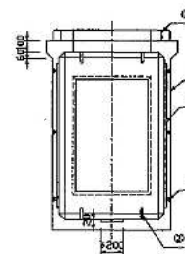
B-B断面図



A-A断面図



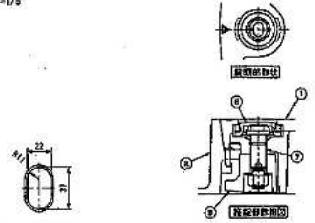
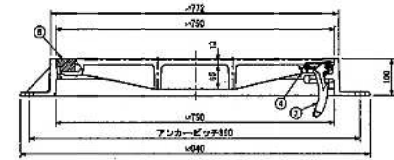
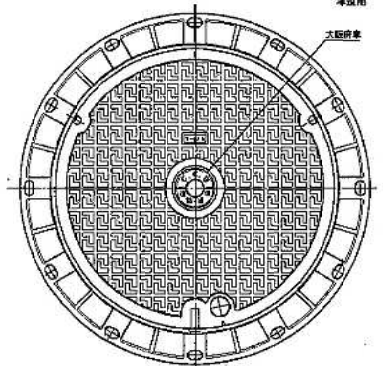
C-C断面図



年 月	令和2年 9月
種 名	
所 属 名	
工 事 名	
図 説 明	事務所図面
縮 尺	1:25 設計
製 図 者	
監 査 者	
製 図 日	
製 図 所	国土木事務所

鉄蓋構造図(1)

通儀側蓋構造図
歩道用 S=1/5

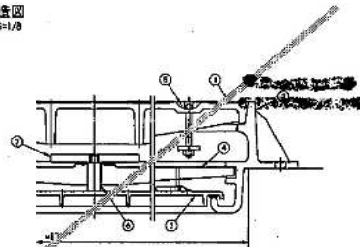
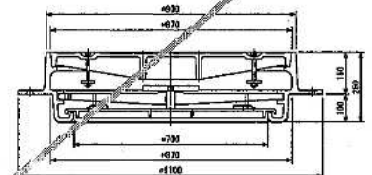
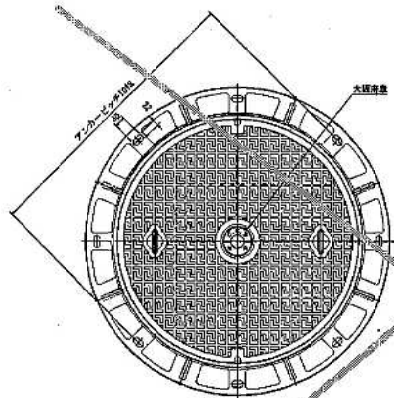


全重量
重: 48kg
容積: 80kg

8	樹脂板	FCD600	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム板	EPDM	1
4	球磨材	NBR	1
3	球磨体物	FCD600	1
2	受け	FCD600	1
1	蓋	FCU700	1

車道用・T-25
—輪荷重 1600N
摩擦係数 0.4

電力側蓋構造図
S=1/8

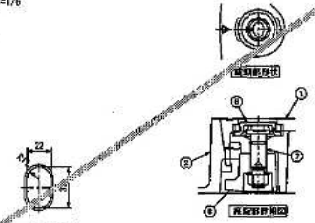
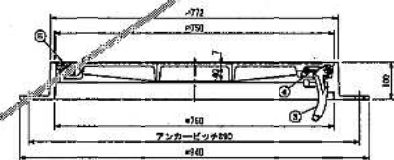
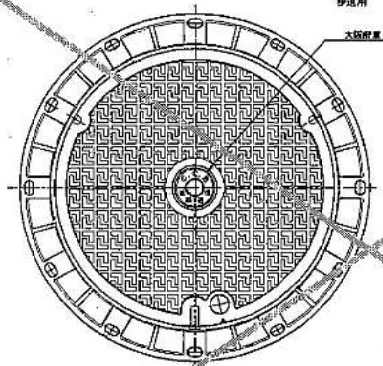


全重量
重: 110kg
容積: 160kg

8	樹脂板	FCD600	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム板	EPDM	1
4	球磨材	NBR	1
3	球磨体物	FCD600	1
2	受け	FCD600	1
1	蓋	FCU700	1

車道用・T-25
—輪荷重 1600N
摩擦係数 0.4

通儀側蓋構造図
歩道用 S=1/5



全重量
重: 44kg
容積: 80kg

8	樹脂板	FCD600	1
7	ピン	ステンレス	1
6	キャップ	EPDM	1
5	ゴム板	EPDM	1
4	球磨材	NBR	1
3	球磨体物	FCD600	1
2	受け	FCD600	1
1	蓋	FCU700	1

車道用・T-25
—輪荷重 1600N
摩擦係数 0.4

年	度	図	番	製	年	今	2	年	9	月
種	別	[Redacted]								
種	別	[Redacted]								
工	事	[Redacted]								
製	用	鉄蓋構造図(1)								
縮	尺	図	所	設計	日	年	月	日	年	
風土木事務所										

管路材詳細図(1)

VP(フリーアクセス)・ボディ管・EGVP

共用FA管 (VP管 直管)



呼び径	外径	内径	管壁厚	管長	重量
150	222	195	13.5	1,200	5.355

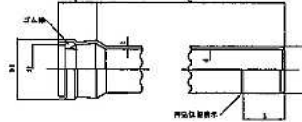
ボディ管 (VP管 直管)



呼び径	外径	内径	管壁厚	管長	重量
150	215	215	15.3	2,000	2,492
200	275	275	15.3	2,000	2,732

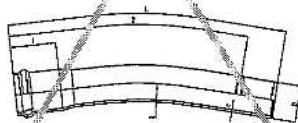
ゴム輪受口片受直管 (EGVP)

φ100・φ125の管と付加してφ100以内の管径を対応とする。



呼び径	外径	内径	管壁厚	管長	重量
25	41.0	35.3	12.7	71	0.1
100	114.0	91.4	15.3	150	1.1
125	146.0	114.3	15.3	125	1.1
150	178.0	141.3	15.3	150	1.1

共用FA管 (VP管 曲管)



呼び径	外径	内径	管壁厚	管長	重量
150	223	195	13.5	1,000	1,105

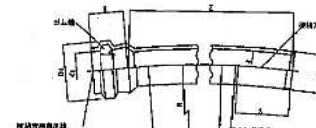
ボディ管 (VP管 曲管)



呼び径	外径	内径	管壁厚	管長	重量
150	223	195	13.5	1,000	1,105
200	273	245	13.5	1,000	1,105

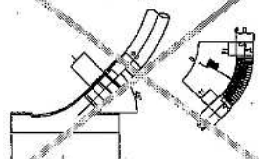
ゴム輪受口片受曲管 (EGVP)

φ100・φ125の管と付加してφ100以内の管径を対応とする。



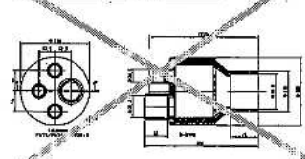
呼び径	外径	内径	管壁厚	管長	重量
25	41.0	35.3	12.7	71	0.1
100	114.0	91.4	15.3	150	1.1
125	146.0	114.3	15.3	125	1.1
150	178.0	141.3	15.3	150	1.1

共用FA分岐管



呼び径	分岐部				直管部			
	分岐部外径	分岐部内径	分岐部管壁厚	分岐部管長	直管部外径	直管部内径	直管部管壁厚	直管部管長
150	223	195	13.5	450	223	195	13.5	300
200	273	245	13.5	450	273	245	13.5	300

引込分散継手



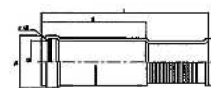
さや管 (SU管 直管)



呼び径	外径	内径	管壁厚	管長	重量
25	34.1	28.4	2.7	1.0	0.04
50	54.1	48.4	2.7	1.0	0.08

ダクトスリーブ (EGVP)

φ100・φ125の管と付加してφ100以内の管径を対応とする。



呼び径	外径	内径	管壁厚	管長	重量
100	114.0	100.0	7.0	450	1.1
125	146.0	132.0	7.0	450	1.1

年度	令和2年度
月	令和2年 9月
地番	
番地	
工事名	
図面番号	管路材詳細図(1)
縮尺	1/5
製図	風土本事務所

管路材詳細図(2)

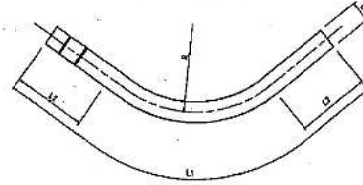
KGP・PV

ケーブル保護鋼管直管 (KGP)



寸法 呼び径	管の寸法					鋼管接続部		鋼管の長さ t	鋼管の長さ Q	全長 L	鋼管の重量 (kg/m)	鋼管の重量 (kg/m)
	A	B	C	D	E	鋼管の長さ t	鋼管の長さ Q					
80	88.1	91.2	94.0	100	76	3.0	9500	2725	600	7.4		
100	114.3	118.4	123.4	100	76			2725	600	8.8		
125	139.6	142.0	152.0	175	76			2750	600	18.0		

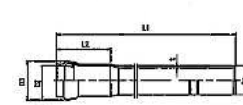
KGP ベンド管



呼び径	L1	L2	D1	D2	t	R
125	2216	500	140	26.4	600	
100	1430	300	114	26.4	600	
80	1312	200	76	26.3	600	

(単位: mm)

P-V 直管



呼び径	L1	L2	D1	D2	D3	t
75	1383	182	95	60.2	128	4.5
90	1583	184	100	61	84	4.5
125	1835	195	124	64.4	75	3.0

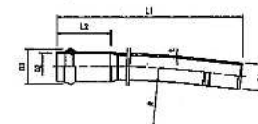
(単位: mm)

ケーブル保護鋼管曲管 (KGP)



寸法 呼び径	管の寸法					鋼管の長さ S1	鋼管の長さ S2	鋼管の長さ t	鋼管の長さ R	全長 L	鋼管の重量 (kg/m)	鋼管の重量 (kg/m)
	A	B	C	D	E							
80	88.1	91.2	94.0	100	76	228	175	3.0	9400	1900	7.4	
100	114.3	118.4	123.4	100	76						8.8	
125	139.6	142.0	152.0	175	76						18.0	

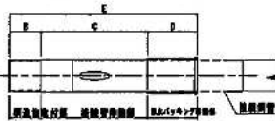
P-V 曲管



呼び径	L1	L2	D1	D2	D3	t	R
75	1140	182	76	33.3	128	4.5	1000, 2000
90	1110	184	90	61	84	4.5	1000, 2000

(単位: mm)

伸縮性取付管 (KGP)



寸法 呼び径	管の寸法					鋼管の長さ t	鋼管の長さ R	全長 L
	A	B	C	D	E			
80	88.1	140	490	228	819			
100	114.3	140	490	228	819			
125	139.6	140	475	228	840			

P-V ダクトスリーブ



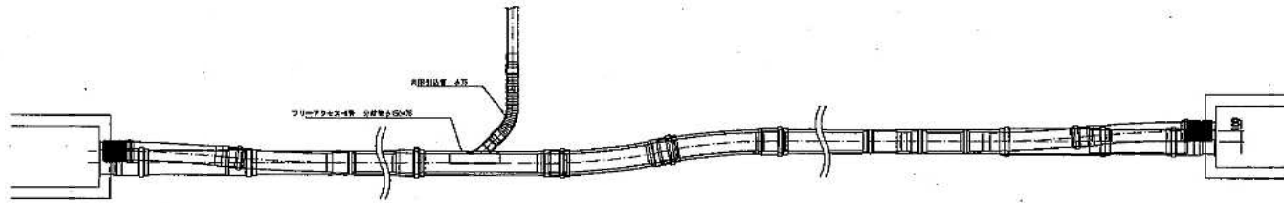
呼び径	L1	D1	D2	R
75	240	124	88	110
90	225	100	81	78
125	250	124	78	108

(単位: mm)

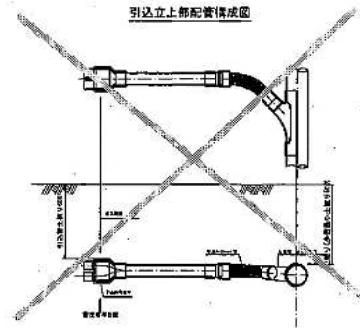
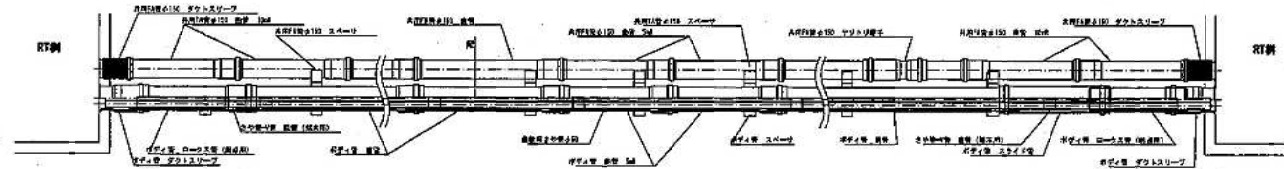
年度	令和2年度	設計	令和2年 9月
地名	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	[Redacted]		
図面名	管路材詳細図(2)		
縮尺	1:1	設計	10/75
製図	国土木事務所		

共用FA・ボディ管 標準構成図

平面図



側面図



ボディ管の断面寸法表

径	寸法
φ	3
φ	4
φ	5
φ	6
φ	7
φ	8
φ	9
φ	10
φ	11
φ	12
φ	13
φ	14
φ	15
φ	16
φ	17
φ	18
φ	19
φ	20
φ	21
φ	22
φ	23
φ	24
φ	25
φ	26
φ	27
φ	28
φ	29
φ	30

ボディ管の断面寸法表

径	寸法
φ	3
φ	4
φ	5
φ	6
φ	7
φ	8
φ	9
φ	10
φ	11
φ	12
φ	13
φ	14
φ	15
φ	16
φ	17
φ	18
φ	19
φ	20
φ	21
φ	22
φ	23
φ	24
φ	25
φ	26
φ	27
φ	28
φ	29
φ	30

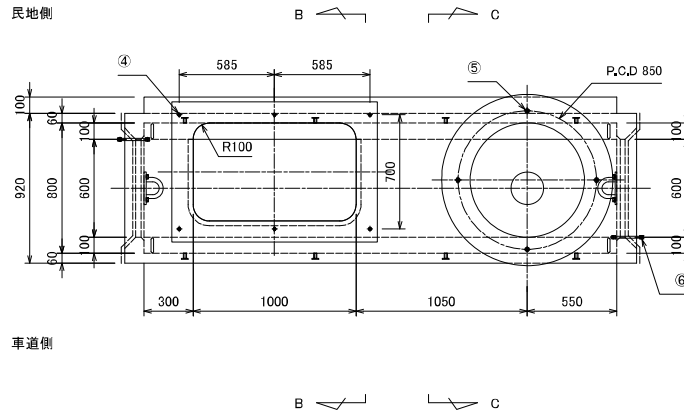
ボディ管の断面寸法表

径	寸法
φ	3
φ	4
φ	5
φ	6
φ	7
φ	8
φ	9
φ	10
φ	11
φ	12
φ	13
φ	14
φ	15
φ	16
φ	17
φ	18
φ	19
φ	20
φ	21
φ	22
φ	23
φ	24
φ	25
φ	26
φ	27
φ	28
φ	29
φ	30

年度	昭和22年	月	9月
地区	[Redacted]		
路線名	[Redacted]		
工事名	共用FA・ボディ管 標準構成図		
設計	土木	設計	15
監理	土木	監理	15
施工	土木	施工	15
検査	土木	検査	15
承認	土木	承認	15

E3柵構造図 S=1:15

平面図

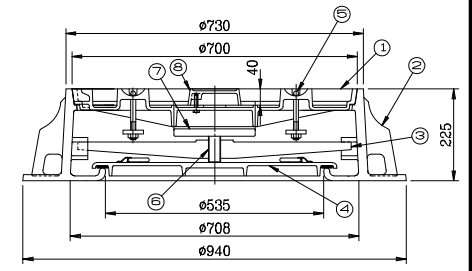
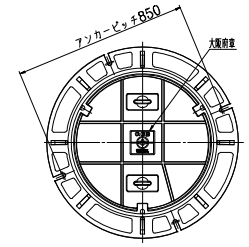


符号	名称	数量	規格	備考
①	本体	1	レジンコンクリート	
②	吊下げフック	4	SS400垂鉛メッキ	φ16
③	後付けフックリングボルト	2	SS400垂鉛メッキ	φ25
④	機器据付用インサート	4	SUS304	M12
⑤	鉄蓋用インサート	6	SUS304	M16
⑥	アース端子	2	銅棒	φ12
⑦	インサートナット	24	SUS304	M12×30

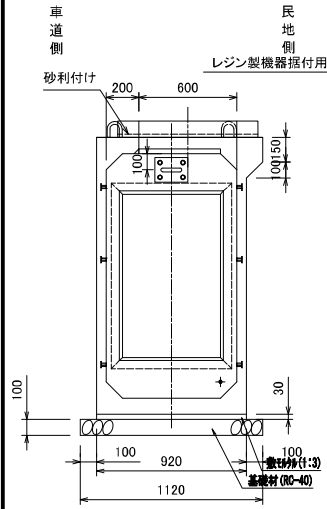
設計条件

設計荷重	活荷重 245kN (1輪 50kN)
衝撃	i = 0.1
構造形式	工場製品 レジンコンクリート製箱型構造
内空寸法	800' × 2900' × 1500'
土の単位重量	$\gamma_s = 19\text{kN/m}^3$
土圧係数	$K_a = 0.5$
使用材料	レジンコンクリート 設計基準曲げ強度 $\sigma_{bk} = 18.0\text{MPa}$

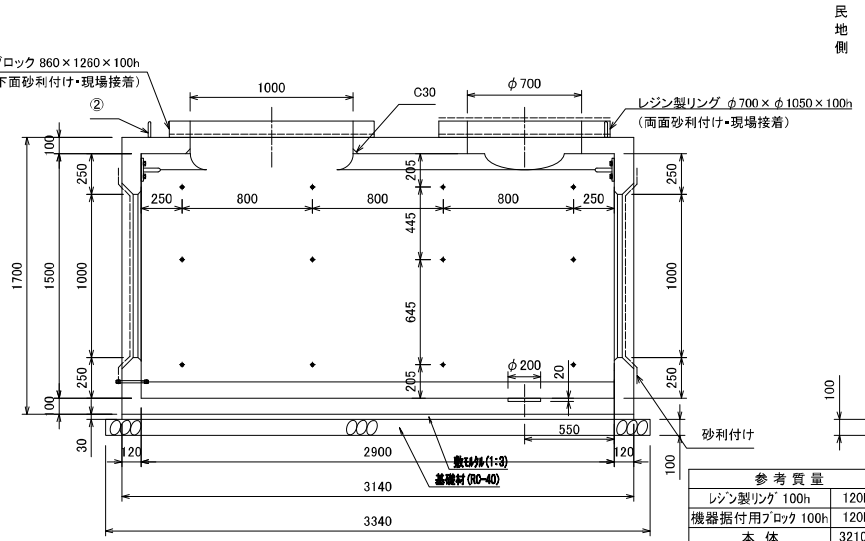
※註記
地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。



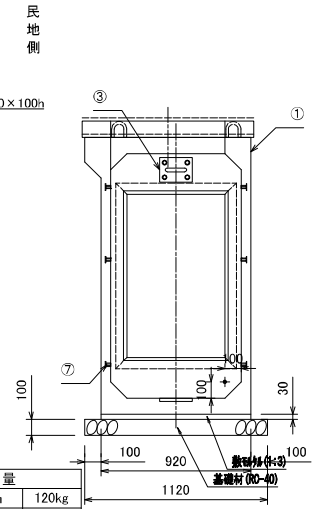
B-B断面図



A-A断面図



C-C断面図



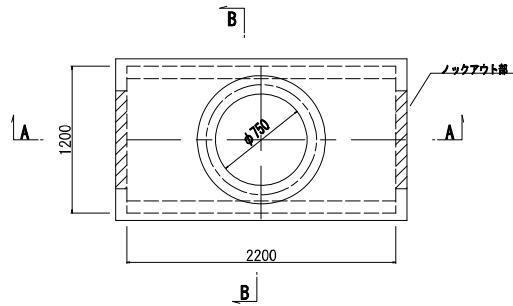
参考質量	
レジン製リング 100h	120kg
機器据付用ブロック 100h	120kg
本体	3210kg
合計	3450kg

材料番号	品名	数量	単位
①	レジンコンクリート	1	個
②	吊下げフック	4	個
③	後付けフックリングボルト	2	個
④	機器据付用インサート	4	個
⑤	鉄蓋用インサート	6	個
⑥	アース端子	2	個
⑦	インサートナット	24	個

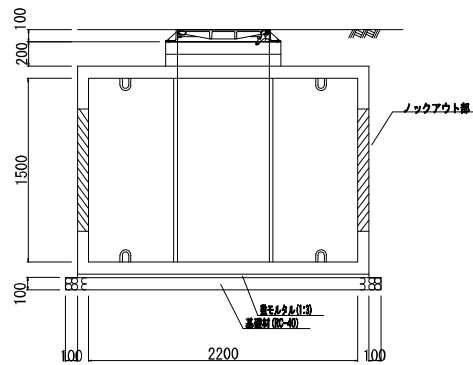
RT-S1柵構造図

RT柵S1型 S=1/20

平面図

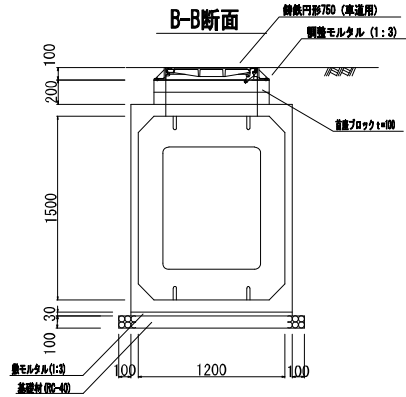


A-A断面

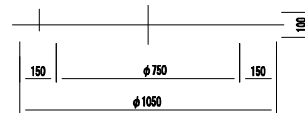
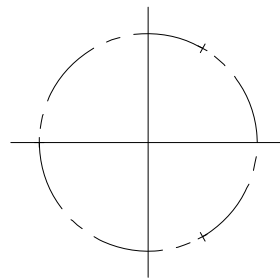


設計条件 (標準)		
設計荷重	活荷重	T-25 (P=60kN)
	衝撃係数	1=0.4
内空寸法	1200W x 2200L x 1500H	

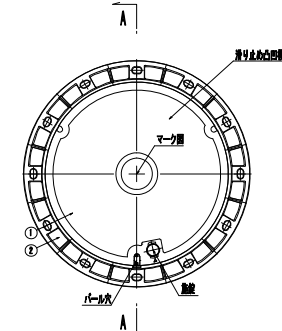
※注記
地下水位を考慮する場合は、別途検討するものとする。



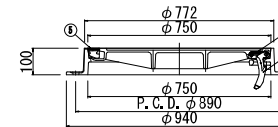
首座ブロック (車道用) S=1/10



铸铁蓋円形750 (車道用) S=1/10



A-A断面



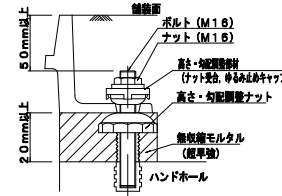
設計条件 (標準)		
設計荷重	活荷重	T-25 (P=60kN)
	衝撃係数	1=0.4
	設計荷重	55kN

※アンカーボルトはアンカーピッチが
ズレた場合を考慮しクリアランスをとること。
※油断等は、荷重の増大を招くものとするが、
荷重の増大は荷重係数を参照すること。
※落下防止対策として、片側吊り構造とするが、
荷重の増大等については検討しない。(10kN)
※鋼製モルタルは、標準コンクリート (10kN)
を参照するものとする。
※丁取の構造は、クリンダー等の設置の有無については、
入念な検討と協議を行うこと。
※塗料等については、塗料の種類、塗料の厚さ、
塗料の色等と協議を行うこと。
※鋼製モルタルは、R=40等で固定すること。

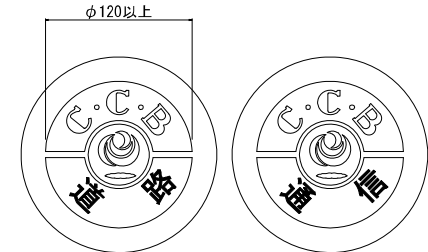
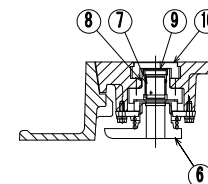
品番	名称	材質	個数	備考
①	蓋	FC700以上	1	
②	受枠	FC600以上	1	
③	継ぎ金物	FC400以上	1	
④	継ぎ金物	—	1	
⑤	ゴム栓	CR	1	
⑥	回転カム	FC又は316S	1	
⑦	シリンダー筒	ステンレス	1	φ24x28
⑧	錠ホルダー	ステンレス	1	78x48x100 加工
⑨	マシナリキャップ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	CR又はFR	1	

マーク図 S=1/2

鉄蓋固定構造図



施錠部構造図

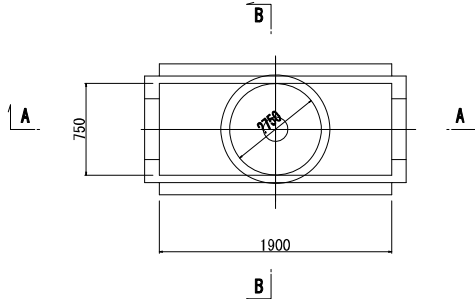


R-A1柵構造図

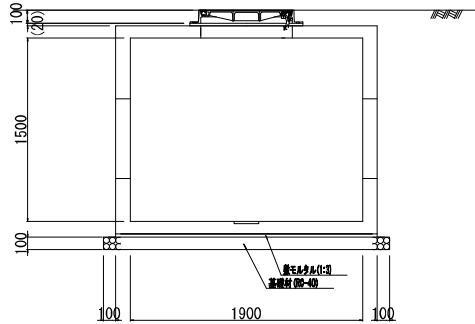
R柵A1型 S=1/20

鑄鉄蓋円形750 (歩道用) S=1/10

平面図



A-A断面

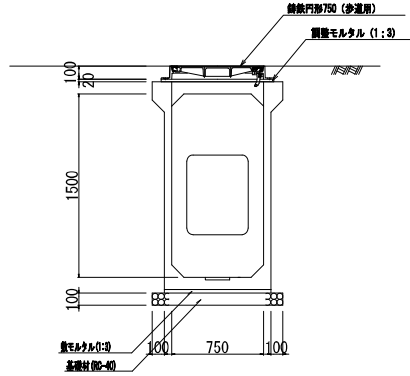


取付条件 (参考)

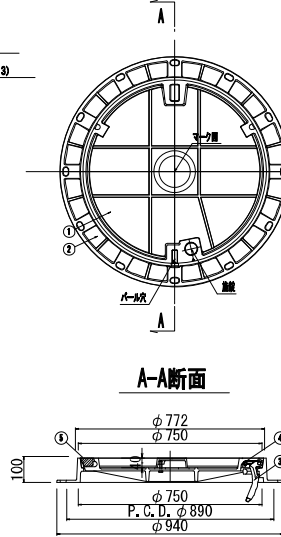
取付荷重	圧荷重	Y-25 (P=50kN)
管径係数		I=D. 1
内径寸法		750W x 1900L x 1500H

※注記
地下水位を考慮する場合は、別途検討するものとする。

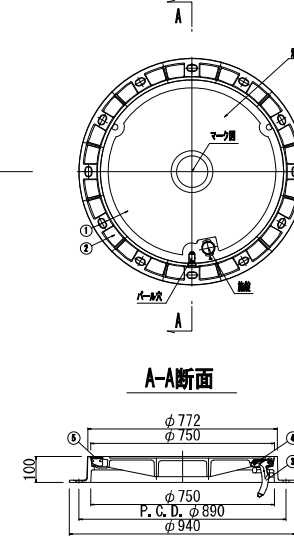
B-B断面



A1型 (化粧蓋)



A2型 (黒蓋)



取付条件 (参考)

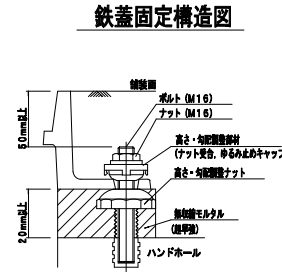
取付荷重	圧荷重	Y-25 (P=50kN)
管径係数		I=D. 1
取付荷重		55kN

※アンカー寸法はアンカーピッチがズレた場合を考慮し、クリアランスをとること。
※蓋縁部は、下部の埋物を有する構造とするが、管径の寸法寸法は適用しない。
※地下水位を考慮し、片側埋物を構造とするが、埋物の形状寸法については適用しない。
※砂金床下面には、管径アンカープレート (10層) を設置するものとする。
※下流の場合、シリンドラー蓋の設置の有無については、入念な調査と協議を行うこと。
※埋物等に設置する場合は、充填材料について、管径管と協議を行うこと。
※新本体と蓋は、5kg・1kg等で測定すること。

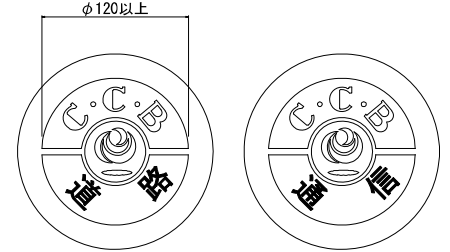
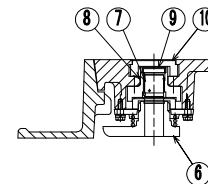
品番	名称	材質	個数	備考
①	蓋	FR70W以上	1	
②	受枠	FR70W以上	1	
③	継ぎ金物	FR70W以上	1	
④	継ぎ金物	—	1	
⑤	ゴム栓	CR	1	
⑥	回転カム	FR又はSR	1	
⑦	シリンドラー蓋	ステンレス	1	φ24x28
⑧	錠ホルダー	ステンレス	1	1kg未満の圧入
⑨	マフケットキャップ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	FR又はFRW	1	

マーク図 S=1/2

鉄蓋固定構造図



施錠部構造図

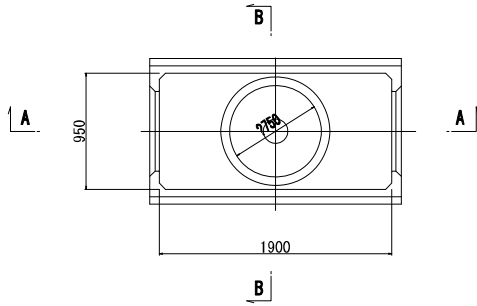


T-A 1 柵構造図

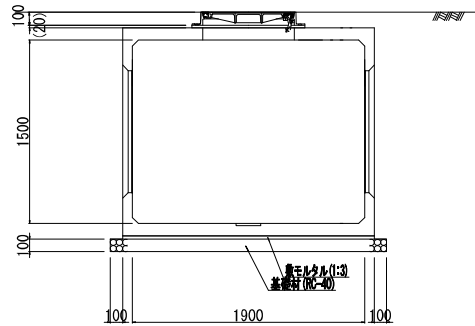
T樹A1型 S=1/20

鑄鉄蓋円形750 (歩道用) S=1/10

平面図



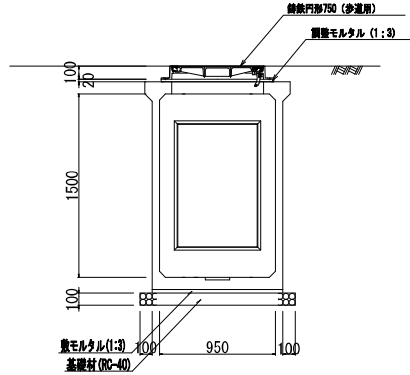
A-A断面



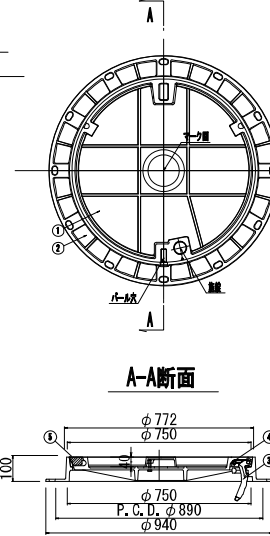
設計条件(歩道)	
設計荷重	活荷重 T-25 (P=50KN)
衝撃係数	i=0.1
内空寸法	950W x 1900L x 1500H

※注記
地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

B-B断面

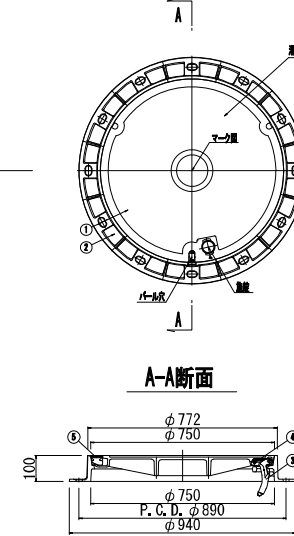


A1型(化粧蓋)



A-A断面

A2型(黒蓋)



A-A断面

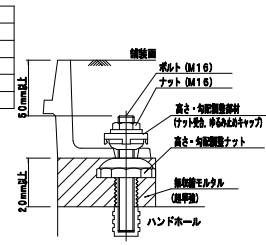
設計条件(歩道)	
設計荷重	活荷重 T-25 (P=50KN)
衝撃係数	i=0.1
設計荷重	55kN

※アンカー寸法はアンカーピッチがズレた場合を考慮し、クリアランスをとること。
※無蓋部は、下部の埋物を有する構造とするが、埋物の寸法寸法は別図を参照。
※地下水位が、片側埋設構造とするが、埋物の寸法寸法については別図を参照。
※無蓋部には、樹脂アンカープレート(10MPa)を設置するものとする。
※下部の場合、シリンドラー部取組の有無については、入念な検討と施工を行うこと。
※無蓋部等に設置する場合は、充填材料について、普通コンクリートと異なるものとする。
※新本件と蓋は、5%・1%等で固定すること。

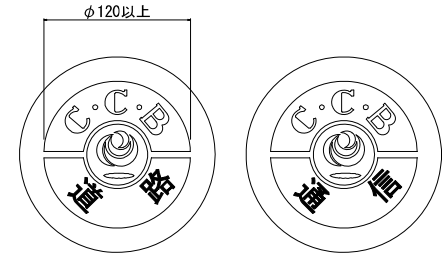
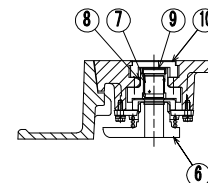
品番	名称	材質	個数	備考
①	蓋	F7070以上	1	
②	受枠	F0500以上	1	
③	継ぎ金物	F0400以上	1	
④	継ぎ金物	—	1	
⑤	ゴム栓	GR	1	
⑥	回転カム	F80又はSIS	1	
⑦	シリンドラー部	ステンレス	1	φ24x28
⑧	鉤ホルダー	ステンレス	1	カギは別冊/別工
⑨	マグネットカップ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	GR又はEPM	1	

マーク図 S=1/2

鉄蓋固定構造図



施錠部構造図

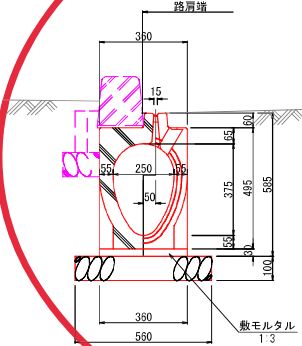


道路附属施設工構造図(2) S=1:20

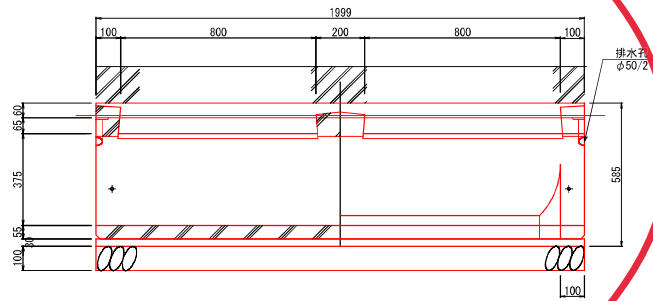
【参考図】

円形街渠

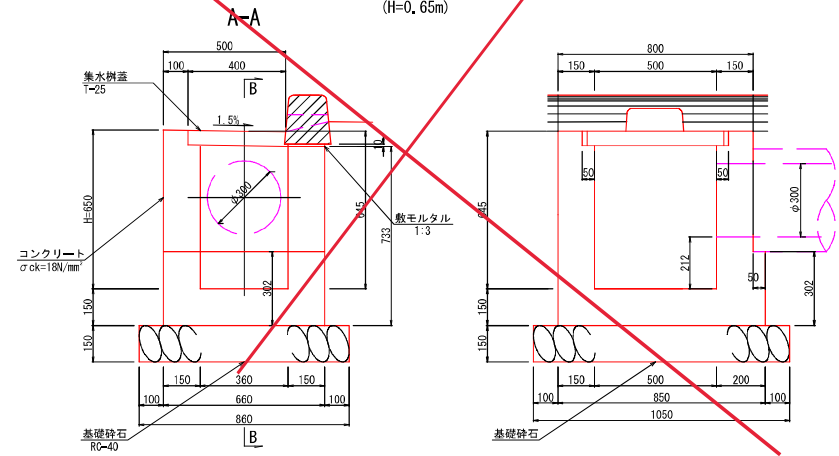
断面図



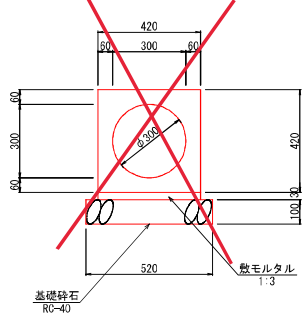
正面図



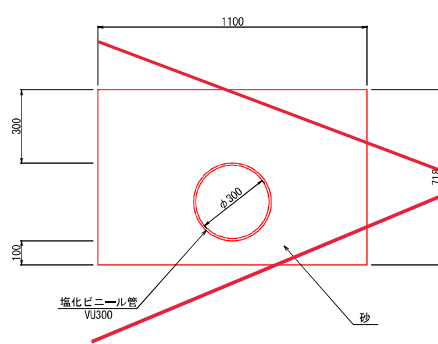
街渠樹A
(H=0.65m)



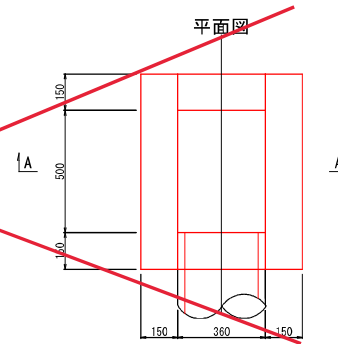
CSB管φ300



塩ビ管VUφ300



平面図

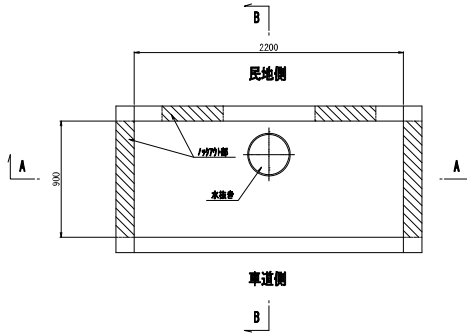


E 2 柵構造図

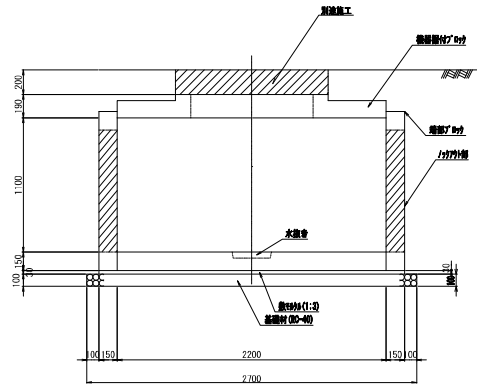
S=1/20

E柵2型 S=1:20

平面図

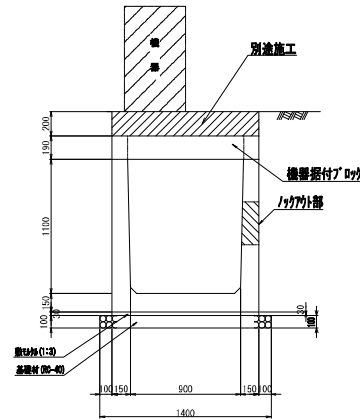


A-A断面

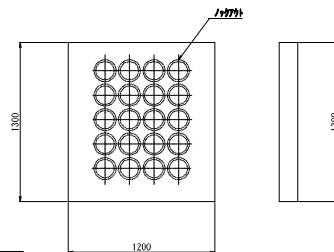


※柵の内空寸法は、呼称寸法とする。

B-B断面



端部ブロック

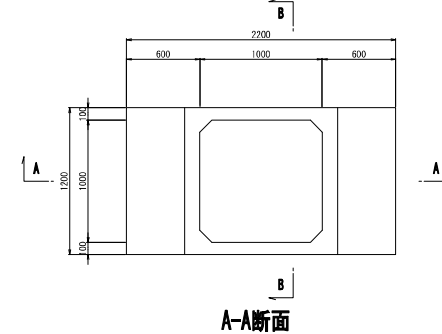


設計条件	
活荷重	T-25 (P=50kN)
衝撃荷重	I=C1
許容応力度	
鋼材基準強度	$\sigma_{sk} = 235 \text{ N/mm}^2$
コンクリート 設計圧縮強度	$\sigma_{ck} = 11 \text{ N/mm}^2$
せん断強度	$\tau_a = 0.58 \text{ N/mm}^2$
鋼 筋 引張強度	$\sigma_{sk} = 180 \text{ N/mm}^2$

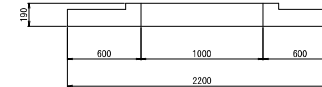
機器据付ブロック

(E柵2型用)

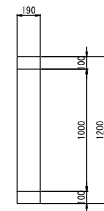
平面図



A-A断面

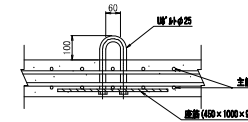


B-B断面



ケーブル引込金具詳細図

S=1:10

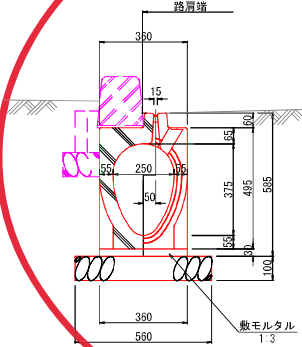


道路附属施設工構造図(2) S=1:20

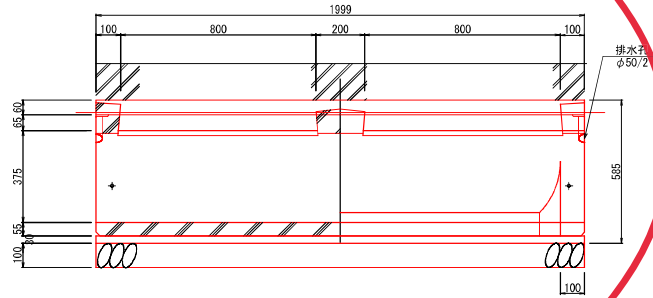
【参考図】

円形街渠

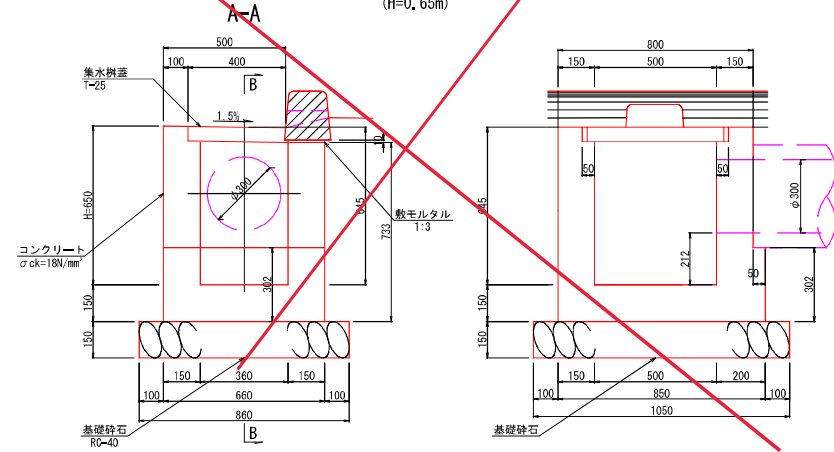
断面図



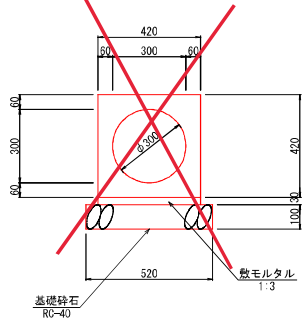
正面図



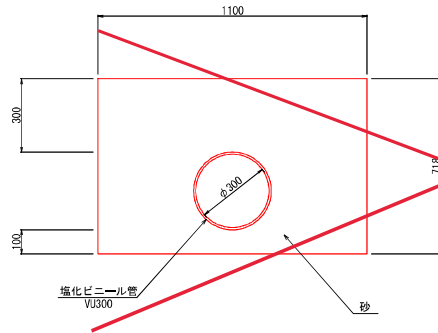
街渠樹A
(H=0.65m)



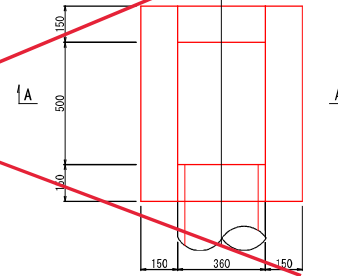
CSB管φ300



塩ビ管VUφ300

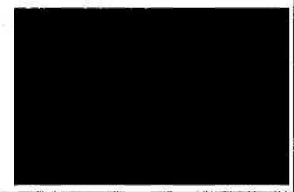
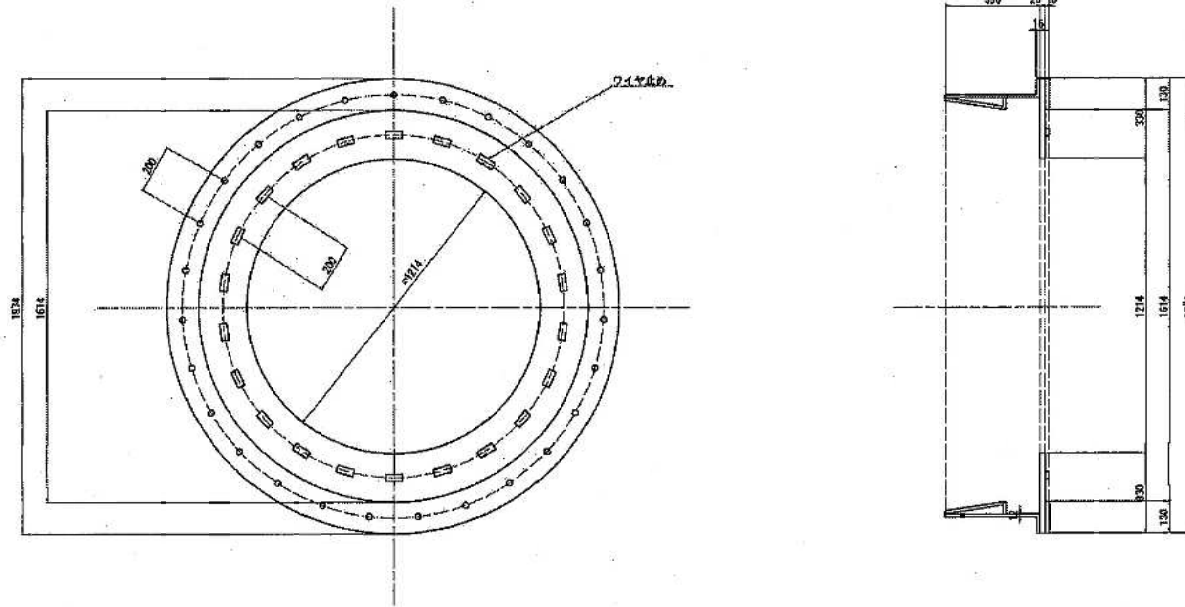


平面図

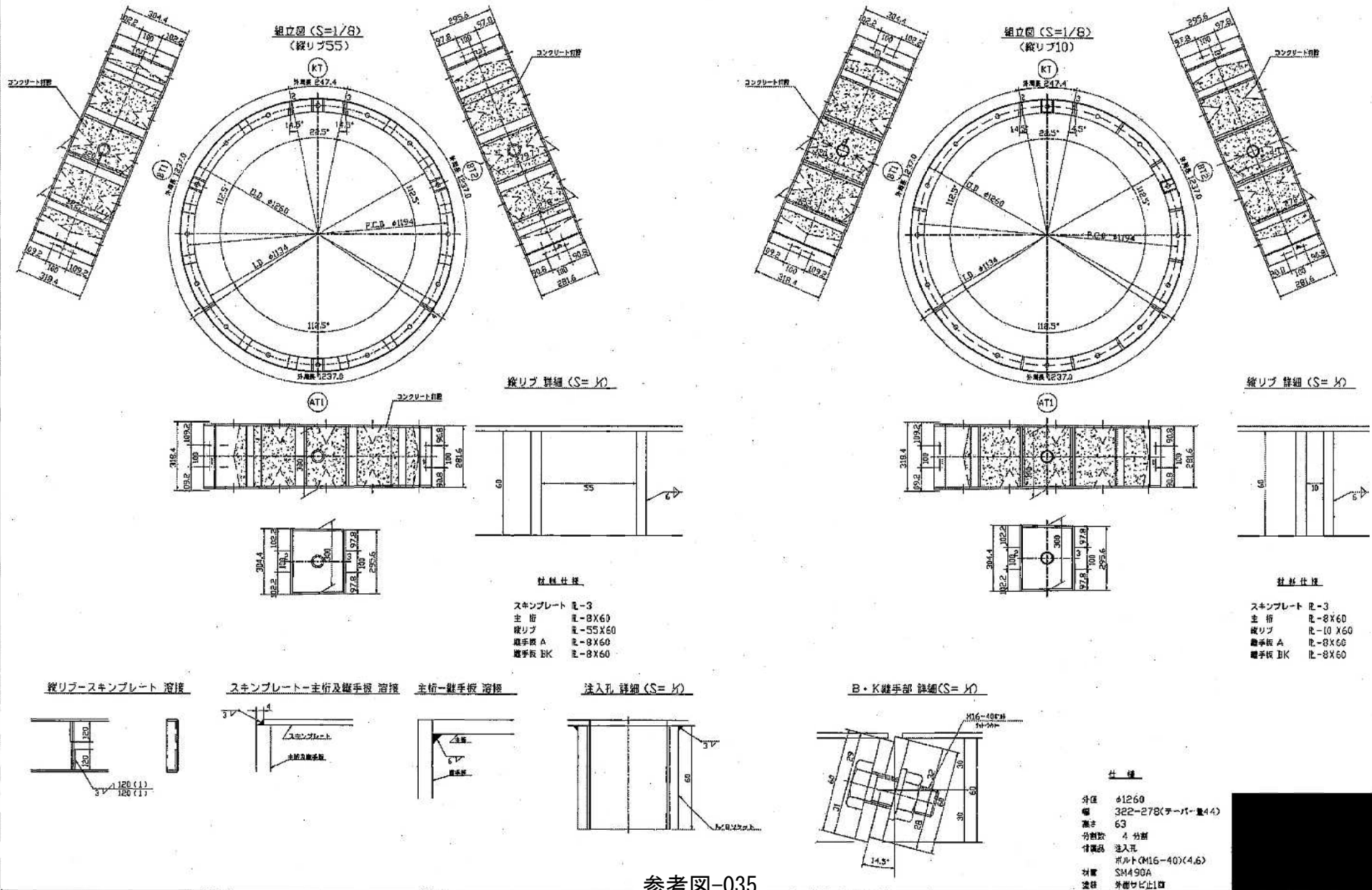


到達坑口参考図

縮尺 1:10



スチールセグメント (R=10、テーパ=44mm) φ1260X300X63 縦リブ10mm, 55mm



材料仕様

スキンプレート	丸-3
主桁	丸-8X60
縦リブ	丸-55X60
継手板 A	丸-8X60
継手板 BK	丸-8X60

材料仕様

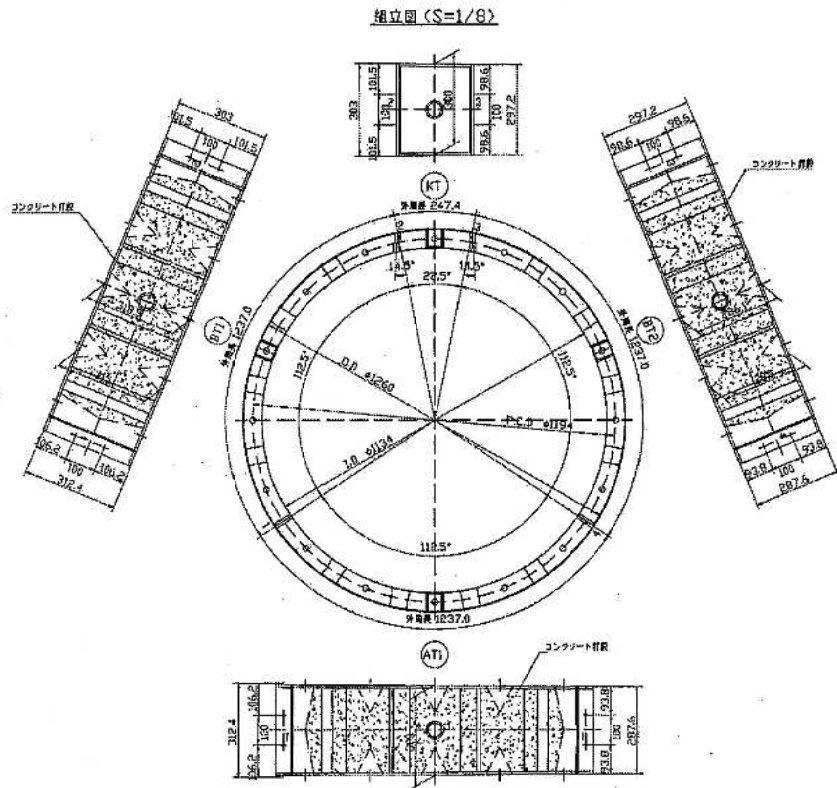
スキンプレート	丸-3
主桁	丸-8X60
縦リブ	丸-10X60
継手板 A	丸-8X60
継手板 BK	丸-8X60

仕様

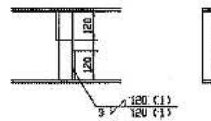
外径	φ1260
幅	322-278(テーパ=量44)
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔
材質	ボルト M16-40(4.6)
材番	SM490A
塗装	外側サビ止塗

参考図-035

スチールセグメント (R=15、テーパ=30mm) φ1260X300X63 縦リブ55mm



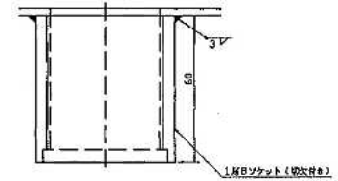
縦リブ-スキムプレート 溶接



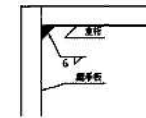
スキムプレート-主桁及継手板 溶接



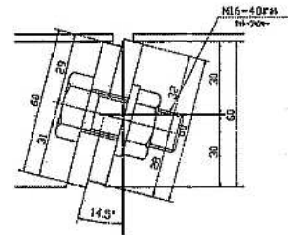
注入孔 詳細 (S=1/4)



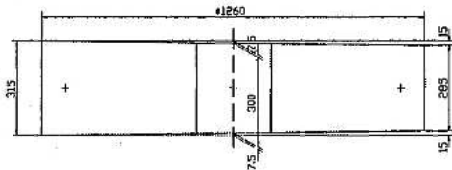
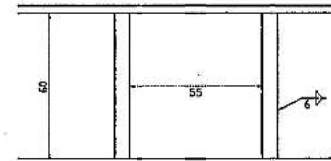
主桁-継手板 溶接



B・K継手部 詳細 (S=1/4)



縦リブ 詳細 (S=1/4)



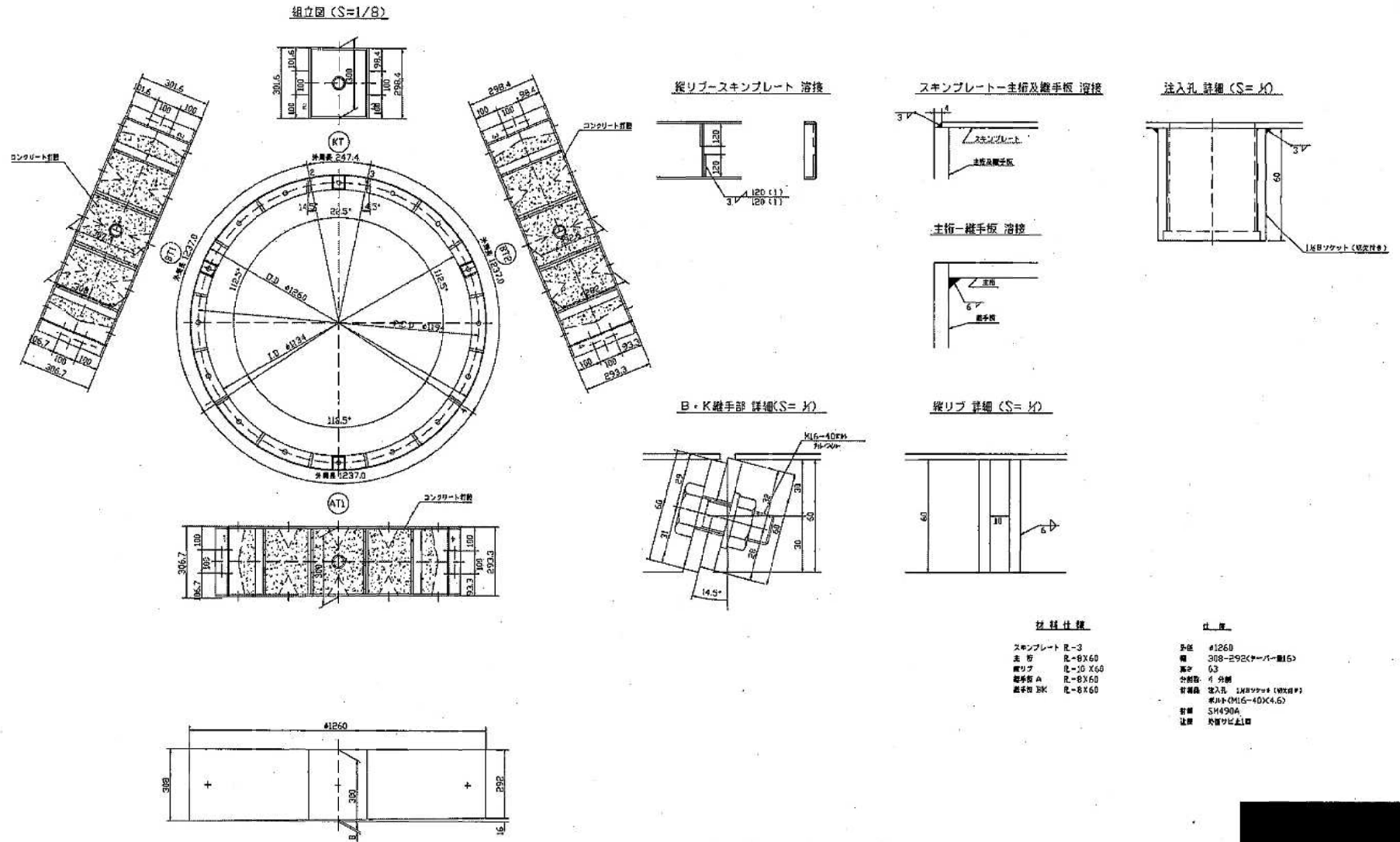
材料仕様

スキムプレート	厚-3
主桁	厚-8X60
縦リブ	厚-53X60
継手板 A	厚-8X60
継手板 B	厚-8X60

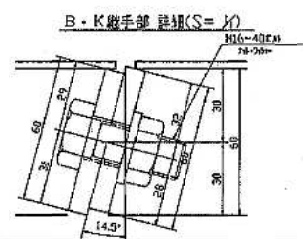
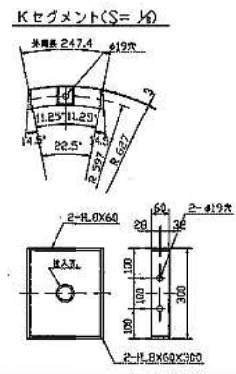
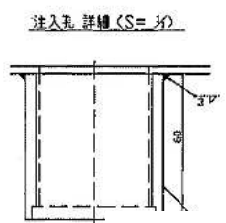
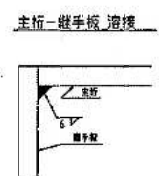
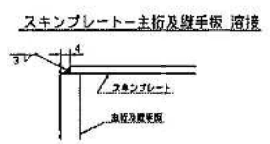
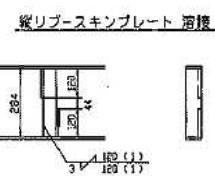
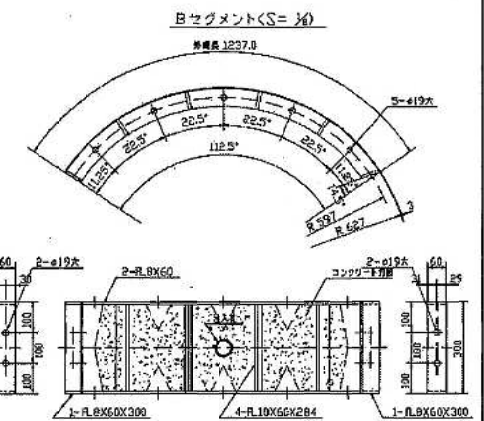
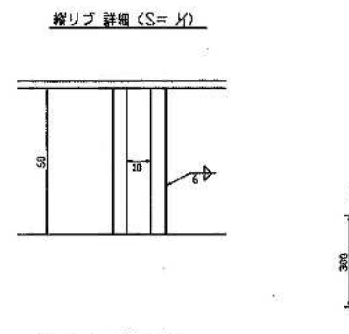
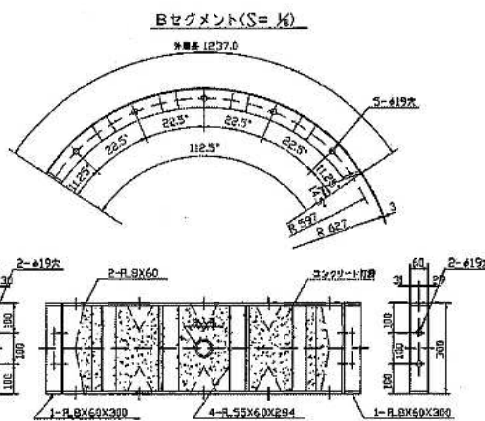
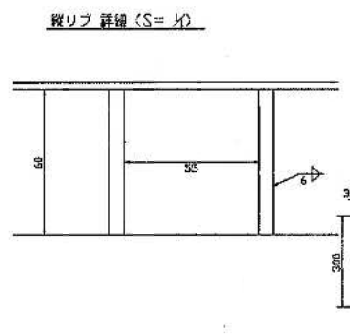
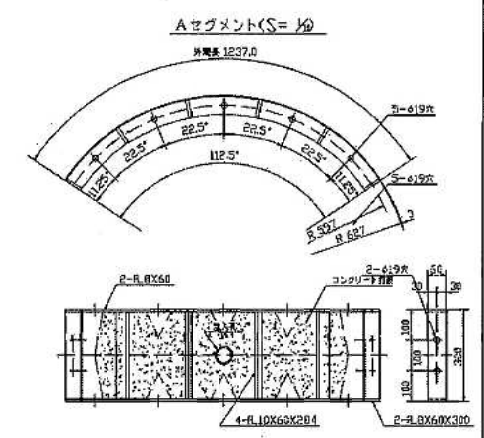
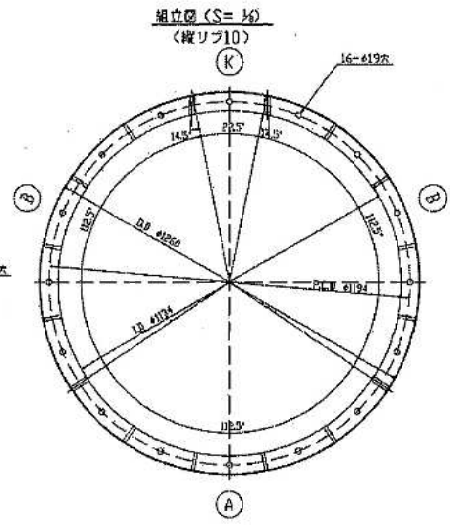
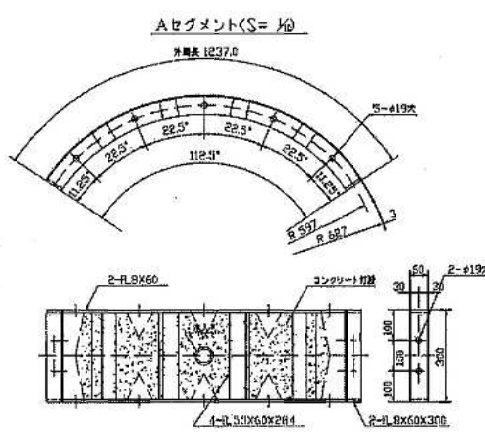
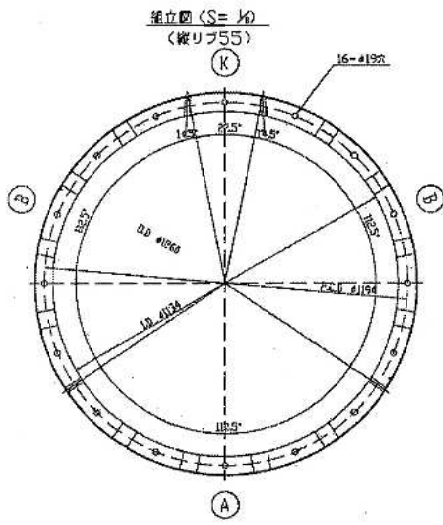
仕 様

外径	φ1260
内径	φ1134-2B5(テーパ=30)
高さ	63
分割数	4 分割
仕置品	注入孔 1/4Rソケット (嵌込用)
	ボルト (M16-40)X4.5
材質	SM490A
塗装	外装サビ止め

スチールセグメント (R=30、テーパ-16mm) $\phi 1260 \times 300 \times 63$ 縦リブ10mm

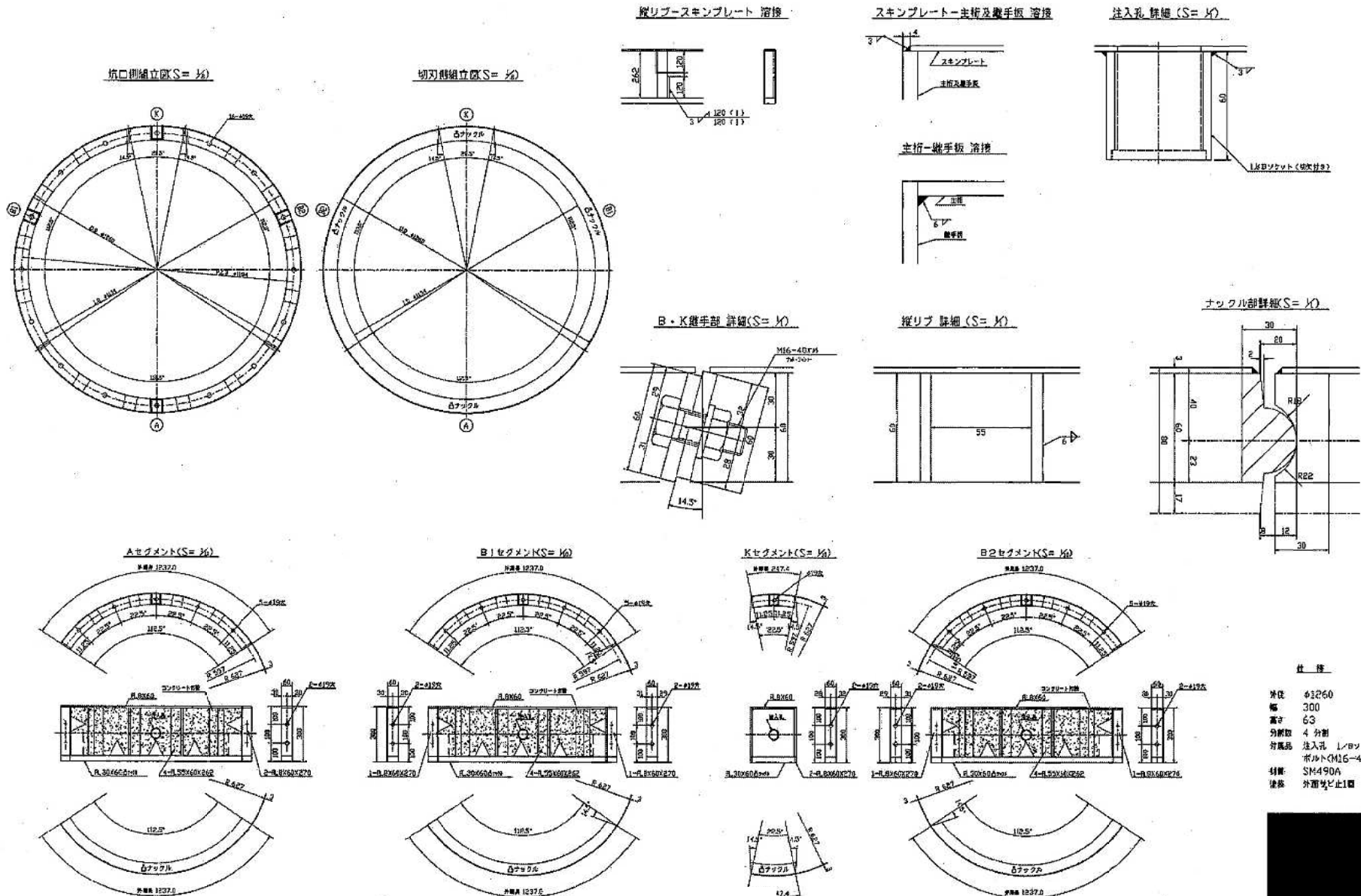


スチールセグメント(普通) $\phi 1260 \times 300 \times 63$ 縦リブ10mm, 55mm



仕様	
外径	$\phi 1260$
幅	300
高さ	63
分割数	4分割
付属品	注入孔 1x2セット (90度付) ボルト (M16-40)x4.6)
材質	SM490A
塗装	外塗キビシ1型

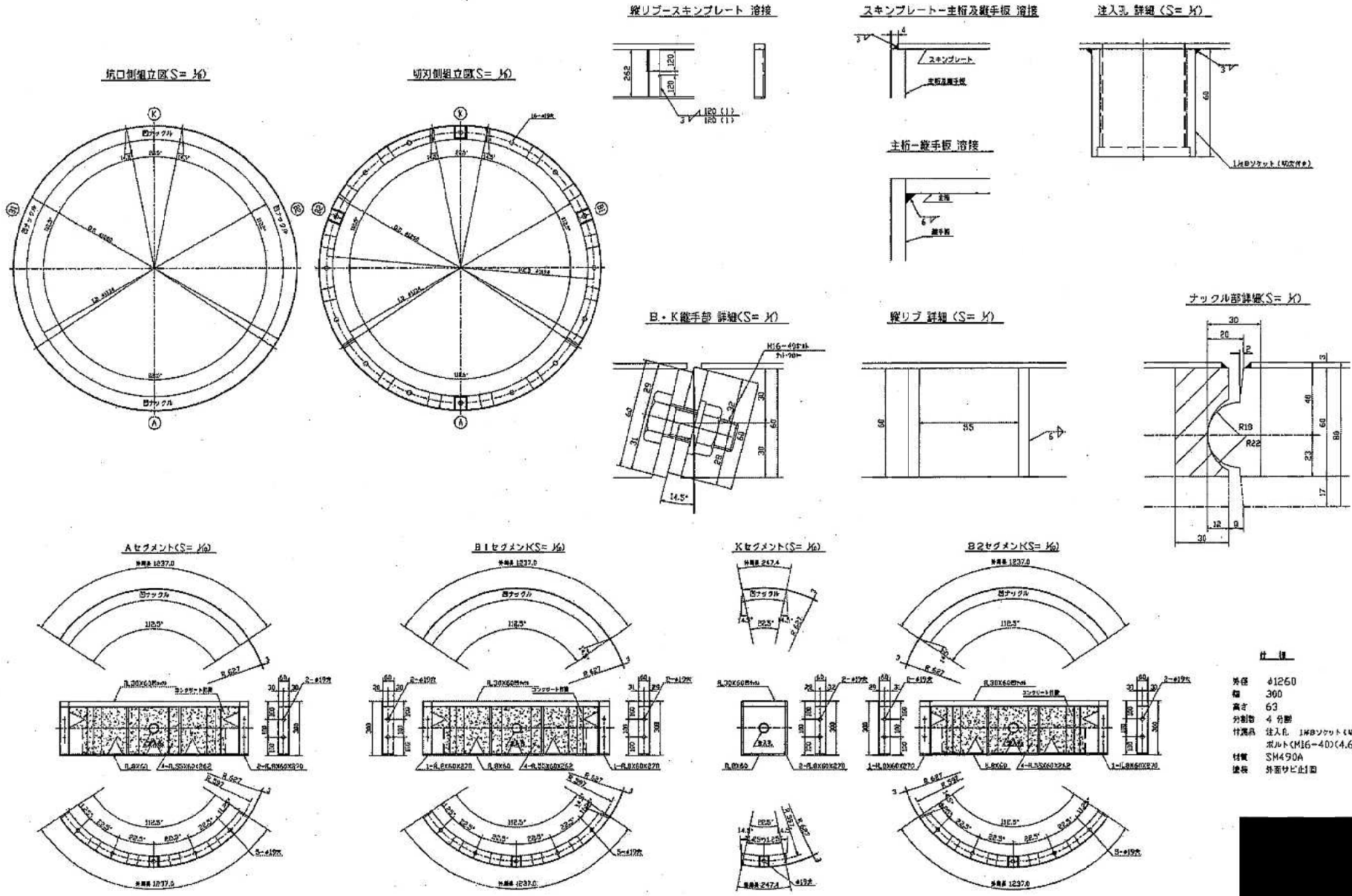
スチールセグメント(ナックル凸) φ1260X300X63 縦リブ55mm



仕様

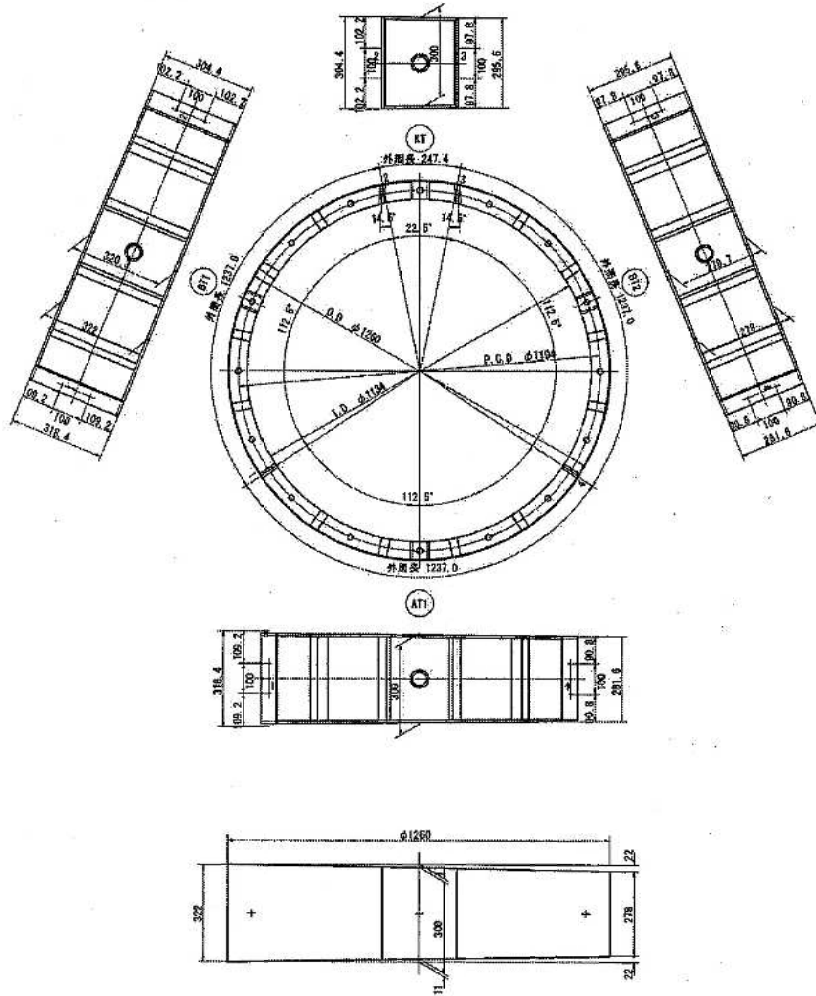
外径	φ1260
幅	300
高さ	63
分割数	4分割
付属品	注入孔 1/ボルト(切欠付) ボルトφ16-40(4.6)
材質	SM490A
塗装	外面φ止1回

スチールセグメント(ナックル回) φ1260X300X63 縦リブ55mm

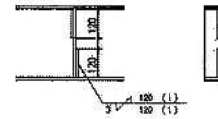


シールド工法用鋼製セグメント構造一般図(2) 縮尺 1:3
 スチールセグメント (R=10_28タイプ) φ1260X300X63 44テーパー

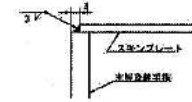
スチールセグメント (R=10_28タイプ) 縮尺 1:3



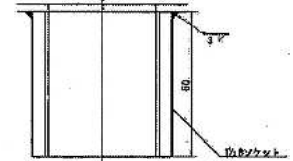
縦リブ-スキムプレート 溶接 縮尺 1:3



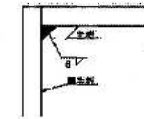
スキムプレート-主桁及継手板 溶接 縮尺 1:3



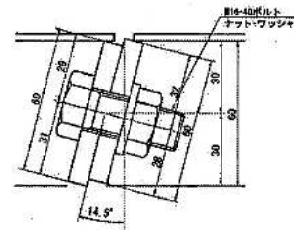
注入孔 詳細 縮尺 1:1



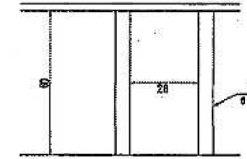
主桁-継手板 溶接 縮尺 1:3



B-K継手部 詳細 縮尺 1:1



縦リブ 詳細 縮尺 1:1



材料仕様

- スキムプレート R-3
- 主桁 R-8 X 60
- 縦リブ R-10 X 60
- 継手板 A R-8 X 60
- 継手板 板 R-8 X 60

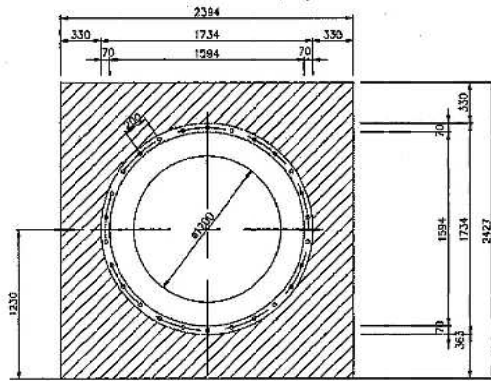
仕様

- 外径 φ1260
- 幅 322-278 (テーパー量54)
- 高さ 63
- 分割数 4分割
- 付属品 注入孔
- ボルト (M18=40) (A-G)
- 材質 S45C
- 塗装 外面ザビ止1回

発進坑口構造図

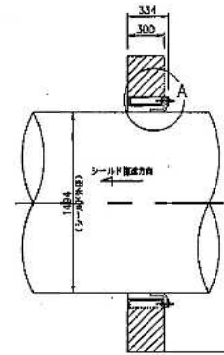
エントランス

S=1/20



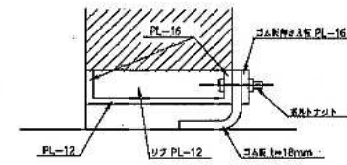
エントランス側面図

S=1/20



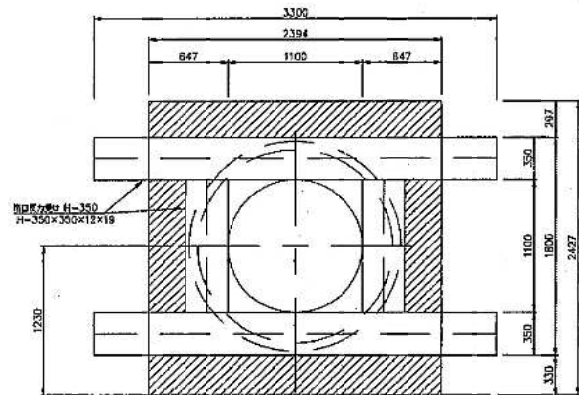
A部詳細図

S=1/5



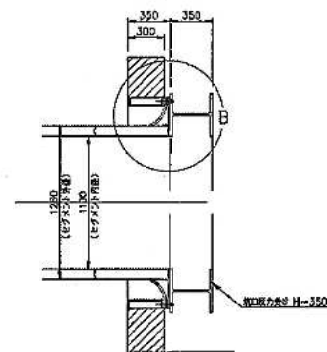
坑口反力受

S=1/20



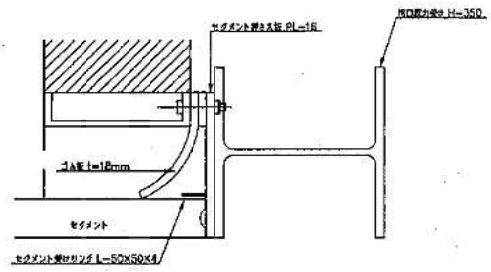
坑口反力受け側面図

S=1/20

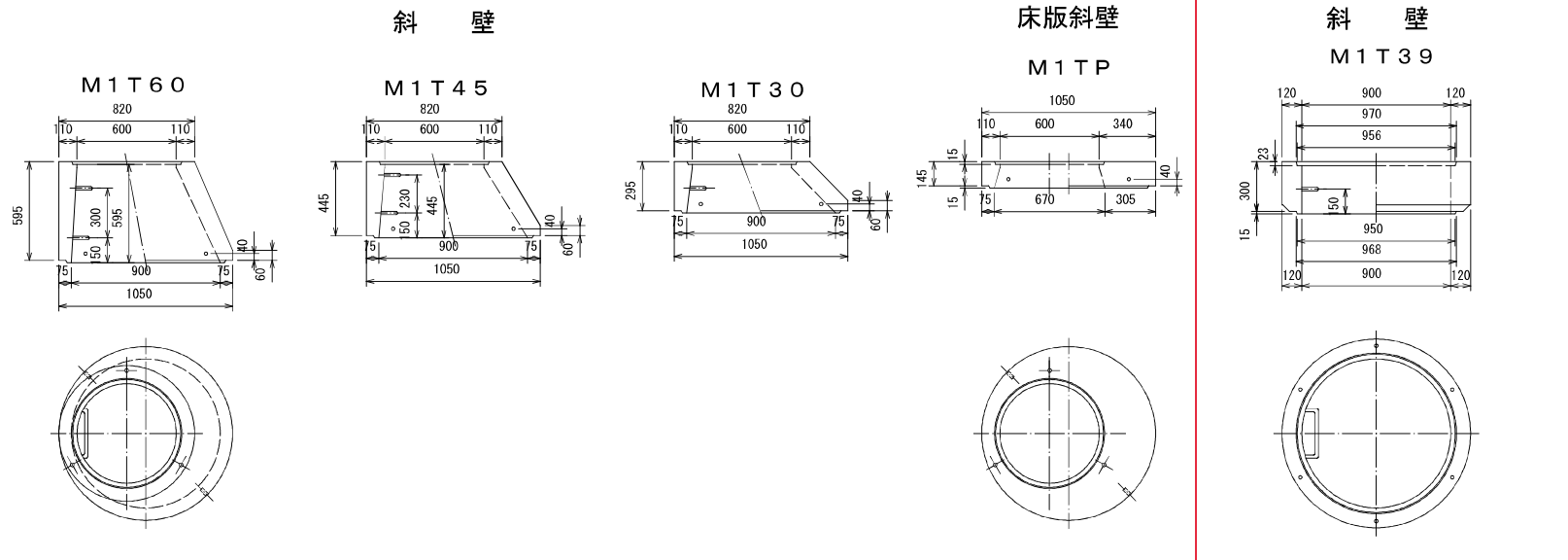


B部詳細図

S=1/5

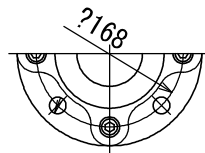
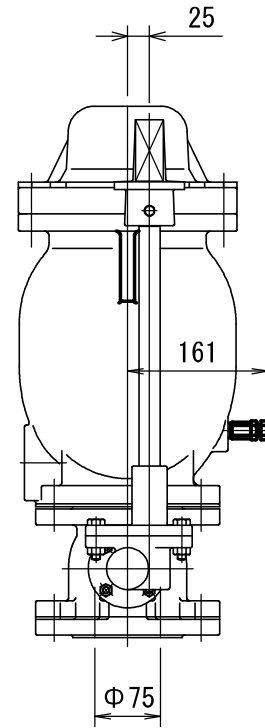
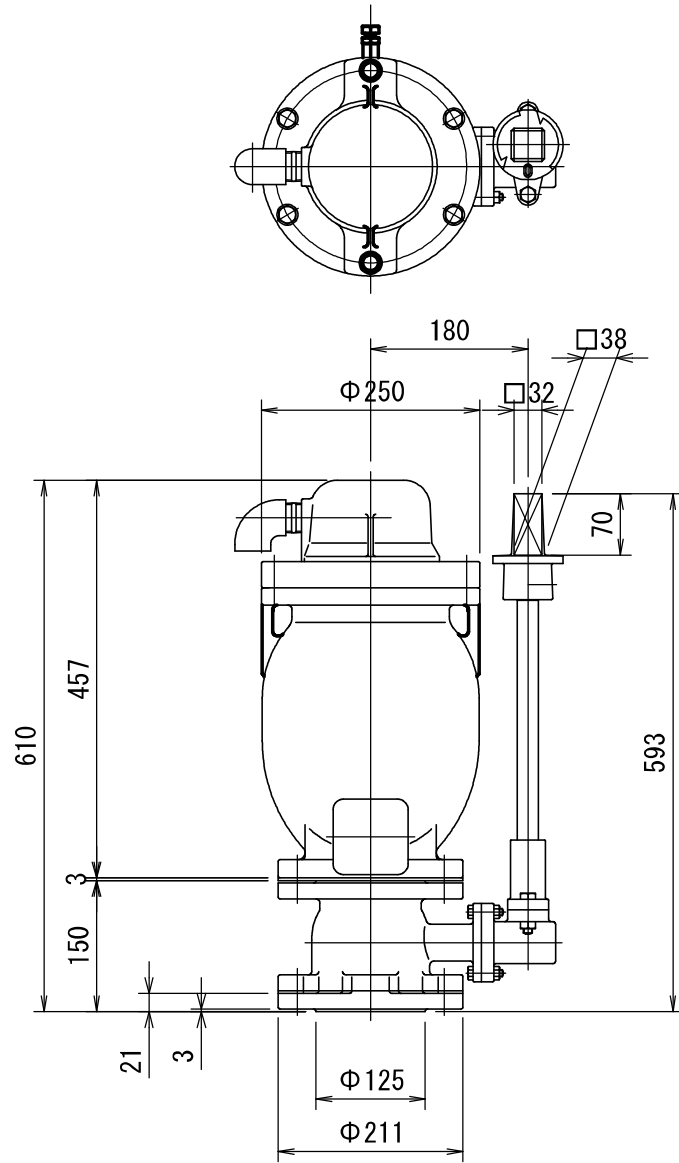


組立マンホール構造図 (内径 900 mm)



来歴 CAREER

符号 MARKS	改訂理由 ALTERATION	日付 DATE	担当 DESIGNED BY	承認 APPROVED BY
△				
△				
△				



4-19キ

整番 FILE No.			製番 ORDER No.		
第三角法 THIRD ANGLE PROJECTION	日付 DATE	尺度 1:6 SCALE	形式 TYPE	納入先 CUSTOMER.	所属
承認 APPROVED BY	検図 CHECKED BY	担当製図 DESIGNED BY DRAWN BY	図名 TITLE		
			下水用空気弁組立図		
			図番 DWG. No.		

参考図-037